

令和 7 年度使用

教科用図書採択調査研究資料
中学校用

気仙沼地区教科用図書採択協議会

目 次

1	国 語	国 語	1	～	4
		書 写	5	～	8
2	社 会	地 理	9	～	12
		歴 史	13	～	21
		公 民	22	～	27
		地 図	28	～	29
3	数 学		30	～	36
4	理 科		37	～	41
5	音 楽	一 般	42	～	43
		器楽合奏	44	～	45
6	美 術		46	～	48
7	保健体育		49	～	52
8	技術・家庭	技術分野	53	～	55
		家庭分野	56	～	58
9	外国語	英語	59	～	64
10	特別の教科道徳	道徳	65	～	71

種 目	国 語	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	国語 002-72 002-82 002-92	書 名	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3
			東 書				
1 内容に 関すること							○ 学習指導要領に示された目標に則し、指導事項と言語活動例が丁寧に扱われている。言葉による見方や考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう工夫されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びに資する課題解決的な言語活動をそそえ、協働的な学びの場面を数多く設定している。 ○ 教科書に示されたQRコードから学習に役立つ資料が用意されており、各自で閲覧することができる。教材では、学習の手順が分かるアニメーションや言語活動の豊富な具体例などが用意されている。 ○ 学習内容についての出版や関連する資料も充実しており、学習意欲が高まるとともに、より発展的な内容につながるよう工夫されている。 ○ 筆者のプロフィールや資料のタイトル、URL 等が明確に示されており、学習者が出典先を調べることができるようになっている。
2 組織と配列に 関すること							○ 学習目標及び「言葉の力」は、小学校の学習内容を受け、小中9年間の系統性を図って設定しており、指導者や生徒にとって学習内容のつながりが明確になるよう配慮されている。 ○ 分量も学年ごとに適切であり、読んでみようと思わせるような内容になっている。また、指導項目が順序立てて並べられており、バランス良く学習することができる。 ○ 詩歌は、学年3か所の詩教材に加え、扉に季節感のある詩歌を印象的な写真とともに掲載し、一年を通じて季節感を味わえるようになっている。 ○ 領域別教材一覧が巻頭で示されており、各学校の年間指導計画に合わせて、系統のつながりを意識しながら適合させられるよう工夫されている。 ○ 各学年において、生徒の実態に即した内容の「書くこと」の課題が示されており、学校や地域の実態に広く適合できるようになっている。
3 学習と指導に 関すること							○ 「言葉の力」で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を「学びを支える言葉の力」でさらに細分化する構造になっており、確実に習得できるよう配慮されている。 ○ 各領域で具体的な言語活動例が示されており、課題解決的な言語活動を通して、主体的・対話的で深い学びができるようになっている。 ○ 物語仕立ての教材やゲームを取り入れた教材やデジタルコンテンツの映像やアニメーションを取り入れることで生徒の学習意欲を高めている。 ○ カリキュラムマネジメントに資するよう、他教科との学習内容と関連があり、相互に学びを深められる題材を数多く取り入れている。教科関連マークを示すことによって、学習者が気付くような配慮がなされている。 ○ 文章や挿絵などに登場する人物について、性別や人種、身体的特徴、家庭環境等に偏りがでないようにしている。
4 表現と体裁等に 関すること							○ 「読むこと」の文章では、生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付けている。小学校と同じ大きさの活字が使用されており、中学校の学習への移行がスムーズになるよう工夫されている。 ○ 言語に関する項目では、漫画風なイラストやコミカルな対話の中から言語について考えさせる内容になっており、関心をもたせやすくなっている。 ○ 1年生の初めの文章は、小学校と同じ教科書体で、大きな活字で掲載している。 ○ 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、色だけではなく模様や記号で識別できるように工夫している。 ○ 学習ページと資料ページとに色分けされており、単元ごとのまとまりを意識した指導がしやすい。

種 目	国 語	発行者の番号・略称	1 5	教科書の記号・番号	国語 0 1 5 - 7 2 0 1 5 - 8 2 0 1 5 - 9 2	書 名	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
			三省堂				
1 内容に 関すること	○ 学習指導要領を踏まえ、単元、教材の目標が明確。 ○ 単元ごとに「見通し」と「振り返り」が自覚的に活用できるよう工夫されている。主体的・対話的な学びにつながる。 ○ 新しい題材を積極的に取り入れて興味・関心を高め、時代に求められる力を育成するための課題設定になっている。 ○ 考えを揺さぶる内容の文章が取り上げられ、多角的に吟味する力を育てることにつながっている。それが幅広い読書活動へと学習を発展させるのに効果的である。 ○ 出典が明確で、内容に偏りが無い。多様な職種の著者、オリジナリティーの高い書き下ろしの文章により、様々な見方や考え方に触れられるよう工夫されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 小学校からのつながりに配慮され、系統的に内容が構成されている。身に付けた力を活用しながら、段階的に力を伸ばすことができる。 ○ 各章のねらいに迫るために多面的に題材が集められ、内容をとらえる→深める→表現し比較するなど学習活動の流れに沿った配列になっている。 ○ 「学びの道しるべ」では、単元の振り返りや、発展的、補足的な内容が示され、個々の学びに応じて活用することができるよう工夫されている。 ○ 学習評価がしやすいように配列がなされているため、各校の年間指導計画に活用しやすい。 ○ 防災や海洋、環境など、地域の話題と関連付けて取り上げやすい内容が収められている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 思考と語彙に関する解説を設けることで、知識・技能の確実な習得を図り、思考力・判断力・表現力等が育成できるよう配慮されている。 ○ 生活体験から意見を述べやすい題材が多く、興味・関心をもって、主体的に考えさせるのに効果的な配慮がある。 ○ 「読み方を学ぼう」はその作品だけでなく、同じタイプの別の作品を読む場合の視点を得られる。 ○ 学習評価がしやすいように、偏りなく内容が配列されているため、各校の年間指導計画に活用しやすい。 ○ 防災や環境など、地域の話題と関連させて取り上げやすい内容が盛り込まれている。また、二次元コンテンツ解説動画等は主体的な学習への広がりや多様な学びを調整する力を育てることに役立つ。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 学年に応じて文字の大きさが変えられていて見やすい。また、「～しましょう」→「～しよう」へと学年に応じた文末表現が工夫されている。 ○ 印象的な構図や色遣いの写真が多く、思わず引きつけられる効果がある。親しみのわくキャラクターや漫画を取り入れるなど、生徒にとって親しみやすく魅力的な内容である。 ○ 図表や写真、イラストが鮮明で見やすい。ユニバーサルデザインを意識したすっきりと見やすいページ構成になっている。 ○ 教材に関連した写真やイラストが効果的に配置され、内容をイメージする助けになっている。 ○ 表紙の手触りがよく、ページを開きやすい。						

種 目	国 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国 語	書 名	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
			教 出				
1 内 容 に 関 する こ と					017-72 017-82 017-92		
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と							
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と							

種 目	国 語	発行者の番号・略称	3 8	教科書の記号・番号	国語	書 名	国語 1 国語 2 国語 3
			光 村		0 3 8－7 2 0 3 8－8 2 0 3 8－9 2		
1 内容に 関すること	○ 学習指導要領の各学年の目標や内容が踏まえられ、言語活動が適切に行えるように工夫されている。 ○ 思考・判断・表現の学習を繰り返すことで、着実に身に付けさせたい力に迫れるよう配慮されていることから、本県の国語教育の重点事項に沿った内容となっている。 ○ 他教科の学習や、日常生活で活用できる内容となっており、生徒の発達段階に応じた工夫がされている。 ○ 「語彙ブック」等、言葉によってもものの見方、考え方を鍛える工夫がみられ、学年、学年間の系統が考えられている。 ○ 現在活躍中の作家から古典の名作まで幅広く収められ、思想的、地域的偏りがないよう工夫されている。資料の出典や出所が明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 小学校での既習事項を1学年で確認したり、3年間を通して「言葉」をテーマにし、段階的に語彙の獲得や活用を促すよう工夫されている。 ○ 各章でねらいが明確に示されており、言葉の力の定着を目指した効果的な配列になっている。 ○ 「学びの地図」等を手掛かりに、既習事項に戻って復習することができる。個別の学びのペースに対応した配列である。 ○ 教材数、領域のバランスが工夫されており、3学期制、2学期制のどちらにも対応できるようになっている。 ○ 地域的な偏りを避け、国際的な視野の広がりを目指して、バランスの良い構成になっている。						
3 学習と指導に 関すること	○ I C T活用のヒントを設けるなど、授業だけでなく家庭学習においても個別最適な学びの手助けとなるような工夫がされている。 ○ 「学びのカギ」は、身に付けるべき力を明確に示しており、何を学んでいるかを意識して学習することができる。 ○ 「学びへの扉」では、学習目標に対する具体的な学習活動をイメージすることができるため、生徒が見通しを持って学習に臨み、自己の学びを調整する力を育てることにつながる。 ○ 巻頭には教材ごとに身に付けさせたい力とともに関連する教科名が示されているため、他の教科との関連を図りながら指導計画を立てることができる。 ○ 二次元コードから、多様な資料や朗読音声など、学習を進める中で参考になるW e b ページが充実している。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 文末の常体など表記・表現の基準が全学年で統一されていることから、学年が進んでも戸惑いが少ない。小6の漢字が手書きに近い字体で示されていることも抵抗なく学習する助けになっている。 ○ 抵抗を感じがちな古文には、1年生は本文わきに、3年生には脚注にと、口語訳の位置を変え、学年の発達段階に合わせて理解を助けている。和歌にも訳文を入れるなど、わかりにくいイメージを持たせない工夫をしている。 ○ ユニバーサルデザインを意識した優しい色遣が多く、思考の邪魔をしない。 ○ 「学びへの扉」が横書きであるため、本文とは区別して「学び方」が示されたページだと一目でわかるよう工夫されている。 ○ 二次元コード「漢字の練習」が随所に設けられており、自分の学習スピードで頻繁に復習することが可能である。						

種 目	書 写	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	書写 002-72	書 名	新編 新しい書写 一・二・三年
		東 書					
1 内容に 関すること							○ 言葉、文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の涵養が実現できる内容である。 ○ 「生活に広げよう」という、具体的な場面を想定して話し合う活動が設定されており、学習を通して深い学びを実現できる点が、本県の重点事項に合致している。 ○ 手で文字を書くことの価値や意義を考えさせる問いや、生活体験をもとに書くことを振り返る場面を設定し、自分の文字をよりよくしていこうとする主体的な態度を育む工夫がある。 ○ 単元数・学習事項を精選し、生徒の発達段階に応じて主体的にねらいを達成できるよう、系統的に単元が配列されている。 ○ 各学年で求められる資質・能力を着実に身につけられるよう、適切な単元数、分量で硬筆と毛筆の学習ができるように配慮されている。
2 組織と配列に 関すること							○ 1単元1事項で構成されており、学習ポイントの「書写のかぎ」が、3学年を通して段階的・系統的に配列されている。 ○ 硬筆で課題を発見し、それを解決する「書写のかぎ」を見つけ、毛筆で書いて確認し、硬筆で他の文字に生かすという展開になっており、各単元でまとまりのある内容になっている。 ○ 「書写のかぎ」では、文字を整えて書くための汎用的なポイントがまとめられており、学習の基礎・基本、書写の原理・原則を負担なく習得できるよう工夫されている。 ○ 配当時数の少ない3学年については、短時間で指導できるように、特に単元の内容を精選し、実態に合わせた指導ができるよう配慮されている。 ○ 「生活に広げよう」では、書写の学習で身につけた知識・技能を、生活の場でどのように活用できるかを考え、身近な題材の例を示すことで、生徒の実態に合わせられるよう配慮されている。
3 学習と指導に 関すること							○ 「生活に広げよう」では、お礼状や、年賀状など生活の中で生きてはたらく書写の力が身に付けられるよう工夫されている。 ○ 五十音表、常用漢字表、人名用漢字表の楷書と行書の文字を掲載し、生徒が自分の名前を書くことに主体的に取り組めるよう配慮している。 ○ 生徒の特性に対応するために、書き込み欄を下に配置したり、QRコンテンツやデジタルブックに配慮のポイントをまとめたりしている。 ○ 防災訓練や、職場体験など、学校行事や他の教科と結びつけて、活用できる題材が豊富に取り入れられている。 ○ 二次元コードからアクセスするデジタルコンテンツが多数用意されている。生徒が自ら判断して個別最適な学びが実現できる。
4 表現と体裁等 に 関すること							○ 読みやすさを重視して、文節で改行する工夫がなされている。 ○ 写真や吹き出しを多用して、生徒が親しみやすい紙面を工夫している。 ○ カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒が見やすい配色を工夫している。更に、ユニバーサルデザイン書体を使用し、手書き文字に近い字形を示し、教育の多様性に配慮している。 ○ B5変型判の半紙と同比率のページを用いることで、半紙と文字のバランス、余白などを意識して書くことができる。 ○ 用紙は鉛筆で書きやすく、十分な強度があり、かつ、軽量である。

種 目	書 写	発行者の番号・略称	1 5	教科書の記号・番号	書 写 0 1 5 - 7 2	書 名	現代の書写 一・二・三
			三省堂				
1 内容に 関すること	○ 書写の学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、国語や他教科、日常生活・社会生活の中で役立てる態度を養えるよう配慮された内容である。 ○ 各教材に示されている課題や、学年末教材の「やってみよう」では、生徒同士の対話を通して書写の学習が深められるよう工夫されており、本県の重点である対話的な学びに合致している。 ○ 系統的・段階的に教材を配列し、既習事項を活用しながら、学習を積み重ねられるよう工夫がなされている。 ○ 教科書全体を通して、学習指導要領に示された教材選定の観点をふまえ、学習意欲を喚起するとともに、確かな書写の力の育成に資する教材が設定されている。 ○ 毛筆学習のあとには硬筆で確かめる「書いて身につけよう」が設定されており、毛筆と硬筆のバランスが良い。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習指導要領の五つの指導事項に対しそれぞれの教材が設定されており、系統的に学習できる配列である。 ○ 各教材に「目標」が明確に示されるとともに、「書き方を学ぼう」で、どこに気をつけて、どのように書けばよいのかも分かりやすく示されている。 ○ 「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄があり、学習の定着や他の文字にも応用できる力が付くように工夫されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、各学年の配当時間の中で無理なく学習計画が立てられる分量になっている。 ○ 巻末に「資料編」があり、様々な学習場面や社会生活での所持をサポートする例が示されており、実態に合わせて工夫して使用できるようになっている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 基礎的・基本的な知識および技能を習得し、習得したことを自覚して、繰り返し活用することで定着するよう、各領域とも重視する観点や学習の方法を明確に示している。 ○ 教材で取り上げる話題・題材は、生徒の学校生活や身の周りの日常生活から、社会生活へと広がるよう配慮するとともに、学習で身に付けた力が実際の場で生かせるよう話題・題材、知識・技能、活動の具体化を図っている。 ○ 自主学習にも対応しており、教科書内二次元コード参照先のサイトでは、「動画・音声」「デジタルドリル」等、個別最適な学びと協働的な学びの実現のために多様なデジタルコンテンツが用意されている。 ○ 他教科や日常の言語生活との連携を図り、幅広い題材についての認識を深め、学習で取得した言葉の力が他教科等や社会生活などの中で生きて働くよう工夫している。 ○ 挿絵・図版を適所に配置して、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。表紙は、明るくさわやかな印象で親しみやすいものとなっている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 2学期制、3学期制の両方に対応するよう、配当時間に配慮している。 ○ 各教材の文章の長さは各学年の発達段階や学習内容に即しており、意欲的に学べるよう配慮している。 ○ 独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を使用しており、画数や点画の方向等において誤解が生じないように配慮している。 ○ 学習の手順を丁寧に示し、学習手順を上段に、「学習のポイント」や「語彙を豊かに」を下段にしめすなど、情報が整理され、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなっている。 ○ 製本は十分な耐久性を備えており、薄くて軽い用紙である。ページの開きがよく、手になじみやすい。目が疲れにくい白色度の用紙を使用している。						

種 目	書 写	発行者の番号・略称	1 7	教科書の記号・番号	書 写 0 1 7 - 7 2	書 名	中学書写
			教 出				
1 内容に 関すること							○ 学習指導要領に示されている指導事項を踏まえており、基本となる学習の流れを理解することで主体的な学習を進めることができる。 ○ 各学年に「書きぞめ」題材が用意されていることから、宮城県の書きぞめ展に向けての指導に活用しやすい。 ○ 小学校での学習内容とのつながりを持たせ、語彙、言語環境など発達段階を踏まえた構成になっている。 ○ 基礎・基本となる運筆の確認など、特別支援教育にも配慮された、すべての生徒への学びやすさを工夫してある。 ○ 日本の文字の変遷や、中国の古典作品など、幅広く掲載されており、出所、出典が明示されている。
2 組織と配列に 関すること							○ 学年間や校種間で無理なく既習事項を積み重ねていけるよう、関連性を持たせることで、興味・関心を高められるような工夫がされている。 ○ ねらいが明確に提示されており、見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ○ 学習手順が分かるアイコンを提示したり、課題選択教材を設けたりなど、進度や興味・関心に応じて主体的に取り組める内容になっている。 ○ 書き込むスペースが豊富であることから、補助的なワークシートは不要であり、1単位時間の中で、指導内容に沿って、必要な分量を書かせることができるよう工夫されている。 ○ はがきや掛け軸、お菓子のパッケージなど、生活の中の「書」を豊富に紹介し、出所、出典が明示されている。
3 学習と指導に 関すること							○ 「考えよう」を設けることで、漫然と書き写すだけでなく、生徒に考えさせ工夫するよう促す効果がある。 ○ 「振り返ろう」で自己評価を書き込んだり、「話し合いメモ」に記録を残したりすることで、題材に対する考えを持ち、自己の変容を感じながら書く活動に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 巻末の「補充教材集」から選択して学習させることで、主体的で個別的な学び方ができる。生徒が各自の技能に合わせて、それぞれのペースで発展的な学習を進めることができる。 ○ ノートのとり方や掲示物の作成において、活用できる具体例が配置され、どの教科にも通じる書写の力が育成できるよう配慮されている。 ○ 「まなびリンク」を用いて、webサイトで動画を視聴できるなど、個に応じた学習の工夫がなされている。
4 表現と体裁等に 関すること							○ 本文と学習用語の書体を変えたり、色を変化させたりすることで、要点が分かりやすいよう配慮されている。 ○ 見開きを基本としており、豊富な写真とイラストによって「書きたい」という意欲が刺激され、興味を高めて学習に臨むことができるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮した内容になっている。墨と朱墨とのはっきりとしたコントラストが見やすい。 ○ A B版は半紙のバランスと似ているため、毛筆の中心線の位置や余白の作り方の参考にしやすい。また、1ページにゆったりとしたスペースが確保されるため、硬筆が書き込みやすい。 ○ 撥水コーティングされており、汚しやすい書写の時間にも使いやすく工夫されている。

種 目	書 写	発行者の番号・略称	3 8	教科書の記号・番号	書 0 3 8 - 7 2	書 名 中学書写 一・二・三年
			光 村			
1 内 容 に 関 する こと	○ 「文字を正しく整えて早く書く力」を確実に身に付け、日常の言語生活や他教科の学習で生かす態度を育成できるよう配慮されている。 ○ 動画や写真など多様なQRコードコンテンツが充実しており、「ICTの効果的な活用方法や活用場面を積極的に考え、実践」する本県の工夫と改善の重点に合致する。 ○ 巻頭の「中学書写スタートブック」で、書写の基礎・基本がわかりやすく示されており、書写学習の目的や正しい姿勢・持ち方の重要性が明確で、生徒が意欲的に学べるよう配慮されている。 ○ 全教材に、学習のポイントをまとめた「学びのかぎ」が設けられており、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確に示す工夫がなされている。 ○ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本を定着させられるように、1学年から3学年までの内容を1冊にまとめ、段階的に配列している。					
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ 単元・教材が精選され、発達段階に即して系統的・段階的に配列されており、各学年で求められる学習要素を効率よく身につけられるよう配慮されている。 ○ 目次に中学校3年間の目標が掲載されており、また全教材に「目標」が明確に示されているため、学習に見通しを持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 全教材に「振り返ろう」という自己評価の観点が示されていることによって、知識・技能の定着や自己の変容を確かめられる構成になっている。 ○ 1教材1事項で構成されており、学習のねらいが焦点化して示されているため、効率的に力を付けるとともに、柔軟に年間指導計画に組み込めるよう配慮されている。 ○ 教科書と硬筆練習帳「書写ブック」とを相互に参照することで、生徒の実態や学校・地域の特性に合わせた指導ができるよう配慮されている。					
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 毛筆教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定している。書写学習の目的や正しい姿勢・持ち方の重要性にも触れることで、生徒が意欲的に学べるよう工夫している。 ○ 新たな学習事項である行書の学習に見通しをもてるよう工夫している。また、全教材に「目標」「振り返り」を設定し、知識・技能の定着や自己の変容を確かめられる構成としている。 ○ 手書きとデジタル、それぞれの良さや特徴について考える教材を新設し、手書きの価値について考えを深めることができるよう工夫している。 ○ 教材の中で、ノートや学級目標、壁新聞など豊富な作成例を掲載し、他教科や学校生活に役立てられるよう工夫している。 ○ 左利きの生徒の学びやすさを考え、左手で書くときの手や用具の位置を示した写真を掲載している。ポスターや看板づくりなどを取り上げ、防災・安全への意識を高められるようにしている。					
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	○ 発達段階に応じてわかりやすい文章で表現している。また、表記や学年で段階を設けつつ統一している。 ○ 効率よく学習できるよう、学習のポイントを示す「学びのかぎ」や課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、紙面を構成する要素の役割を明確にしている。 ○ 単元や目次には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いている。また、大切なことが一目でわかるすっきりとした紙面構成を実現している。 ○ 硬筆・毛筆とも、生徒の発達段階に即した字体で示しており、生徒の混乱を招かないよう、楷書・行書ともに書きぶりを一貫させ、部分の形も統一している。 ○ 製本は、針金を三か所に施した中綴じで、長期の使用に耐えるよう配慮しており、森林を保つために切った間伐材を利用して作られた用紙を用いている。					

種 目	社 会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	2	教科書の 記号・番号	地 理 002-72	書 名	新編 新しい社会 地理
			東 書				
1 内 容 に 関 する こと	○ 単元を貫く「探究課題」を立て、それを解決するために必要な学習プロセスを配置していることで、主体的に課題解決的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 東日本大震災の事例を挙げながら、日本で見られる地震や火山、気象による様々な自然災害を地理的要因とともに取り上げることで、身近に災害に向き合えるようにしている。 ○ 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す大きな「導入資料」を設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求め生きる力を養えるようにしている。 ○ 身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な学習場面を充実させることで、より良い地域づくりに主体的に参画する態度や意識を養えるように工夫している。 ○ 学習指導要領に示された内容を元に構成され、事象の背景や因果関係が事例を交えて説明されている。資料は最新のものが使用され公正かつ適切であり、出所、出典も明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ 「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしている。 ○ 各地域の地理的特色を押さえて課題を捉え、特徴的な事柄と地域的特色を関連付けながら課題を追求、解決する単元構成になっており、内容にまとまりがある。 ○ 導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツが豊富に配置されている。 ○ 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、見開き 2 ページで 1 単位時間を原則とし、配当時間や年間指導計画を把握しやすい構成となっている。 ○ 他地域の生活の様子や特色を知り、その違いを理解することで、本地域の地理的特色や課題について多面的・多角的に捉えることができるように工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 1 単位時間の学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設けており、タブレットを活用しながら、着実に思考力・判断力・表現力を高められるように工夫されている。 ○ 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設けており、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力したり活動する場面を設定することで、主体的・対話的な学びができるようにしている。 ○ 学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを活用しながら学習を進められるように工夫されている。 ○ 3 年間の社会科学学習を貫く 5 つのテーマについて、3 分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができる。 ○ 展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート等のコンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に配置している。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	○ 文章は敬体を用い、具体的な表現で中学生でも平易で分かりやすく記述している。振り仮名は、教育漢字外の漢字に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付している。 ○ 世界や日本の諸地域学習の各州や各地方の導入に、現地に暮らす中学生が生活の様子や地域の特色などを紹介するコラム「聞かせて！中学生」を設け、地域による違いや生活の工夫などに関心を高め、異文化理解や国土理解を深めるようにしている。 ○ 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすくなっている。 ○ 視覚的効果が高い幅広の判型（A B 判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっている。 ○ 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用している。また、強力な接着剤を用いた製本は堅ろうで、長期間の使用にも十分耐えられるものになっている。						

種 目	社会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	17	教科書 の記号・ 番号	地理 017-72	書 名	中学社会 地理 地域にまなぶ
			教 出				
1 内容に 関すること	○ 社会科の目標、地理的分野の目標や内容、内容の取扱いを踏まえ、地理的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が身に付くよう明確に押さえられている。 ○ 学習から興味や関心を広げさせることを目的に社会の変化や今日の課題が反映された事象を積極的に取り上げ、生徒が自立して生きるための資質・能力を育むように配慮されている。 ○ 中学校1年生の社会科・地理的分野の学習の導入として、「地理にアプローチ」が設定されている。これまで小学校で学んできた地図やグラフについて振り返る内容を取り入れる工夫が図られ、発達の段階を考慮した内容である。 ○ 学習内容が精選されている。社会をより深く理解することができるよう分野間の関連箇所を示すことで、学習内容の充実や多面的な視点を提示している。 ○ 記述内容が分かりやすく、防災など、身近な地域から社会を考えることができる教材や内容が適切に用いられている。出所、出典が適切に明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習指導要領に基づき、内容が分かりやすく組織的、系統的に配列されている。今日の課題を取り上げ、「地理的な見方・考え方」を働かせながら、問題解決的な学習を通してその変化や課題に対応する資質や能力を育成することができるように配慮されている。 ○ 今日の課題や社会の変化に自ら対応する資質・能力を育成するという視点から、問題解決的な学習内容が基調とさせる構成になっている。 ○ 基礎的・基本的な事項の確実な習得が図られるように配慮されている。また、学習を広げたり深めたりする箇所を設け、学習の支援となる工夫が施されている。 ○ 地理的分野の授業時数をふまえて適切に編集されてある。また、世界と日本の地誌学習に重点を置き、生徒がじっくり追究しながら充実した学習を展開できるよう配慮されている。 ○ その都度、これまでの学習を振り返りながら、社会参画の意識を持って地域の課題を見つめ直し、課題の解決方法を考察し、持続可能な社会の創造を構想させるよう配慮されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 地域の課題が日本全体に結びついたり、世界や日本で起きていることが地域の課題と結びついたりすることに生徒自身が気づき、地域や社会を持続可能なものにしていこうとするように配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心が高まるような資料を掲載し、「地理的な見方・考え方」をはたらかせながら、自分の意見が他者との交流を経てさらに深まっていくように配慮されている。 ○ 興味・関心に応じて個々に探究する学習に取り組めるよう「確認」「表現」などのページが工夫されている。 ○ 「関連ページ」などを設けて、各分野の学習内容との関連を示し、学習の支援が図られている。 ○ 学習の流れが冒頭に特設ページとして、分かりやすく明記されている。各種資料も適切であり、取り上げられている主な地域事例もバランスが良い。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 小学校との接続を踏まえ、小学校5、6年生の配当漢字にも振り仮名を付け、読みのつまずきを軽減するよう配慮されている。 ○ 日常生活や生徒の経験と関連が深い内容が多く取り上げられ、興味・関心を喚起する資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意識が高まるよう配慮されている。 ○ 色彩や印刷が鮮明で、活字の大きさも適切であり、黒字のユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 見開きを単位とした紙面を多く採用し、整理されたレイアウトで視認性が高まるよう工夫が見られる。 ○ 複数年の使用に耐えうる堅固な製本であり、各ページが開きやすい綴じ方になっている。また、印刷には再生紙と植物油インキが使われ、環境に配慮されている。						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 0 4 6 - 7 2	書 名	社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土
1 内 容 に 関 する こ と	○ 地理的な見方・考え方の視点を整理し、単元の知識の習得、技能の形成を図る「学習を振り返ろう」が設置されており、社会科の確かな学びとなるよう工夫されている。 ○ 単元を貫く「章・節の問い」や毎時の見開きにある「学習課題」、「確認しよう」、単元の終わりの「説明しよう」と、見通しを持って学習ができるよう構造化されている。 ○ 節の問いを基に資料の読み取りを行い、問題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 本文は地理的事象が具体的に記述されており、基本的な用語や概念を学べる。地理的な見方・考え方を働かせた考察ができるよう「パフォーマンス課題」が設置され、学習を発展させる工夫がされている。 ○ 全領域で適切な資料が用いられている。脚注欄には小学校や歴史的分野、公民的分野、他教科との関連性が明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 世界各州の地域的特色が大観でき、基礎的・基本的な知識を身に付け、地理的な見方・考え方を働かせて今日的課題を多面的・多角的に考察できるよう内容が組織化されている。 ○ 単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が「もくじ」「教科書を活用した学び方」から確認でき、学習の位置付けや見通しが掴みやすいよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容を理解するための単元の展開が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元学習が確実に実践できるよう工夫されている。 ○ 統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。見開き1単位時間の授業が想定されており、年間指導計画に広く適合できるようにしている。 ○ 現代社会に直面する課題の解決に向けて構想する活動場面が設けられており、生徒の社会参画に向けた態度・行動等を段階的に促す工夫がなされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 「導入」「学習課題」「確認しよう」と基本的内容を段階的に捉え、単元の終わりにある「説明しよう」で対話的な活動を通して、思考力・判断力・表現力が育成できるよう工夫されている。 ○ 学習内容と関連した豊富な写真が多用され、生徒の学習意欲を高めさせるものになっている。単元の最後に「学習を振り返ろう」で協働的に学習する場面があり、深い学びにつなげられるよう工夫がされている。 ○ 写真や地図、グラフを読み取る技能を着実に習得できるよう「技能をみがく」が設置され、段階的に課題に向き合い、自ら解決できるよう工夫がなされている。 ○ 今日的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」が設けられ、歴史的分野、公民的分野だけでなく、他教科の学習と関連する視点が提示されている。 ○ 学習内容の定着を支援するデジタル教材や問題解決的な学習を支援する「統計資料」「リンク集」等の参考資料が適切に配置されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 本文は簡潔で、未学習の漢字には振り仮名が付けてあり、生徒が読みやすい表現になっている。単元が進むに従い、学習課題も難易度が高くなり、発達段階に応じた工夫がされている。 ○ 現地で独自に取材した写真を使用しており、生徒の興味・関心を高めるよう工夫している。 ○ 本文のフォントや図版の色使い等、はっきりと読み取ることができるようユニバーサルデザイン化がされている。 ○ 教科書の冒頭で、世界と日本におけるSDGsの事例が写真で紹介され、SDGsと地理的事象の関連について意識できるよう工夫されている。 ○ 使用されている紙の材料は、引っ張りや折りなどに強い用紙が使用され、表面の摩耗や汚れを防ぐためにシートが貼られており、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。						

種 目	社会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	1 1 6 日 文	教科書の 記号・番号	地理 1 1 6 - 7 2	書 名	中学社会 地理的分野
1 内容に 関すること	○ 社会的事象の地理的な見方・考え方を学びながら、グローバルな課題を追究し解決する資質・能力の基礎を育成する内容となっている。 ○ 地理的分野の目標に対応した見方・考え方を身に付け、社会との関わりを意識した課題を追究する力の育成が図れるよう工夫されている。 ○ 作業学習の「トライ」で生徒の興味・関心を高めるとともに、資料の活用やまとめと振り返りの学習に取り組むことで、段階的に思考力・判断力・表現力等を高められるよう工夫されている。 ○ 資料や本文から知識や技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成の工夫がされており、「まとめと振り返り」で、「思考ツール」を活用することでより深く追究できるように工夫されている。 ○ 最新の時事問題を取り上げるとともに地図や図表などを地域的に偏ることなくバランス良く取り上げている。歴史的な経緯も取り上げ、その場所や年代、出典などが示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 初めに世界と日本の地域構成を大きく捉えさせ、その後に世界、日本の特色を具体的に学習するように配列されている。 ○ 単元を貫く課題と1時間ごとに課題が明示され、終わりに課題に対する「確認」や「表現」の間が設定され、学習の流れをつかみやすくしている。 ○ 学習課題を明確にして、導入部分からまとめの部分までの流れを同じにし、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようにしている。 ○ 「持続可能な地域をめざして」などで地理的事象の見方・考え方を深める設定もあり、年間指導計画に対応できる工夫がされている。 ○ 持続可能な社会を目指した防災や減災、海洋などの環境問題について取り上げられ、生徒にとって身近で関心ある内容が工夫されて扱われている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 小單元ごとに設定された学習課題の解決のための地理的な見方・考え方の観点が明確に示されている。基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用した表現等についても身に付けられるような問いが設けられている。 ○ 地理的な見方・考え方を促しながら、地域的特色を捉えて最後のまとめと振り返りを行うことで、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 学習の最後に「地域の在り方」が設定され、地域の課題を捉え、よりよくするために考察するなど、身近なことに興味・関心を持って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 小学校の既習内容や歴史的な分野、公民的分野などとの関連性を図った構成となっている。 ○ すべての小単元の導入の部分に二次元コードが付され、I C T機器を活用した学習により学びを深めるための工夫がされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 漢字の初出箇所と全ての重要語句に振り仮名をつけて読みやすくしている。図版には番号を付け、本文にも関連する図版番号を示すなどの工夫がされている。 ○ 最新の話題や今日的な課題、多様性等について具体的な事例で、生徒が親しみや魅力を感じるよう工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインを取り入れ、生徒が情報を読み取りやすくなるように配慮されている。 ○ 地理的な概念などを具体的に捉えることができる図を豊富に掲載している。また、大きく多彩な図にしておき読み取りしやすく工夫されている。 ○ 製本は、堅ろうなあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ、閉じにくくなっている。また、良質で軽い紙を使用し軽量化を図っている。						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	歴史 002-72	書 名	新編 新しい社会 歴史
1 内容に 関すること	○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定し、知識・技能を高め、思考・判断・表現力等の育成を目指す内容となっている。 ○ 平泉中尊寺金色堂等の身近な地域の国宝、重要文化財や主な史跡を数多く紹介することで、本地域の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を養えるようにしている。 ○ 導入ページでは、小学校の学習を振り返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出しながら、中学校の学習をスタートできるようにしている。 ○ 本文は丁寧で、事象の背景や因果関係が分かりやすく、歴史的な事象をとらえて幅広い知識と教養が身に付けられるように工夫している。 ○ 歴史研究の成果をふまえ、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載しており、出所や出典も明確である。						
2 組織と配列に 関すること	○ 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック＆トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されている。 ○ 見開き 1 単位時間の紙面を、『導入資料』→『学習課題』→『本文』→ 1 時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしている。 ○ まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意し、単元の目標を意識した振り返りの学習に役立つ工夫がなされている。 ○ 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、見開き 2 ページで 1 単位時間を原則とし、配当時間や年間指導計画を把握しやすい構成となっている。 ○ 「身近な地域の歴史」の事例を中単元ごとに設けることで、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えるようにしている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 各時代の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしている。 ○ 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるように設定している。 ○ まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意するなど、生徒が自己の学びを調整しながら学習できるように配慮している。 ○ 他分野や他教科、デジタル教材との関連マークが掲載され、多面的・多角的な学習や教科を横断した学習ができるように配慮されている。 ○ 資料に付した「図番号」を本文にも配置することで、学習効果を高める工夫を適切に行っている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 文章は敬体を用い、具体的な表現で中学生でも平易で分かりやすく記述している。振り仮名は、教育漢字外の漢字に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付している。 ○ 教科書に登場する中学生のキャラクターが学習の観点や発問をすることで、歴史の学習を身近なものと感じられるように工夫している。 ○ 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用し、資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすくなっている。 ○ 小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるように配慮している。 ○ 印刷用のインキは、環境に配慮した再生紙・植物油インキを使用している。また、強力な接着剤を用いた製本は堅ろうで、長期間の使用にも十分耐えられるものになっている。						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	17	教科書の 記号・番号	歴史 017-72	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
			教 出				
1 内容に 関すること	○ 社会科の目標、歴史的分野の目標や内容、内容の取扱いを踏まえ、持続可能な社会を創造する市民の育成を目指し、歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が身に付くよう明確に押さえられている。 ○ 学習内容の見通しと振り返りの学習場面が設定されている。各章のまとめでは、より「見方・考え方」を意識することができるよう言語活動に取り組む課題が取り入れられている。 ○ 中学校1年生では、小学校で学習した時代部分や年表の見方を確かめるなど、資料活用の方法を確認できるよう、発達段階に応じて無理なく学習が進められるよう配慮されている。 ○ 学習内容が精選されている。歴史的分野をより深く理解することができるよう「歴史の見方・考え方と学習の進め方」を示すことで、学習内容の充実や多面的な視点を提示している。 ○ 記述内容が分かりやすく、身近な地域の歴史から社会を考えることができる教材が適切に用いられている。出所、出典が適切に明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習指導要領に基づき、内容が分かりやすく組織的、系統的に配列されている。日本と世界の歴史がバランスよく配置され、時代背景を大局的に捉えながら学習できるよう構成されている。 ○ 今日の課題や社会の変化に自ら対応する資質・能力を育成するという視点から、「歴史的な見方・考え方」をはたかせながら、問題解決的な学習内容が基調とさせる構成になっている。 ○ 章全体の学習を振り返り、年表などにまとめる作業を通じて、学力の着実な向上が図られるように構成されている。 ○ 歴史的分野の授業時数をふまえて適切に編集されてある。また、近現代史に重点を置き、生徒がじっくり追究しながら充実した学習を展開できるよう配慮されている。 ○ 「地域調査の手引き」が示され、郷土の伝統と文化への関心を高める教材配列の工夫がなされている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 資料を読み取って考察する学習活動が重視され、生徒が自ら資料を読み取りながら、章の学習に見通しを持って進められるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心が高まるような資料を掲載し、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら、自分の意見が他者との交流を経てさらに深まっていくように配慮されている。 ○ 興味・関心に応じて個々に探究する学習に取り組めるよう「確認」「表現」などのページが工夫されている。 ○ 関連ページなどを設けて、各分野の学習内容との関連を示し、学習の支援が図られている。 ○ 「歴史にアプローチ」として、学習の流れが冒頭に特設ページとして、分かりやすく明記されている。各種資料も適切であり、取り上げられている主な地域事例もバランスが良い。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 小学校との接続を踏まえて、小学校5、6学年の配当漢字にも振り仮名を付け、読みのつまずきが軽減されるよう配慮されている。 ○ 日常生活や生徒の経験と関連が深い内容が多く取り上げられ、興味・関心を喚起する資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意識が高まるよう配慮されている。 ○ 色彩や印刷が鮮明で、活字の大きさも適切であり、黒字のユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 見開きを単位とした紙面を多く採用し、整理されたレイアウトで視認性が高まるよう工夫が見られる。 ○ 複数年の使用に耐えうる堅固な製本であり、各ページが開きやすい綴じ方になっている。また、印刷には再生紙と植物油インキが使われ、環境に配慮されている。						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	4 6 帝 国	教科書の記号・番号	歴 史 0 4 6 - 7 2	書 名	社会科 中学校の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 内容に 関すること	○ 当時の社会に見られた課題に対する様々な立場や考えを取り上げ、多面的・多角的に課題を追究し、各時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な技能を習得させるため、「資料活用」「対話」などが各所に設けられており、多面的・多角的に分析する力が養えるよう工夫されている。 ○ 各節の導入で、絵から時代の特色を掴む「タイムトラベル」が設置されており、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 小学校で学習した内容、地理や公民で学習する内容を示すマークがあり、学習内容の振り返りや発展を図ることができるようになっている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。						
2 組織と配列に 関すること	○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、各時代を比較できるほか、疑問点を見つけるなど、歴史の大きな流れを把握できるよう内容が配列されている。 ○ 各章、各節、本時と三つの問いがあり、それぞれが歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色を掴みやすいよう構成されている。 ○ 歴史的な見方・考え方を働かせるうえで、必要な技能を身に付ける「技能をみがく」が設置されており、基礎的・基本的な技能の定着への配慮がなされている。また、学んだことを具体例を通してさらに深める「歴史を探ろう」が設置されており、発展的な学習にも対応している。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容・分量ともに適切である。各校の年間指導計画に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 地域の姿を描いた「地域史」が設置されており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるよう工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 章・節・各見開きページのそれぞれの冒頭に、問いが設置してあり、生徒自身が学習内容の関連を図りながら、見通しを持って学習できるよう配慮されている。 ○ 具体的なテーマを設定して意見を交換する「アクティブ歴史」が設定されており、主体的・対話的で深い学びが実践できるよう工夫されている。 ○ 見開きページの末尾に「確認しよう」「説明しよう」の欄を設け、生徒自身で振り返りができるよう工夫している。 ○ 未来の社会をつくる参考になる取組を紹介する「未来に向けて」が設置されており、他教科や総合的な学習の時間との関連が図れるよう工夫されている。 ○ 挿絵、図表、写真が豊富に配置されている。各節の冒頭に二次元コードがあり、様々なデジタル教材が活用できるよう工夫されている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 平易な文章である。人物や地名等には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現がなされている。 ○ イラストの資料や地図が多様である。特設ページも多く、生徒が親しみを持って学習に取り組める工夫がなされている。 ○ 本文や図版などは、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○ 見開きページのグラフ、地図等において、色覚特性を持つ生徒も識別しやすい色や模様が使用されるなど配慮がなされている。 ○ 使用されている紙の材料は、引っ張りや折りなどに強い用紙が使用され、表面の摩耗や汚れを防ぐためにシートが貼られており、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	8 1 山 川	教科書の記号・番号	歴史 0 8 1 - 7 2	書 名	中学歴史 日本と世界 改訂版
1 内容に 関すること	○ 豊富な発問により、社会的事象の歴史的な見方や考え方が身に付くように、時期や理由、経緯や違いなどに着目できるように工夫されている。 ○ 各テーマの最後に示されている「ステップアップ」では、その時間の学習を踏まえた発展的な課題が提示され、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 「歴史との対話」では、歴史学習の導入として、学習の進め方を丁寧に説明しており、生徒が歴史に興味をもって主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 各テーマの冒頭に、学習課題を明示し、生徒が学習に見通しをもって主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 資料が各時代ともバランスよく提示され、出所や出典等も明確に示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 各章の始めに日本史と世界史に関する年表と資料を示し、視覚的に比較しながら学習の流れを把握することができるように工夫している。 ○ 時代を通した視点やグローバルな視点で見たテーマなどにより多角的・多面的に考察する工夫がされ、歴史への幅広い知識と教養を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 各章の「まとめ」では、基礎的な内容のほか、歴史的背景や事象同士の比較等により、各時代の特色や流れを捉えることができるように工夫されている。 ○ 一つのテーマを基本的に見開き2ページにしており、各章の配分も適切である。「歴史へのアプローチ」等が設けられ、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 「地域からのアプローチ」では、地域の歴史について、各時代の歴史の展開や文化財保護等の取組を理解することで、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えることができるように工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 各テーマにおいて基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指すため、学習課題、本文、「ステップアップ」という流れで構成されている。 ○ 「歴史を考えよう」では、美術作品や資料、地図、現代に関わりのある憲法等を取り上げ、生徒の興味・関心を喚起し、思考力を養う発問を設定し、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がされている。 ○ 意味の分かりにくい用語には、同じページに「用語解説」がついており、重要語句には、読み仮名がつけられており、生徒の理解を助ける配慮がなされている。 ○ 地理的分野や公民的分野で取り上げる内容についても扱われており、それらの内容を深く理解できるようになっている。 ○ 図表や資料が適切に配置され、学習内容を理解するための工夫がされている。二次元コードがつけられ、インターネットを活用して学習を深める工夫がされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 文章は常体で表現され、生徒のつまづきが予想される内容については、視覚的に捉えやすくなるように図式化の工夫がされている。 ○ 各世紀の世界の様子を生徒が親しみやすいように地図とイラストを用いて紹介し、日本と世界の歴史を関連させながら、その時代を捉えさせるように工夫されている。 ○ 本文には、ユニバーサルフォントが使用されており、地図やグラフ等にはカラーユニバーサルデザインに配慮して作成されている。 ○ 図版が大きく、バランスよく見やすく配置されている。発問やどこに注目すべきが分かりやすい配置となっている。 ○ 大きさはA B判で見やすい体裁である。再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	116 日 文	教科書 の記号・番号	歴史 116-72	書 名	中学社会 歴史的分野
1 内容に 関すること	○ 歴史的事象に関する関心を高め、資料の読み取りや意見交換など多面的・多角的に課題を考え、対話的な学びを促す設定がされている。 ○ 学習の初めや振り返りなどで、年表や世界地図等の資料から時間の流れと世界とのつながりを捉える工夫がされ、歴史の見方・考え方を使った思考力・判断力・表現力等を高めるように工夫されている。 ○ 小学校社会科での既習内容の確認の設定もあり、中学校での歴史分野の学習に生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 「チャレンジ歴史」を設けることで、自分で考えたり他者と協働で課題解決に取り組んだりできるように工夫され、意欲的に活動ができるよう配慮されている。 ○ 各時代において、バランス良く写真やイラスト資料が提示されており、出所や出典も明確である。						
2 組織と配列に 関すること	○ 歴史分野の学習の導入となる部分と各時代の特色を学ぶ部分、未来を構想する学習の部分で構成され、歴史の大きな流れを捉え、未来の現代社会の生活を考察できるように工夫されている。 ○ 単元を貫く課題と1時間ごとに課題が明示され、終わりに課題に対する「確認」や「表現」の間が設定され、学習の流れをつかみやすくしている。 ○ 学習課題を明確にして、導入部分からまとめの部分までの流れを同じにし、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようにしている。 ○ 「歴史を掘り下げる」など歴史的事象の見方・考え方を深める設定もあり、年間指導計画に対応できる工夫がされている。 ○ 単元ごとに史跡や人物などを紹介し、生徒が歴史を身近に感じながら調査の手順を学び、地域の歴史調査に生かすことができるように工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 小単元ごとに設定された学習課題の解決のための歴史の見方・考え方の観点が明確に示されている。基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用した表現等についても身に付けられるような問いが設けられている。 ○ 歴史について自ら考えたり対話したりして歴史の学習の楽しさを体験し、主体的・対話的で深い学びを実現できるようなコンテンツ等が設けられている。 ○ 学習の最後に「歴史との対話を未来に活かす」が設定され、災害や政治参加、世界平和などの現代の諸課題に係ることに興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 小学校の既習内容や地理的分野、公民的分野、美術分野などとの関連性を図った構成となっている。 ○ すべての小単元の導入の部分に二次元コードが付され、ICT機器を活用した学習により学びを深めるための工夫がされている。						
4 表現と体裁等 に 関すること	○ 文章は敬体を使用し、簡易な文章での表現や最新の写真や図表、グラフなどの資料が提示されている。 ○ イラストや図版は大きく鮮明であり、生徒の・興味・関心を高める工夫がされている。 ○ 文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。カラーユニバーサルデザインを採用し、全ての生徒が等しく情報を読み取れるように配慮されている。 ○ 各時代について、生徒の理解を促すために時代ごとの色を統一している。また、グラフにおいて、色以外にも線の種類を変えるなど工夫している。 ○ 製本は、堅ろうなあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくくなっている。また、良質で軽い紙を使用し軽量化を図っている。						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	225 自由社	教科書の記号・番号	歴史 225-72	書 名	新しい歴史教科書
1 内容に 関すること	○ どの時代においても多くの資料が提示されており、生徒が関心を持って学習を進め、多角的・多面的な考察や深い理解がなされるように工夫されている。 ○ 「時代の特徴を考える」ページでは、用語のまとめ、時代や人物の比較、作文等、言語活動に関わる作業的な学習を取り入れる工夫がされている。 ○ 歴史上の人物や、各時代の人々の生活を資料から知ること、歴史に対する理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 内容が精選され、史実により忠実な語句を用いて、生徒に興味・関心を持たせながら発展的な学習にもつなぐことができるよう工夫されている。 ○ どの時代も資料がバランス良く提示され、また、見やすく、出所や出典も明確である。						
2 組織と配列に 関すること	○ 歴史的事象が時系列に配列されており、大きな歴史の流れを理解しやすいように配慮されている。 ○ 各章、各節の内容は、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色を捉えやすいように構成されている。 ○ 各単元の導入に小学校での既習内容やその時代の資料等を示し、学習内容の把握と定着へと促す配慮がされている。 ○ 歴史的分野の基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量であり、特設のページが設けられ、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 紹介されている伝統的行事や文化などについて、生徒が身近な生活地域の伝統的行事などと比較したり、関連付けて考えたりすることができるように配慮されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 授業時間ごとに探究的な課題が設けられており、生徒が主体的に学習に取り組み、身に付けるべき資質・能力を育成するための工夫がされている。 ○ 「調べ学習」のページや「もっと知りたいコラム」などが単元の中に多く設けられており、各時代の人々の生活や考え方が理解しやすいように工夫されている。 ○ 各章末の「調べ学習」のページには、調べ学習の進め方が明示されており、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ○ 日本や世界の文化遺産や日本の文化財資料などが写真で紹介され、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるよう配慮されている。 ○ 単元におけるまとめのページと、次の単元における小学校で学習した人物を中心とした年表を示すことで、歴史の流れを大きく捉えることができるように工夫されている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 語句の説明や解説が「歴史の言葉」で丁寧にされており、人物や地名等に振り仮名が付けられ主体的な学習を進めるための工夫がされている。 ○ 特設ページで、人物やできごとに焦点を当て、生徒が魅力を感じながら学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 重要な語句や補足内容などについて、生徒が理解しやすいように、フォントやサイズを工夫している。色彩や印刷は鮮やかである。 ○ どの時代においてもバランス良く資料が提示されている。また、吹き出しなどを用いて丁寧な解説がなされている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	227 育鵬社	教科書の記号・番号	歴史 227-72	書 名	新しい日本の歴史
1 内容に 関すること	○ 歴史の大きな流れを把握するための基礎的・基本的な事項を取り上げ、イラストや資料等を活用し、歴史的事象に対する関心を高め、多面的・多角的に考察する力を養うように工夫されている。 ○ 生徒が多面的・多角的な視点から、より広く、より深く学ぶことができるようなコーナーが豊富に設定されており、主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫されている。 ○ 各章の始めに親しみやすいイラストで時代の流れを捉えさせる「歴史絵巻」が設定されており、生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 教材・資料等は、よく精選され、様々な歴史的事象を多面的・多角的に考察することができるように工夫されている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 歴史の流れについて、系統的に配列されており、歴史の大きな流れが捉えやすくなるように工夫されている。 ○ 各章、各節において、社会事象の歴史的な見方・考え方による課題追求、解決する力を育成するなど歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色を捉えやすい構成となっている。 ○ 各節と各テーマに課題が示され、学習に見通しを持たせながら基礎的・基本的な内容を身に付けることができるように工夫している。また、各テーマの終わりに学習課題を解決する「確認」と「探究」が設けられ、定着と歴史への幅広い知識と教養を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 「歴史ズームイン」で基礎的・基本的な知識の定着とより深い学びができるように工夫されており、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 「歴史ズームイン」で、「震災の日本史」「日本の領土をめぐる問題」等が取り上げられており、身近な内容として主体的な学びになるよう工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 各章で課題把握、調査、課題のまとめ・表現の構成となっており、基礎的・基本的な知識技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成を進めるように配慮されている。 ○ 日本や世界の歴史的な遺産などの写真や資料を紹介しており、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるように配慮されている。 ○ 「歴史ビュー」にあるコラムにより、多面的・多角的な視点を示して、生徒の興味・関心を高めながら、主体的な学びになるよう工夫されている。 ○ 各章での調査、課題のまとめ・表現により身に付けた力を総合的な学習の時間や各教科での協働的・対話的な学習において生かすことができるような工夫がされている。 ○ 各時代を大きく捉えることのできる図表や資料が適切に配置され、学習内容を理解するための工夫がされている。二次元コードがつけられ、インターネットを活用して学習を深める工夫がされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 平易な文章で表現され、漢字にルビふりを行い、生徒が自ら読み進めることができるよう工夫されている。 ○ 特設ページやイラストを用いたページが多く、生徒が親しみやすい魅力のある構成となっている。 ○ 文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句等はゴシック体の太字にする工夫がされている。 ○ 図表等は見やすい大きさで、明るくメリハリのある色彩デザインとなっている。 ○ 大きさはA B判で見やすい体裁である。再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2 2 9	教科書 の記号・ 番号	歴史 2 2 9-7 2	書 名	ともに学ぶ人間の歴史
			学び舎				
1 内容に 関すること	○ 資料を基に、調べ、まとめる技能を養い多面的・多角的な考察を深める表現活動ができるような工夫がされている。 ○ 各章の「ふりかえり」には、年表に関する内容が取り上げられており、時代の流れを押さえながら基礎的・基本的な知識を用いて多面的・多角的に考察する力を育成する課題設定などの工夫がされている。 ○ 7つの「歴史を体験する」のテーマを設定し、「火おこし」や「一人一人の歴史・家族の歴史」など体験や調べ学習、討論など、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 各時代を生きる人々の姿を捉えながら学習内容を構造化、焦点化して学習の充実を図る工夫がされている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 歴史の流れを把握しやすくするために、本編を大きな時代で6部、全10章に配列している。各章において、政治・経済・産業・文化・対外関係などについて、広く焦点を当てている。 ○ 各章、各テーマの冒頭に学習課題が明記され、各時代の特色を捉えやすく、見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 各章の「ふりかえり」では、基礎的・基本的な内容の定着と、対話的な活動を通して理解を深める工夫がされている。 ○ 一つのテーマを基本的に見開き2ページで1単位時間としており、内容の配分も適切である。また、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 「地域の博物館で調べる」など、身近にある施設を利用した学習に発展させることができるような配慮がされている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 本文と資料を読み解いていくことで、生徒が自ら気づき、学習に主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 各章の「ふりかえり」で、自分自身の考えの説明、発表、他者との意見交換等の活動を設定し、主体的・対話的な学びができるように工夫がされている。 ○ 巻末の12ページにわたる年表において時代区分の欄に「北海道など」、「沖縄など」の欄を設けて各地のできごとを捉えやすくしている。また、写真や資料等を併せて提示することで視覚的にも捉えやすくしている。 ○ 身近にある施設を利用した調べ学習や話し合いの進め方などが取り上げられており、総合的な学習の時間や他の教科において活用できる内容となっている。 ○ 図表や資料が適切に配置され、学習内容を理解するための工夫がされている。各テーマの終わりにコラムが掲載され歴史的事象や日常の事物の多面的・多角的な理解を深める工夫がされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 平易な文章で表現され、学習学年を想定した漢字の使用やルビふりを行い、生徒が自ら読み進めることができ、気づきや疑問を感じるような表現が工夫されている。文字は大きめで行間も広く読みやすい。 ○ 歴史の舞台に焦点を当てて詳しく書かれている「フォーカス」により、生徒の興味・関心を引き出し、主体的な学習ができるように工夫している。 ○ 地図やグラフ等はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成されており、学習に取り組みやすい工夫がされている。 ○ 版型がA4であることから図版が大きく、バランスよく見やすく配置されている。 ○ 再生紙、植物インキが使用されており、製本は丈夫で開きの良いPURで安全面にも配慮している。						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2 3 6	教科書の 記号・番号	歴史 2 3 6 - 7 3	書 名	国史教科書 第7版
		令 書					
1 内容に 関すること	○ 様々な資料を採用しながら、愛国心を自覚できるよう、我が国の歴史に対する関心を高める内容となっている。 ○ 豊富な資料を提示し、多角的・多面的な考察が促し、思考、判断、表現の力を養うための工夫が見られる。 ○ 我が国の成り立ちから始まる歴史の在り方を重視し、豊富な資料から、学習意欲を高めるための工夫が見られる。 ○ 政治、外交、文化、産業の視点から各時代のまとめができるよう工夫がされている。 ○ 各時代の特色を表す巻末資料や日本美術図鑑が提示されて、出所、出典が適切に明示されている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 歴史の流れを日本史の文献資料に基づいて、系統的に興味や関心を持って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 学習指導要領に準じて、ねらいが明確であり、内容のまとまりが見られる。各時代の流れや特色を時代区分ごとに年表にまとめ、把握しやすいよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的内容を踏まえながら、「時代ごとの特色をとらえよう(古代まで)」などの多様な時代のまとめ学習の課題が設定されている。 ○ 豊富な記述内容や資料が掲載されている。各校の実態に合わせて、計画が作成できるように工夫されている。 ○ 生徒の実態に即し、幅広く学ぶことができるよう、細やかな記述内容、資料が掲載されている。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 導入の「課題」、まとめの「考えよう」の課題が設定されており、自ら学ぶことができるように工夫、配慮がなされている。 ○ 補助資料が豊富に掲載されており、生徒が主体的に探究し、深い学びに進めることができるよう工夫が見られる。 ○ 既習事項を活用し、深い学びに進めることができるよう、「歴史について議論しよう」などの各時代の特色をまとめる課題が工夫、設定されている。 ○ 特色のまとめ方やディベートの方法など、他教科にも関連付けられる特集ページが豊富である。 ○ 巻頭の「序 国史を学ぶにあたって」、巻末の「歴史学習の幅を広げよう」で学習の手引きが明記されている。また、時代の特色を表す巻末資料や日本美術図鑑が提示されている。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 振り仮名を付け、読みのつまづきが軽減するよう配慮されている。縦書きの表記であり、敬体で表現されている。資料には分かりやすい現代語訳が付けられている。 ○ 各時代の扉絵が各時代の特色を表すイラストを取り入れており、生徒にとって、親しみが持てるよう工夫されている。 ○ 活字の大きさや字体が適切であり、印刷は鮮明である。特に、巻末資料や日本美術図鑑が見やすい。 ○ 図表は本文に沿って、レイアウトやバランスなどが適切に配置されている。 ○ A5判の大きさとコンパクトであり、堅固な製本である。						

種 目	社 会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	2	教科書 の記号・ 番号	公民 002-92	書 名	新編 新しい社会 公民
		東 書					
1 内容に 関すること	○ 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする学習活動を行い、公民としての資質・能力を養うことができるように工夫されている。 ○ 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしている。 ○ 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を設けるとともに、QRコンテンツから既習事項をふり返るなど、小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしている。 ○ 学習内容を精選し、知識・技能を活用して解決する学習課題が設定され、章のまとめでは「確かめ」「振り返り」「深める」という段階的な学習が進むように工夫されている。 ○ 資料や写真、統計などは人権、伝統文化、環境など様々な課題を取り上げ偏りのないよう配慮されており、出所、出典が明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 現代社会を「導入部」とし、「政治」「経済」を展開部、「国際社会」を終結部として捉えることで学習の流れや成果を意識できる構成となっている。 ○ 各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしている。 ○ 公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしている。 ○ 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしており、標準授業時数100単位時間のうち、4単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能となっている。 ○ 選挙権・国民投票権の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを豊富な資料とともに概観するページや憲法改正や選挙に関する記述を掲載することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようにしている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 見開き1単位時間を、『導入資料』→『学習課題』→『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしている。 ○ 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 ○ 理科、道徳、家庭科など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、QRコードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、教科を横断して多面的に学習を深められるようにしている。 ○ 各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められる工夫をしている。 ○ 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしている。						
4 表現と体裁等 に 関すること	○ 文章は敬体を用い、具体的な表現で中学生でも平易で分かりやすく記述している。振り仮名は、教育漢字外の漢字に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付している。 ○ 教科書に登場する中学生のキャラクターが学習の観点や発問をすることで、公民の学習を身近なものと感じられるように工夫している。 ○ 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用し、資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすくなっている。 ○ 資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっている。 ○ 印刷用のインキは、環境に配慮した再生紙・植物油インキを使用している。また、強力な接着剤を用いた製本は堅ろうで、長期間の使用にも十分耐えられるものになっている。						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	17	教科書の 記号・番号	公民 017-92	書 名	中学社会 公民 ともに生きる
			教 出				
1 内容に 関すること	○ 社会科の目標、公民的分野の目標や内容、内容の取扱いを踏まえ、持続可能な社会を創造する市民の育成を目指し、公民的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が身に付くよう明確に押さえられている。 ○ 「文化の継承」や「人権」、「まちづくり」「SDGs」などの特設ページを設け、より「見方・考え方」を意識することができるよう資料の読取から言語活動に取り組む工夫が取り入れられている。 ○ これまで学習を振り返り、より深化した学習がなされるよう配慮、工夫がなされている。また、「TRY」では、考察の深化を促し、主体的に社会に関わる態度を育成する課題を設定している。 ○ 学習内容が精選されている。公民的分野をより深く理解することができるよう「公民の見方・考え方と学習の進め方」を示すことで、学習内容の充実や多面的な視点を提示している。 ○ 記述内容が分かりやすく、身近な地域の社会的事象から社会を考察することができる教材や内容が適切に用いられている。出所、出典が適切に明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習指導要領に基づき、内容が分かりやすく組織的、系統的に配列されている。社会の変化や今日的課題が反映された事象が積極的に教材化されており、問題解決的な学習ができるよう構成されている。 ○ 社会の変化や今日的課題が反映された事象を積極的に取り上げることで生徒の「未来社会を切り拓くための資質・能力」を育むよう配慮されている。 ○ 学習内容を詳しく丁寧に取り上げることで、基礎的・基本的な事項の確実な習得が図られるように配慮され、段階的な学習を通して、学力の着実な向上が図られるように構成されている。 ○ 公民的分野の授業時数をふまえて適切に編集されてある。また、政治領域に重点を置き、生徒がじっくり追究しながら充実した学習を展開できるよう配慮されている。 ○ 生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられ、生徒が身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるよう教材の配列が工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 「確認」を受けて学習したことを基に表現させる工夫や資料から考察する「THINK」などの資料から考察する課題、まとめ学習としての発展的課題が設定されている。 ○ 「確認／表現」のコーナーでは、自分の意見や他者との交流を経てさらに考えが深まっていくよう工夫、配慮されている。 ○ 興味・関心に応じて個々に探究する学習に取り組めるよう「確認」「表現」などのページが工夫されている。また、シミュレーションやプレゼンテーションなどを中心にグループによる学習をバランスよく配置し、教え合いや学び合いによる協働学習をもとに、新たな知識の習得や生徒の学習意欲を向上させる工夫が図られている。 ○ 関連ページ」などを設けて、各分野の学習内容との関連を示し、学習の支援が図られている。 ○ 「公民にアプローチ」として、学習の流れが冒頭に特設ページとして、分かりやすく明記され、各種資料も適切であり、取り上げられている主な地域事例もバランス良く取り上げられている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 小学校との接続を踏まえ、小学校5、6学年の配当漢字にも振り仮名を付け、読みのつまずきが軽減するよう配慮されている。 ○ 日常生活や生徒の経験と関連が深い内容が多く取り上げられ、興味・関心を喚起する資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意識が高まるよう配慮されている。 ○ 色彩や印刷が鮮明で、活字の大きさも適切であり、黒字のユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 見開きを単位とした紙面を多く採用し、整理されたレイアウトで視認性が高まるよう工夫が見られる。 ○ 複数年の使用に耐えうる堅固な製本であり、各ページが開きやすい綴じ方になっている。また、印刷には再生紙と植物油インキが使われ、環境に配慮されている。						

種 目	社 会 (公民的分野)	発行者の番号・略称	4 6	教科書の記号・番号	公民 0 4 6 - 9 2	書 名	社会科 中学校の公民 よりよい社会を目指して
		帝 国					
1 内容に 関すること	○ 主体的・対話的な学びを通して、生徒が持続可能な社会の形成者としての自覚を持ち、公民としての資質・能力の基礎を育成できるよう配慮されている。 ○ 巻頭で公民的分野を学ぶ意義について触れているほか、文面についても社会参画の意識を育むよう工夫されている。 ○ 章の冒頭で、イラストを読み解く活動を通して、単元の学習内容と生活経験、既習事項を結び付けることで、学習内容への関心を持たせるよう工夫している。 ○ 「技能をみがく」コーナーが設置されており、ロールプレイングやディベート、ディスカッション等を通して、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。 ○ 日本の領土問題やロシアのウクライナ侵攻については、国際法に則って考察されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 「現代社会」「政治」「経済」「国際」の四部で構成されている。学習の見通し、章・節・見開きの三つの段階でそれぞれに問いと振り返りを設けることで、学習の効果が上がるよう工夫されている。 ○ 各章の「学習の前に」で見通しを持たせ、毎時の学習課題については「確認しよう」「説明しよう」で、思考力・判断力・表現力等の定着が図られるよう工夫されている。 ○ 各章の「学習を振り返ろう」では、節と章の振り返りを設け、知識・技能・思考力・学びへとつながるよう工夫されている。 ○ 単位時間が見開き2ページ構成となっており、内容・分量が適切である。総授業時数90時間にすることで、発展的な学習を年間指導計画に組み込めるよう配慮されている。 ○ 学びと実社会をつなぐ導入資料が適切である。身近な事例を取り上げて課題に取り組ませることで、社会参画の意識が育まれ、自分ごととして学習に取り組むことができるよう工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 章・節・本文ページの冒頭に学習する内容を問いの形式で示すことで、生徒自身が学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組むよう配慮されている。 ○ 特設ページ「アクティブ公民」で、実社会で起きうる問題に対して、さまざまな立場でディスカッションやロールプレイング等の手法を用いることで、主体的・対話的で深い学びや技能の定着等を図るよう工夫されている。 ○ ICT機器を活用して、個別最適な学びを支援する工夫が見られ、生徒が自己の学びを調整しながら学習ができるよう配慮されている。 ○ 「未来に向けて」コーナーを設け、「環境・エネルギー」「防災」「人権」「多文化」等、理科や道徳、総合的な学習の時間等と関連付けられている。 ○ 二次元コードを活用して動画や参考資料、ウェブページを参照することができるなど、ICT機器を活用した授業を想定した工夫がなされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 本文は平易な文章が用いられている。男女のイラストで役割を限定しないなど、ジェンダーの固定観念を持たないよう配慮されている。 ○ イラストや具体事例、生徒の調べ学習を支援する教材が多数掲載されており、実社会への興味・関心を高める工夫や個別最適な学びを支援する配慮がなされている。 ○ 本文や図版などは、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○ 大判のイラストや写真が用いられ、生徒の関心を高める工夫がなされている。新旧の比較や実社会の事情に迫る資料を掲載するなど、資料選択や配置が工夫されている。 ○ 使用されている紙の材料は、引っ張りや折りなどに強い用紙が使用され、表面の摩耗や汚れを防ぐためにシートが貼られており、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の番号・略称	116 日 文	教科書の記号・番号	公民 116-92	書 名	中学社会 公民的分野
1 内容に 関すること	○ 現代社会の諸課題の解決にむけて、主体的に社会に関わろうとする態度が育成できるよう工夫されている。 ○ 18歳成人に関わる内容を取り扱い、新しい時代を担う主権者としての意欲や態度を培うことができるよう工夫されている。 ○ 地理的分野や歴史的分野との関連や高等学校での学習につながるような工夫など、社会を生き抜く力が身に付くよう配慮されている。 ○ 少子高齢化、情報化、グローバル化等の社会的な課題について、身近な資料を用いて考察することで、自分のこととして主体的に解決しようとするように工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明示され、国際関係、情報、環境・エネルギー、防災等に関する内容が適切である。						
2 組織と配列に 関すること	○ 「私たちと現代社会」で公民の学習の導入として取り入れ、生活と政治、経済、国際社会、持続可能な社会を目指した課題の順番で配列されており、生徒の興味・関心を高めながら系統的・発展的な学びとなるような工夫がなされている。 ○ 単元を貫く課題と1時間ごとに課題が明示され、終わりに課題に対する「確認」や「表現」の問が設定され、学習の流れをつかみやすくしている。 ○ 学習課題を明確にして、導入部分からまとめの部分までの流れを同じにし、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようにしている。 ○ 「明日に向かって」のテーマでは、社会や世界に向き合い、自らの人生を切り拓いていくことができる設定がなされ、年間指導計画に対応できる工夫がされている。 ○ 東日本大震災を、持続可能な社会と関連付けて取り上げ、復興に向けて考えを深め、防災・減災意識が高まるよう工夫されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 各章の導入から振り返りまでの授業の流れが構造化されており、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の形成を進められるよう工夫されている。 ○ 具体的な事例や資料を読み取り、見方・考え方を働かせて主体的・対話的で深い学びとなるように「アクティビティ」コーナーを設けるなどの工夫がされている。 ○ 「公民+α」「情報スキルアップ」として、生徒が興味・関心を持って学習し、自ら深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 地理的分野と歴史的分野で身に付けた力をさらに伸ばすために連携コーナーを提示し、関連性に配慮している。 ○ 抽象的な社会の仕組みを具体的にイメージできる図版が豊富に掲載されている。すべての小単元の導入の部分に二次元コードが付され、ICT機器を活用した学習により学びを深めるための工夫がされている。						
4 表現と体裁等 関すること	○ 文章は敬体を使用し、簡易な文章での表現や最新の写真や図表、グラフなどの資料が提示されている。 ○ イラストや図版は大きく鮮明であり、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ○ 文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。カラーユニバーサルデザインを採用し、全ての生徒が等しく情報を読み取れるように配慮されている。 ○ 資料は大きく鮮明である。また、見やすい位置に配置されている。学習の視点がヒントとして吹き出しで提示されており、効果的である。 ○ 製本は、堅ろうなあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくくなっている。また、良質で軽い紙を使用し軽量化を図っている。						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	2 2 5	教科書 の記号・ 番号	公民 2 2 5－9 2	書 名	新しい公民教科書
		自由社					
1 内容に 関すること	○ 社会の諸問題を具体的に取り上げ、社会的な見方・考え方を働かせながら、公民としての基礎的教養を養い、自ら考えようとする態度が培われるよう工夫されている。 ○ 1単位時間において基礎的・基本的な学習内容の確認と定着を図る「ここがポイント」が設定され、それをもとに発展的な学習で、思考力・判断力・表現力等の育成を図るよう工夫されている。 ○ 功績を残した先人を取り上げることで歴史的なつながりを持たせ、生徒の興味・関心及び学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 「もっと知りたい」や学習のまとめと発展の学習の中で、生徒が主体的に探究的な学習や個別最適な学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 領土問題や人権問題、少子高齢化などの社会の諸問題についてバランス良く取り上げている。資料の出所、出典が明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 現代日本の姿から系統的・発展的に学習が進むように配列されている。各章末に「学習のまとめと発展」があり、深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 1単位授業ごとに問いがあり、生徒の主体的な学習を促している。問いに関する資料の量も適当である。 ○ 各章末には、学習のまとめと発展的な内容が設けられ、基礎的・基本的な内容の確実な定着から更に発展的な学習を行えるよう工夫されている。 ○ 単元は、柔軟に発展的な学習課題を扱うことができるよう設定されており、年間指導計画の作成に柔軟に対応することができるよう配慮されている。 ○ 各章に「やってみよう」を設定し、学習内容を生徒の生活と結び付ける問いが示されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 基礎的内容を精選し、基礎的・基本的な内容の理解と定着を図り、それらを活用して発展的な学習により思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう工夫されている。 ○ 身近な題材について「アクティブに深めよう」などで、グループで話し合うことで、主体的・対話的に考えを深められるよう配慮されている。 ○ 重要事項の確認、発展的な学習内容の記載、文章記述の課題等、生徒の個性や能力に応じた幅広い学習活動ができるよう工夫されている。 ○ 既習の歴史的分野や地理的分野、理科や美術、道徳など他教科との横断的・総合的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 写真や挿絵、イラスト、図表などの資料が丁寧な解説とともに適切に提示されている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 平易な文章で記述されている。また、漢字には振り仮名をつけるなど、配慮がなされている。 ○ 時事問題やメディアで話題となった内容を取り上げ、生徒の学習への興味・関心を高める工夫がされている。 ○ 重要な語句や補足内容などについて、生徒が理解しやすいように、フォントやサイズを工夫している。色彩や印刷は鮮やかである。 ○ どの章においても写真や図表などがバランス良く提示されており、大きさも適切である。グラフの線も工夫されており、生徒にとって読み取りやすいように工夫されている。 ○ 製本は、体裁がよく堅ろうである。						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7 育鵬社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 2 2 7 - 9 2	書 名	新しいみんなの公民
1 内 容 に 関 する こ と	○ 公民の基礎的な知識・技能を習得し、社会的事象を自分ごととして捉えることができる教材や資料をバランスよく配置し、現代社会の課題解決に主体的に関わろうとする態度を養い多角的・多面的な考察ができるように工夫されている。 ○ 主権者教育の充実と情報通信技術や防災・減災等、持続可能な社会の実現に向けた取り組み等を考えることができよう工夫されている。 ○ 小学校の学習内容や地理的分野、歴史的分野の内容について、各章の始めに紹介し、生徒の興味・関心を高め公民学習への導入に配慮がされている。 ○ 現代社会における「少子高齢化」「多文化共生」「グローバル化」「伝統文化の継承」等の課題について、生徒目線で考え、判断し、深めることができるような内容の工夫がされている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明示されている。領土に関わる問題や伝統文化、人権問題などにも偏りがないように配慮されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 学習の流れについて、課題把握、調査、課題のまとめ・表現という問題解決型の学習になっており、生徒が見通しをもって主体的・対話的で深い学びを行うことができるように工夫されている。 ○ 各章の始めに学習内容を示す資料と章と節の課題を提示し、章全体の学習内容を捉えやすく見通しを持たせるための工夫をしている。 ○ 各節と各テーマに課題が示され、学習に見通しを持たせながら基礎的・基本的な内容を身に付けることができるように工夫している。また、各テーマの終わりに学習課題を解決する「確認」と「探究」が設けられ、定着と歴史への幅広い知識と教養を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 見開き2ページが1単位時間となっており、内容・分量が適切である。「学習を深めよう」などの課題も設定されており年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 学習課題や内容が、これからの自分の生活に役に立つ内容であることを想起させる内容となっている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 学習の中で小集団での討議等を取り入れ、考えをまとめたり発表や議論の仕方を身に付けたりすることができるように内容が工夫されている。また、レポートなどでまとめる活動など思考力・判断力・表現力等を高める多様な学習内容となっている。 ○ 生徒自身が見ることのできる新聞記事などを用いることで、自ら社会と向き合う学習を通して主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 学習を通して、生徒が自分の人生デザインを考えるなど、生徒の個性や能力に応じた配慮がされている。 ○ 「人権問題」「日本の文化」「対立と合意」等の学習内容を通じて、道徳的態度を養うことができるように配慮されている。 ○ 図表や資料が適切に配置され、学習内容を理解するための工夫がされている。二次元コードが各章の始めにつけられ、インターネットを活用した学習ができるように工夫がされている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 平易な文章で表現され、漢字にルビふりを行い、生徒が自ら読み進めることができるよう工夫されている。 ○ 特設ページやイラストを用いたページが多く、生徒が親しみやすい魅力のある構成となっている。 ○ 文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句等はゴシック体の太字にする工夫がされている。 ○ 図表等は見やすい大きさで、明るくメリハリのある色彩デザインとなっている。 ○ 大きさはA B判で見やすい体裁である。再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教科書 の 記 号 ・ 番 号	地図 0 0 2 - 7 2	書 名	新編 新しい社会 地図
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 地理的分野の活用だけでなく、歴史的事象・公民的分野の学習に活用できる地図や主題図等が学習指導要領に合わせて掲載されている。 ○ 社会科の学習内容に沿った資料を選定し、教科書と併せて活用することで学習効果が高まるように配慮されている。 ○ 地図帳の見方・活用の仕方が冒頭に位置付けられており、発達段階に応じて学習できるように工夫されている。 ○ 世界の各州・日本の各地方には、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載することで、基礎的・基本的な知識を習得できるようにしている。 ○ 地図や主題図、統計資料がバランス良く掲載されており、主題図や統計資料の出所や出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 地理的分野の教科書の構成に準じた配列で、補助的な資料も豊富に掲載されており、学習効果を高める工夫がされている。 ○ 地理的分野の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を掲載し、学習効果が高まるようにしている。 ○ 地図帳の活用を補助するコーナー「Bee's eye」の問いに取り組むことで、資料を読み取る力や活用する力を高めたり、社会の在り方や自分の行動について考えたりすることができるように配慮している。 ○ 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成していて、社会科の授業で扱いやすいように、地図やグラフなどの適切な資料を掲載している。 ○ 東日本大震災後の街並みの変化に関する主題図を取り上げるなど、環境問題や防災、文化、平和などの諸課題に関わる資料を豊富に掲載している。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 世界の各州・日本の各地方には、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載しているので、基礎的・基本的な知識を習得できるように工夫している。 ○ 「Bee's eye」で社会の課題にどう取り組むべきかを問う質問を設け、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように工夫している。 ○ 「Bee's eye」に取り組むことで、図の読み取りの補助や地図帳の活用など、主体的な学びを促す工夫がなされている。 ○ 持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールの一覧を掲載し、現代的な諸課題を捉え、総合的な学習の時間等を関連付けて、解決に向けた態度を養えるよう工夫されている。 ○ 世界の生活や文化を示す写真や、さまざまな言語の会話例など、生徒の興味・関心を高める資料を掲載している。また、デジタル地球儀「My Globe」や「世界の気候景観」など、生徒の興味・関心を高めるQRコンテンツが活用できるようになっている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 日本の一般図の地名などには原則として全てゴシック体の振り仮名を付し、読み取りやすくしている。 ○ 「Bee's eye」のコーナーで、はちのキャラクターが地図を読み取るヒントを生徒に与える形式にすることで、生徒の意欲・興味・関心を高める工夫をしている。 ○ 使用しているほとんどの文字にユニバーサルデザインフォントを採用している。また、色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを採用している。 ○ 視覚的効果が高いA4判を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成にしている。また、適切な大きさの文字や書体を使用し、読みやすくしている。 ○ 環境に配慮した用紙や植物油インキを使用しており、本体は糸かがりとじで製本しているため、堅ろうで長期間の使用にも十分耐えられる作りになっている。						

種 目	地 図	発行者の番号・略称	4 6	教科書の記号・番号	地理 0 4 6 - 7 2	書 名	中学校社会科地図
		帝 国					
1 内 容 に 関 する こと	○ 学習指導要領に合わせて、世界は州別、日本は地方別で地図や資料が構成されている。また、鳥瞰図を用いて立体的な景色や地形を読み取れ、視覚的に捉えやすいよう工夫している。 ○ 「防災」「環境」などのテーマを持たせた特設の主題図が掲載されており、現在及び将来の社会が直面する課題及び持続可能な社会について考えることができるよう工夫されている。 ○ 地図の基本的な見方・使い方など、地図活用の基礎となる部分が丁寧に説明されている。小学校で学習した地図の約束ごとを振り返られるようになっているなど配慮がなされている。 ○ 地図活用の技能が身に付く問い「地図で発見！」において、生徒同士の対話を意識した問いが設けられており、課題に粘り強く向き合えるように工夫されている。 ○ 地域の特色が偏らずに理解できるよう構成されており、多角的な視点で地図や資料が選定されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ 地図の活用を通して世界と日本の地域的特色が捉えられるように配列されている。3分野の学習だけでなく、多様な場面でも活用できるよう配慮されている。 ○ 学習活動を通して地理的な見方・考え方を働かせ、地図活用の技能が身に付けられるよう構成されている。 ○ さまざまな学習形態でも主体的に取り組める内容・表現になっている。主題図は、同じ縮尺のものが並べられ、変化や関係性などが追究できるよう工夫されている。 ○ 使用されている資料は、多面的・多角的に選定されており、分量も適切である。地域の特色に偏らず構成されている。歴史的分野や公民的分野の指導に対応できるものになっているなど工夫がなされている。 ○ 地理的分野以外の学習にも活用できるよう工夫がなされている。「防災」「領土」「SDGs」等、今日的な課題に対応し、様々な実態に広く適応するよう配慮がなされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 「この地図帳の使い方」で地図帳の基本的な見方・使い方が説明されている。また、地形図の見方が習得できるコーナーが設定されており、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮がされている。 ○ ICT関連、環境問題等の新しい動きの主題図を掲載することで、生徒の興味・関心を高め、問題解決に向けて考察ができるよう工夫されている。 ○ 自然環境や生活・文化・産業等を掲載した鳥瞰図により、地域の特色が視覚的に読み取れるように工夫されている。 ○ 歴史的分野や公民的分野でも活用できる資料をアイコンで明示している。防災については、各地方の主題図において防災をテーマとする資料を掲載するなど工夫されている。 ○ 地理的分野の学習内容を深める資料を掲載している。また、二次元コードから様々なデジタル教材を活用することができ、資料活用能力を高められるよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	○ 地名や未学習の漢字には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現がなされている。また、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭で解説されているなど、学年に応じて活用しやすいように配慮されている。 ○ 問いコーナーやイラストを多数掲載し、地図に親しみやすい配慮がなされている。 ○ 色や文字の書体、フォント、絵記号のデザインやレイアウトが統一され、全ての生徒に見やすい工夫がなされている。 ○ 日本の拡大図が各地方の様子が読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。また、世界各国の様々な特色が視覚的に読み取れるなどの工夫がなされている。 ○ 使用されている紙の材料は、引っ張りや折りなどに強い用紙が使用され、表面の摩耗や汚れを防ぐためにシートが貼られており、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学	書 名	新編 新しい数学1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学2 ～MATH CONNECT 数学のつながり 新編 新しい数学3 ～MATH CONNECT 数学のつながり
		東 書	0 0 2 - 7 2 0 0 2 - 8 2 0 0 2 - 9 2				
1 内 容 に 関 する こ と	○ 各章の導入には、主体的な学びを促すための「章とびら」が、章末には、数学のよさを実感できるように、「社会で数学を活用している人の紹介」がそれぞれ設定されている。巻末の「数学の目で振り返ろう」では、数学的な見方・考え方の具体例が示されるなど、数学科の目標が反映されている。 ○ 巻頭で「デジタルコンテンツの使い方」、「大切にしたい数学の学び方」、「この本の構成と使い方」が掲載され、I C T機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの視点からの授業改善が図られるよう配慮されている。 ○ 小中の接続を意識して、中学校1年生に「0章 算数から数学へ」が設定されている。 ○ 節末「基本の問題」、巻末「補充の問題」では、本文参照ページが示され、自学自習ができるよう配慮されている。 ○ 日常生活や他教科と関連した内容や資料に偏りがなく掲載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 日常、地域、仕事それぞれと数学のつながり、更には小・中・高のつながりが見える題材が設定されるなど、学習の効果があがるよう配慮されている。 ○ 章タイトルは、章を通して身に付けさせたい資質・能力として示し、見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 「問」「クイックチェック」「基本の問題」「章の問題A」には「チェックボックス」を設けてあり、自己調整して学習を進める配慮がされている。また、「章の問題B」は「記述式の問題」を扱い、自らの考えを表現する力を高める指導ができるよう配慮されている。 ○ 前の学年までの学習を振り返る「学びのベース」、授業にあわせて利用できる「補充の問題」など、個人差に応じて学習できるように、問題量に配慮がされている。 ○ 「環境」「福祉」「防災・安全」「伝統・文化の尊重」「人権・多様性の尊重」に関わる題材を取り上げ、学習を通じて持続可能な社会づくりを推進する配慮がなされている。また、写真やデータは特定の地域に偏ることがないように選定に配慮がなされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 「チェックボックス」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点毎にマークを変え、観点を意識しながら学習指導ができる配慮がされている。 ○ 「問」には、確実に解いてほしい問題に「♡マーク」、やや難易度が高い問題に「★マーク」がついていて、習熟度に応じた学習へ配慮がなされている。 ○ 「深い学びのページ」は、右ページから始まり、次ページの生徒キャラクターの考えが見えないため、生徒の思考を妨げない配慮がなされている。 ○ 「数学の自由研究」で、日常生活や他教科の学習と関連した課題やそれをレポートにまとめる活動の例が示され、発展的な学習が進められるよう配慮がなされている。 ○ 挿絵、図表、写真等は、内容がより理解できるように適切に配置されている。また、学習を支援するデジタル教材が豊富である。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 新出用語はゴシック太字で示され、ルビが振られているなど、表記、表現が発達段階に応じて配慮されている。 ○ 「章とびら」では、日常生活や数学の事象を1コマのイラストで提示したり、生徒にとって身近な挿絵、写真、吹き出しを用いたりするなど、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮がなされている。 ○ 紙面にゆとりをもたせるとともに、文字の大きさ、行間などは読みやすくわかりやすいように配慮がなされている。本文には、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ○ 資料や図表はレイアウトや大きさは適切で、見やすく配置されている。 ○ 用紙は白色軽量化用紙を使用し、インクは環境やアレルギーに配慮したものを使用している。また、堅ろう性、耐久性に優れた仕様になっている。						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	4	教科書の記号・番号	数学 7 0 2 8 0 2 9 0 2	書 名	数学の世界 1 数学の世界 2 数学の世界 3
			大日本				
1 内容に 関すること	○ 数学的活動の中で、数学的な見方や考え方を働かせることができるような具体例を設けており、数学科の目標達成のための工夫がなされている。 ○ 単元の導入などにおいて、生徒が主体的に取り組める身近な学習課題が設定されている。生活の中で、数学的な見方や考え方を伸ばすような工夫がされている。 ○ 「社会にリンク」により、社会や職業と数学とのつながりを感じさせるなど、数学の有用性を実感し、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 各章に「活動」の項目があり、数学的活動を意識している。また、それを通して思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫がされている。 ○ SDGs や多様性への配慮など様々な教育課題に対応した題材が偏りなく掲載されており、資料の出所、出典が明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 目次には「これまで学んだこと」として既習事項の学年の内容が記載されており、各領域とも学んだことを振り返ることで、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 「めあて」が明確に示されており、生徒が学習を進める上での見通しが立ち、過程についてもその必要性が理解しやすい。 ○ 「補充問題」や「総合問題」などが掲載されており、基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進められるよう配列されている。 ○ 各章の「〇〇の利用」では、「課題発見」から「課題解決」、「深める」までの過程が明確に示され、深い学びとなるように配慮されている。 ○ 「課題学習」では、いろいろな領域を総合したり、他教科での学習に関連したりする問題を例示し、生徒にとって身近な場面を扱う題材が計画的に配列されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 本文ページの測注に、生徒にとって覚えておいた方がよいものが掲載されているなど、主体的な学習を促す配慮がされている。 ○ 「学びにプラス」、「MATHFUL」などで、より身近なものや他教科との横断的な内容も扱われており、数学の学習への興味や関心を高められるような工夫がされている。 ○ 章末や巻末に補充問題や発展問題などが豊富に掲載され、生徒の能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 「活用・探究」では、身近な場面で活用したり、探究したりする問題を掲載しており、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ Web コンテンツにアクセスしやすいよう、二次元コードが掲載されている。豊富なデジタル教材があり、学習内容を定着させる工夫がなされている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 1 学年のものは各ページの文字数が少なくある程度の余白があるなど、学年に応じた体裁になっている。 ○ 課題解決の方向性について考えを示す人物には、性別や人種等に配慮したキャラクターを登場させ、生徒が親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 使用する文字の大きさを1 学年と2・3 学年で変え、小学校算数や高等学校数学の教科書のギャップ解消に配慮されている。 ○ 巻末に「1 年のまとめ」があり、レイアウトも適切である。小さく折りたたんで携帯しやすいように工夫されている。 ○ 表紙は学年毎に鮮やかな色遣いで親しみがわくようになっており、本文ページはシンプルな色遣いで書き込みがしやすい用紙を使用している。						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	1 1	教科書の記号・番号	数 学 0 1 1 - 7 2 0 1 1 - 8 2 0 1 1 - 9 2	書 名	中学校 数学1 中学校 数学2 中学校 数学3
			学 図				
1 内容に 関すること							○ 章の学習の中に「数学的活動のページ」が適宜設けられ、1つの課題に対する問題発見から解決までの過程が示され、数学的に考える思考力・判断力・表現力を育成できるようにまとめられている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるように、既習事項を適宜示し、適用問題を多く設定している。 ○ 「章のとびら」では、新しい学習への興味・関心を引き出すための身近な題材が扱われている。 ○ 章末「できるようになったこと」で自己評価し、「さらに学んでみたいこと」を自分の言葉で記入できるように工夫され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 学習内容と関連のある写真や図、イラストは親しみやすく、学習の理解に有効なものであり、内容や資料に偏りなく掲載されている。その出所、出典が明示されている。
2 組織と配列に 関すること							○ 各学年の目次では、領域ごとに学習の系統性が理解できるようにしている。また、「ふりかえり」で既習事項の確認ができるようにし、効果的に学習できる工夫がされている。 ○ 各章、各節のねらいが明確で、まとまりのある配列になっている。各章で、1つの課題を協働的に解決する数学的活動を取り入れた学習課題が配置されている。 ○ 基礎的・基本的な内容の定着を図る問題や章末の発展問題など、個に応じて取り組むことができる問題が充実している。 ○ 全員が必ず学習する内容と、興味・関心や習熟度に応じて学習する内容をバランスよく配分している。各学校の年間指導計画に適合できる配列となっている。 ○ 「活用」や「数学の力」では、日常生活や社会に活かす課題を取り上げたり、数学と関連する職業・仕事を紹介したりするなど、生徒や地域の実態に適合できるものとなっている。
3 学習と指導に 関すること							○ 「例」では適宜ノート形式の解答を示し、模範解答の書き方を通して、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫している。巻末「表現する力を身につけよう」では、発表の仕方やレポート例が示されており、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成が図られるよう配慮されている。 ○ 巻頭の「この教科書を使った学び方」で主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 章末の「章のまとめの問題」を基本・応用・活用の3つに分け、個々の習熟度に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 「数学へのいざない」、「数学の力」やSDGsに関する資料など、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 二次元コードが掲載されており、授業に役立つデジタルコンテンツが充実している。授業や家庭学習で生徒の理解を深められるように工夫されている。
4 表現と体裁等に 関すること							○ 地名や人名、初めて学習する漢字、新出の用語等にはルビをつけている。本文や説明文は、生徒の発達段階を考慮した言葉遣いや表現となっている。 ○ 写真や図は数学的な概念を、イメージ挿絵やキャラクターは、生徒が親しみをもてるものを使用し、理解の手助けになるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントやカラーバリエーションを使用し、生徒が理解しやすいよう配慮されている。また、文節での改行で読みやすくする工夫がされている。 ○ 視覚的に理解しやすい情報量となっており、生徒が作図や書き込みやしやすいように図を外側に配置するなど、レイアウトも工夫されている。 ○ 本文用紙は軽量化を図り、自然な色合いで、裏写りの少ない用紙を使用している。表紙はコーティングを施し、堅ろうで、健康や環境に配慮したインクを使用している。

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学	書 名	
			教 出				
					0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	
1 内 容 に 関 する こ と							○ 巻頭では、具体的な既習事項を例にしながら、場面ごとに大切にしたい数学的な見方・考え方が提示されており、本編では、学習の中で働かせたい見方・考え方が適宜紹介されている。 ○ 各章末にある「学習のまとめ」では、その章での学習事項の確認問題と学習感想の例が示されており、生徒が単元の学習を振り返られるよう工夫されている。 ○ 「章とびら」では、実社会や日常生活、先端テクノロジー等、数学に関わる話題が取り上げられており、数学の有用性や学ぶ意義を実感し、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 「章の問題」は「たしかめよう」「力をのばそう」「学んだことを活用しよう」、巻末の問題は章ごとに「補充問題」「実力アップ問題」で構成され、基礎・基本を確認した上で発展的な問題に取り組めるようになっている。 ○ SDGs・ESDや安全・防災、社会福祉等、現代社会が抱える問題に関連付けた題材が偏りなく掲載されており、資料の出所、出典が明示されている。
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と							○ 章の始まりには既習事項を復習できる「学習する前に」、章の終わりには学んだことを確認できる「学習のまとめ」が組織的に配列され、章全体を貫く学びが展開されることによって学習効果を上げる配慮がなされている。 ○ 小節ごとに学習のねらいが明示されている。また、知識・技能を活用する場面では「学びのプロセス」が示され、問題発見・解決の過程を生徒に意識付けられるよう工夫されている。 ○ 「例題」と「問」の間に、「例題」に類似した「たしかめ」を設定し、スモールステップで基礎的・基本的な内容が定着できるような構成になっている。 ○ 各学年の年間指導時数が9割前後で設定されており、カリキュラム・マネジメントの考えの下、学校の実態に応じて弾力的に指導できるよう配慮されている。 ○ 「章とびら」では社会とのつながりが示され、また、各章の利用の問題では生活場面が取り上げられており、生徒の興味・関心が喚起できるよう配列されている。
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と							○ マークやコメントを用いて、関連する既習事項や見方・考え方が想起されるようになっており、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう配慮されている。 ○ 具体的な問題解決の場面で「学びのプロセス」が示されており、主体的・対話的で深い学びが展開できるよう工夫されている。 ○ 「章の問題」には大問ごとに自己評価欄が設けられ、また、巻末の「学びのマップ」では既習事項との関連が示されるとともに、既習事項ごとに解説動画等のデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが掲載されており、自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ キャリア教育を意識した、社会で活躍している方へのインタビュー内容や、STEAM教育に配慮した問題が掲載され、他教科等との関連が図られている。 ○ 問題発見・解決の過程やノートのつくり方が示されている。ウェブサイト「まなびリンク」のデジタルコンテンツへの二次元コードは、箇所を精選し掲載されている。
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と							○ 文節のまとまりなどの読みやすい位置で改行され、文意が読み取りやすくなっている。重要な用語は書体を変え、太字にすることで学習のポイントが捉えやすくなるよう工夫されている。 ○ 簡潔な文章表現に加え、図や表、写真、キャラクターなどを用いて理解しやすくなるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントとカラーユニバーサルデザインを使用している。色の濃度や形状に違いを持たせ、色が判別できなくても学習に支障をきたさないよう配慮されている。 ○ レイアウトやデザインは、特別支援教育の専門家が監修しており、すべての生徒が使いやすく、落ち着いて学べる紙面となるよう配慮されている。 ○ 表紙には堅ろうな紙が使われ、汚れないようコーティングがなされている。用紙には再生紙が使用され、植物油インキで印刷されており、環境保護への配慮がある。また、本文用紙は軽量化が図られ、目にやさしい紙が使用され、生徒の負担軽減にも配慮されている。

種 目	数 学	発行者の番号・略称	6 1	教科書の記号・番号	数学	書名
					0 6 1－7 2 0 6 1－8 2 0 6 1－9 2	
1 内容に 関すること	○ 学習の中で働かせたい数学的な見方・考え方が、本文への下線と『『たいせつな考え方』の標識』で示され、数学的に考える資質・能力が育つよう配慮されている。 ○ 本編には既習事項との関連が、後見返しにはその学年の学習内容のまとめに加え、前学年までの学習内容をまとめたコンテンツへの二次元コードが示され、学び直しに配慮されている。 ○ 「学習のとびら」「利用の節」等で、学習内容に関連する身の回りの題材等を取り上げ、意欲的に学習を進めていくことができるよう工夫されている。 ○ 本文中の「問」には、二次元コードを読み取ることで閲覧できる「補充問題」が用意されている等、基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、個に応じて必要な演習ができるよう配慮されている。 ○ 環境の保全、社会形成に寄与する態度、防災への意識等が育まれるよう、今日的な社会課題に関わるものを含めた題材が偏りなく掲載されており、資料の出所、出典も明示されている。					
2 組織と配列に 関すること	○ まとまりのある内容ごとに章を構成し、相互の関連や既習事項との関連を考慮して、学習が自然に進められるような配列になるよう配慮されている。 ○ 章や小節ごとに学習のねらいが明示されている。節ごとにある「学習のとびら」では、身の回りの題材等を取り上げ、数学の有用性を感じ取らせ、生徒の興味・関心を喚起するとともに、章や節ごとに目的意識を持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 「例」「例題」には、学習内容が明確に分かるようタイトルがつけられており、すべての「例」「例題」に解説動画が用意されているなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る工夫がなされている。 ○ 地域や生徒の実態に応じて調整できるよう、各学年の年間指導時数が9割前後で設定されている。「解説動画」の活用等により、指導時数の調整が可能である。 ○ 「例」「例題」「章末問題」などの解説動画や「補充問題」、シミュレーション等、豊富なデジタルコンテンツがあり、生徒の実態に応じて活用できる。					
3 学習と指導に 関すること	○ 自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者の考えと比較して考察したりする場面を設け、思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫されている。 ○ 学びを広げたり、問題を解決したりする場面で働かせる数学的な見方・考え方を示すことで意識付けを図る等、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がなされている。 ○ 「○章のあしあと」では、学習を振り返る場面を設け、自己の学びの調整につながるように、また、章末問題では、各問題にチェック欄を設け、自己評価できるように配慮されている。 ○ 環境問題、防災、SDGsに関する題材を取り上げるなど、今日的な社会課題との関連を含む、様々な教育課題への対応に配慮されている。 ○ ICTの活用や教科書の構成や問題発見・解決の流れ、ノートづくり方等が巻頭で示されている。シミュレーションツールや基礎・基本の定着に向けた解説動画や補充問題等、デジタルコンテンツが豊富である。					
4 表現と体裁等に 関すること	○ 生徒の心情を考慮して、敬体のやさしい文末表現を中心とし、例やまとめ、命題等では常体で言い切る文末表現を用いることで、メリハリをつけて読みやすくなるよう工夫されている。 ○ 資料や写真は、生徒に馴染みやすいものを選び、特に理由がある場合を除き、正確で新しいものを用いるよう配慮されている。 ○ 誰にでも読みやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、色だけで判断するような情報は扱わないよう配慮されている。 ○ 学習の理解の助けとなるよう、数学が使われている場面を写真で紹介したり、本文の説明文を補うための図や表が効果的に使われたりしている。 ○ 開きやすく、強度が保てる「あじろ綴じ」を採用し、前見返しと後見返しをつけ、堅ろうに製本されている。表紙、裏表紙には、汚れにくく丈夫な加工を施している。再生紙や化学物質をおさえた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに配慮されている。					

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 0 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学	書 名	これからの 数学1 これからの 数学2 これからの 数学3
			数 研		1 0 4 - 7 3 1 0 4 - 8 3 1 0 4 - 9 3		
1 内 容 に 関 連 す る こ と							○ 導入で身近な課題を多く扱っており、課題解決をする際に数学的に考えることで、オーセンティックな学びになっている。 ○ 各章の導入の前に、その章で必要な知識・技能を振り返るページが設定されており、生徒の理解を確かなものにするための学び直しの機会を適切に位置付けている。 ○ スポーツの題材や作図を活用した宝探しなど、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。また、学校行事やSDGsについての課題解決型の教材も扱っており、生徒が今後実践しようとする意欲付けになっている。 ○ 単元の終末では、「学んだことを活用しよう」という課題解決学習が全ての章に設定されていることで、単元の見通しや目標が明確になっている。 ○ 時事の話題や生活に則した話題など、様々な題材が扱われており、出所や出典が明記されている。
2 組 織 と 配 列 に 関 連 す る こ と							○ 教科書の終末にこれまでの既習事項が組織的、系統的に表として示されており、学習内容の繋がりが把握できるように配慮されている。 ○ 章毎に、既習事項の振り返りと身近な話題に関する課題解決学習を設定しており、生徒が学習の見通しを持って取り組めるようになっている。 ○ 演習問題の難易度についてマークを使って3段階で示しており、生徒が演習に取り組む際の目安となっている。 ○ 基礎的な問題から課題解決問題など、バランスよく配置されており、量も十分ある。また、教科書の二次元コードを読み込むことで、補充課題にも取り組むことができよう配慮されている。 ○ 1学年の教科書では、生徒の興味・関心を高める題材が多く配置してあり、算数から数学へ変わった生徒の学習意欲を高め、3年間系統的に学習に取り組むための配列になっている。
3 学 習 と 指 導 に 関 連 す る こ と							○ 章ごとに、既習事項の振り返りや多くの補充問題、身近な話題に関する課題解決学習を設定されており、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成ができる配慮がされている。 ○ ペアやグループで協議する内容も配置してある。また、グループでの話し合いの仕方や発表の仕方の例が示されており、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 二次元コードを使った補充問題では、出題数や時間設定、回答を選択式、入力式のいずれかを生徒が自分で選択できるようになっており、自己の学びの調整ができるようになっている。 ○ SDGsにおける課題解決のための数学的な考え方の有用性を紹介したり、気象問題や深海の水圧についての話題を示したりするなど、地球規模での題材も扱っている。 ○ 視覚的に捉えるための写真や挿絵、図が的確に配置されている。また、二次元コードを活用することで動きのある題材についても、視覚的に捉え、イメージできるように工夫されている。
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 連 す る こ と							○ 発達段階に応じたルビが漢字の他に英語にも振ってある。1学年の教科書は「～しましょう」という指示であるが、3学年は「～しなさい」で発達段階に応じた表現になっている。 ○ 既習事項の確認や課題解決を行うための要点をキャラクターが吹き出しを使って表現しており、生徒が親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 重要な語句は太字で示すなど、活字や字体は見やすく配慮されており、色彩も暖色系の色を多く活用し、温かみもあり鮮明である。 ○ 座標が読み取りやすいよう、グラフは大きめに示してある。また、二次元コードは全てページの下に示しており、レイアウトに統一性があり見つけやすい。 ○ 製本は堅ろうで丈夫に作られている。中の用紙は、書き込みがしやすく、めくりやすい素材になっている。

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 1 1 6—7 2 1 1 6—8 2 1 1 6—9 2	書 名	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3
			日 文				
1 内 容 に 関 する こ と							○ 各章で、これまでの既習事項と単元の目標を提示しており、生徒が見通しを持って取り組めるように工夫されている。また、導入では課題解決型の学びを取り入れており、数学的に考える資質・能力の育成のための工夫がされている。 ○ 各学年の教科書の要所要所に身に付けてほしい力や態度について、分類を分けて示しており、指導と評価の一体化のための工夫がなされている。 ○ 1 学年の「比例と反比例」では、座標を地図として捉え、建物で点を表すなど、生徒がイメージしやすいように発達段階に応じた工夫がされている。 ○ 各章で、導入から問題演習、章のまとめと適切に配置されており、学習の充実がなされている。特に、章末の「とりくんでみよう」では、必ず説明する問題が設定されており、発展的な内容も備わっている。 ○ 内容や資料がバランスよく配置されており、出所、出典が明示されている。
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と							○ 章の前の「次の章を学ぶ前に」という復習ページや巻末に「ふり返りシート」が配置しており、系統性を確認し振り返りを行うことで、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 二次元コードを利用し、身に付ける学習内容を演習問題として生徒に示すことで、各章、各節のねらいが明確に提示されている。 ○ 演習問題が二次元コードを活用することで繰り返し取り組めるようになっている。また、チャレンジ問題も解答と一緒に記載されており、上位群のための発展的な内容も配置されている。 ○ 演習問題は過度な負担にならないような分量である。また、巻末の補充問題や二次元コードでも演習問題が用意されており、個人ごとに十分な分量となっている。 ○ 導入で課題解決型の疑問を提示することで生徒の思考を促すよう工夫されており、課題解決のための知識や技能が順序立てて習得できるように配列されている。
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と							○ 演習問題は「確かめよう」「考えよう」「深めよう」と分類分けがされている。また、二次元コードの分類を「見る」「身につける」「調べる」「ためす」と分類分けされており、身に付けるべき知識・技能と課題解決のための思考力・判断力・表現力が明確にされている。 ○ 巻末に「対話シート」を配置しており、自分の考えを整理し、互いの考えを伝え合うことに活用ができ、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がなされている。 ○ 教科書の演習問題と同一の問題も二次元コードによる演習問題に設定されており、学び直しができ、生徒が自己調整できるように配慮されている。 ○ 「SDGs と数学」では二酸化炭素の排出量を一次関数として捉えたり、課題解決の問題では、SDGs 17 の目標に該当する項目番号を提示したりするなどの配慮がなされている。また、ジェンダーレス制服を着たキャラクターを扱っており、現代的な諸課題への対応もされている。 ○ 生徒の理解や思考を支援するための挿絵や表、写真などが適切に配置されている。また、二次元コードを活用し、図形やグラフのシミュレーションができるよう工夫されている。
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と							○ 生徒の発達段階に応じた表記、表現になっており、新出用語にはルビを振っており、生徒が理解しやすいように工夫されている。 ○ 各章の導入では、キャラクターの会話によって課題や疑問が提示されており、生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさや字体、色彩は的確である。節ごとのめあては赤字で示しており、ねらいが明確になるよう工夫されている。 ○ 図形問題が大きめにバランスよくレイアウトされており、図への書き込みが容易に行えるよう工夫されている。巻末の「ふり返りシート」「対話シート」は、B 5 版の大きさになっており、切り離してそのまま生徒のノートに貼れるよう配慮がされている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。また、白を基調とした自然な色彩となっており、生徒の健康にも配慮がなされている。

種 目	理 科	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	理科	書 名	新編 新しい科学1 新編 新しい科学2 新編 新しい科学3
			東 書		002-72 002-82 002-92		
1 内容に 関すること							○ 探究の過程に沿って内容が構成され、そのステップをアイコンで明確に示すなど、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察や実験が進められるように配慮されている。 ○ 各地域の特色がある写真やイラスト（山や海の地形など）が多く、日常生活や他教科との関連が図られている。また、生徒が直接的に体験できる内容の観察、実験が設定されている。 ○ 節の初めに「レッツ スタート!」として、身近な題材を取り上げることで生徒の意欲を高め、そこを起点とした探究の過程を通して、生徒が自ら気づき、考えを深めるように工夫されている。 ○ 探究の過程に沿って学習を進めることができるように、基礎的な学習から「じっくり探究」という発展的な学習につながるように工夫されている。特に重要な内容は「例題」「考え方」「練習」と段階を踏んで確認できるように配慮されている。 ○ 写真やその他の資料において、出所、出典が明示されている。SDGsの達成や今日的な課題についても、地域や内容について偏りがないように取り上げている。
2 組織と配列に 関すること							○ 導入部分に「これまでに学んだこと」として既習事項が明示されている。また、学習の系統性と学年に応じて、育成を目指す資質・能力を意識して取り組みやすい配列になっている。 ○ 単元の初めに「この単元で学ぶこと」を掲載し、単元のねらいを明確に示している。各章に「Before & After」を入れることによって、生徒自身が考えの変容を確認することができる。 ○ 基礎・基本の定着を図りながら、観察、実験を安全に実施するための配慮として、場面ごとにポイントや注意点を示している。「まちなか科学」「社会につながる科学」などのコラムが掲載され、身近な生活場面や社会との関わりに発展できるように工夫されている。 ○ 基本的な学習内容や観察、実験の内容は精選されている。内容の分量が2学期制、3学期制のどちらの年間指導計画にも適合できるように配慮されている。 ○ 単元全体での内容のつながりと、観察や実験がしやすい時期が考慮され、生活や各地域の実態に広く適合できるように配列されている。学年間で分野が重ならないように配慮されている。
3 学習と指導に 関すること							○ 各単元で「じっくり探究」を配置し、どの分野でも探究の過程がしっかりと理解できるように配慮されている。「観察から」や「実験から」で、分かったことの整理ができるように配慮されている。 ○ 身近な事例やSDGsに関連する事柄を示し、生徒が疑問や気づきを学びの導入にできるように配慮されている。 ○ 節内や単元末に既習事項の確認や振り返りの適用問題が配置されている。実験の手順がデジタル教材になっており、生徒が学びを調整しながら学習できるように配慮されている。 ○ 全学年で海洋教育や防災学習、SDGsとの関連がある内容が配置されている。グローバルな視点とローカルな視点での内容が取り上げられ、親しみを持ちやすいものになっている。 ○ 各章のはじめと終わりに「Before & After」があること、節の中で「じっくり探究」の内容があることで、見通しが持ちやすく、学習の流れが理解しやすいように配慮されている。
4 表現と体裁等に 関すること							○ 重要用語や生徒の使用頻度が少ないと予想される漢字にはふりがながあり、多くの生徒にとって読みやすいように配慮されている。 ○ 写真やイラストが鮮明で大きく記載されている。科学の歴史が「歴史にアクセス」として漫画で示され、生徒が親しみや魅力を感じるとともに偉人の探究の過程を知ることができる。 ○ タイトルや重要用語にユニバーサルデザインフォントを使用し、カラー写真の鮮度や明度を調整したり、イラストの配色を工夫したりすることで、多様な生徒が読むことを意識したものになっている。 ○ AB版を採用することで、写真やイラストが大きく、必要に応じた配列ができることで見やすいものになっている。単元の最初に見開きページでダイナミックに関連する分野の写真を載せることができる。 ○ 再生紙、植物油インキを使用し、グリーンプリンティング認定工場で印刷をするなど、環境への配慮がなされている。軽量の紙を使用することで、生徒への負担に配慮している。

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 2 8 0 2 9 0 2	書 名	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3
			大日本				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	○ 「理科の学習の進め方」や「探究の進め方」のページで、具体的な課題の例を基に分かりやすく探究の過程が示されており、教科の目標が反映されている。 ○ 日常生活との関連が図られた教科横断的な内容に加え、生徒が直接体験した内容が重視されており、豊富な資料を基に幅広い教養を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心を高める写真や図が多くあり、読み物の資料を多く取り上げることで、生徒の学習意欲を高めるための工夫がなされている。 ○ 学年に応じて学びを段階的に進めることができるよう、探究の過程に沿った学習の流れが分かりやすく示されている。また、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。 ○ 写真やその他資料において地域や内容等の偏りがない。今日的な話題も取り上げられており、補助的な資料のグラフ等には出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 連 す る こ と	○ 小単元ごとに課題が示され、実験、結果、考察、まとめという流れで問題解決の能力育成を意識した構成となっており、課題解決の方法が習得できるよう配慮されている。 ○ 単元のはじめに既習事項と単元での学習内容が掲載され、ねらいが明確になっている。また、高校での学習内容との関連も記載されており、系統性に配慮がなされている。 ○ 単元の最後に「まとめ」、「単元末問題」が配置され、学習した内容を確認するとともに、それらを活用して課題を解決する発展的な内容が取り入れられている。 ○ 基本的な学習内容や観察、実験の内容が精選されていて、単元や教材の数、領域のバランスが適切である。2学期制、3学期制のいずれの指導計画にも適合できる配慮がなされている。 ○ 実験がしやすい時期や、各学年で実験器具の使用が重ならないことを考慮して単元が配列されており、生活や地域の実態に広く対応できる工夫がなされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 連 す る こ と	○ 章末問題や単元末問題で読解力を問う問題が掲載されている。基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、発展的な学習にも取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 「考えよう」や「話し合おう」の場面が設定され、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。また、キャラクターの会話場面から対話的な学びを促すよう工夫されている。 ○ 個に応じた学びを主体的に進めるために「やってみよう」が設定されており、創造性を伸ばさせられるよう工夫されている。 ○ 「科学のあしあと」や「くらしの中の理科」で各教科や総合的な学習の時間とのつながりのある話題が載せられており、学習の広がりを感じられるよう配慮されている。 ○ 学習に活用できるデジタル教材が用意されており、対応するページには二次元コードが配置され、それぞれのウェブサイトへリンクするよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 連 す る こ と	○ 「これまでに学習したこと」や「思い出そう」で、既習事項を振り返ることができる。また、学年に応じて発展的な学習のページの量を増やしている。 ○ 生徒間の活発な話し合いを促すための吹き出しを多用したり、キャラクターを配置したりすることにより、学習課題に親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ 色覚に関する個人差を踏まえた配色にしたり、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したりすることで、誰にでも見やすく読み間違えにくいよう配慮されている。 ○ 行間にゆとりを持たせたレイアウトを採用している。また、説明を補足する写真や図、グラフが大きく色遣いもはっきりと表されている。 ○ 表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工しており、植物油インキを使用することで環境に配慮されたものとなっている。						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	書 名	中学校 科学 1 中学校 科学 2 中学校 科学 3
			学 図				
1 内 容 に 関 する こ と							
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と							
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と							

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	書 名	
			教 出				
					0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	
1 内 容 に 関 する こ と	○ 探究の過程を通して、観察・実験の基本的な技能や理科の見方・考え方を働かせる場面が構成されている。 ○ 課題を見つける活動の紹介「やってみよう」は発展的な活動を紹介した「チャレンジ」が設定され、探究の過程が重視されている。 ○ 科学技術や実社会での利活用について考えるための内容が紹介されており、学習意欲を高めるように配慮されている。 ○ 巻末には要点と重要用語の確認が整理されており、基礎・基本をしっかりと理解できるように工夫されている。 ○ 防災・減災や今日的課題であるSDG sなどを偏りなく取り上げられており、出所、出典も明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 小学校で学んだことの確認など系統性を意識した配列となっている。探究の過程に沿って学習が進めるように工夫されており、課題解決の方法が理解できやすく配慮されている。 ○ 単元のはじめに「学んでいくこと」、章のはじめに「これまでの学習」の記載があり、各単元、各章のねらい、内容が明確に示されている。 ○ 巻末には要点と重要用語の確認が整理されており、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られている。発展的な内容にも進められるよう配慮されている。 ○ 記述量は適当で、実態に応じて調整が可能になっており、年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 巻末資料などで、外部との連携などが紹介されており、学びを広げたり、深めたりできるよう工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 「まなびリンク」という二次元コードで、「Web ずかん」「参考リンク」「要点をチェック」等があり、発展的な学習や補充的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 要点と重要用語の整理、基本問題、活用問題があり、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている。また、発展として高校で学習する内容とのつながりが分かるように簡単に紹介されている。 ○ 「ハローサイエンス」として生徒の興味・関心を高めるようなコラムが多数掲載されている。また、「広がる科学の世界」として発展的な内容も記している。 ○ 「ハローサイエンス」の中にSDG sとのつながりが分かるように表示がされている。巻末には理科で使う算数・数学が紹介されており、補充学習ができるようになっている。 ○ 表やグラフが直接書込みできるように空欄になっている。その後に結果や考察について写真や図、表等で考察しやすいつくりになっている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 初出の理科用語などにふりがながつけられている。また、朱書きでの表記になっているなど分かりやすく、見やすい配慮がなされている。 ○ 写真やイラストが多く利用されている。文章と対応する配置が見やすいように工夫されている。 ○ 文字の大きさは全体的に大きく、ユニバーサルデザインフォントが使われている。色遣いもカラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 図や表は大きく、書込みができるようになっている。また、学習の流れを切らないようにレイアウトが工夫されている。 ○ 表紙には表面加工が施されている。また、環境にやさしい再生紙と植物油インキが使用されている。						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1	教科書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	書 名	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3
			啓林館		0 6 1－7 2 0 6 1－8 2 0 6 1－9 2		
1 内 容 に 関 する こ と	○ 巻頭に「探究をはじめよう」を掲載し、探究の流れをイメージしながら学習が進められるように構成されている。その学習を繰り返しながら資質・能力を育成するように配慮されている。 ○ 章の導入部分に生徒の興味・関心を高める写真を掲載し、自然事象からの気づきを基に問題を見だし、直接体験を通して科学的に探究を進められるように工夫されている。 ○ 写真や図を大きく掲載することで、生徒の好奇心をくすぐり、不思議に思った自然事象と学習内容とを結び付けながら、学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 学習内容と防災やスポーツなどを結び付けるコラムを節末に配置するなど、社会や日常生活との関連を意識させながら学習の充実と発展を図るように配慮されている。 ○ 環境保全や防災・減災などの課題に対する地方ごとの取組について写真を載せながら紹介するなど、幅広く多様な写真や資料を掲載しており、出所・出典を明示している。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 章の導入や本文中に「つながる学び」として既習事項が明示されている。また、「発展」として高等学校の学習内容を掲載し、系統性を意識しやすいように工夫されている。 ○ 単元末に「リトライ」として、単元導入の「トライ」と同じ問いを入れて学習後に再考することで、生徒自身が考えの変容を確認すると共に、ねらいを明確にし、まとまりが意識されている。 ○ 基礎的・基本的な内容の習得を図り、観察、実験を安全で確実に実施するために、確実に結果が得られ、安全を確認するステップを設けている。また、「Review ふり返ろう」「Action 活用してみよう」で習得した知識の定着と活用を図れるように工夫されている。 ○ 学習内容の分量は精選されている。内容の区分については、2学期制、3学期制のどちらの年間指導計画にも柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」等で各地域の特性や各学校の実態に広く適合できるよう工夫されている。また、「地域・環境資料集」で地域の自然や生物が紹介されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 「Action」や「考えてみよう」「探Qのたね」で疑問が示され、協働的な学びの場面が随所に設定され、思考力・判断力・表現力等の育成が図れるように配慮されている。 ○ 様々な事象を例として示すことで、生徒の経験や関心を大切にしている。イラストの人物の意見を参考にしながら自分の考えを整理することで、深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 単元のはじめに「トライ」、単元末に「リトライ」としてふり返りシートを示し、生徒が考えの変容や深まりを実感できるように配慮されている。章末の問題から学年末総合問題まで段階的にレベルアップする構成となるよう問題が配置されている。 ○ 「深めるラボ」「防災減災ラボ」として生徒が探究できるテーマや方法が紹介され、他教科や総合的な学習の時間で活用できるように配慮されている。 ○ 写真や図表が大きく示され、事象や実験結果が見やすいように工夫されている。「解説動画」や「Webリンク」「ICTでトライ」が二次元コードで示され、必要に応じて視聴覚資料で学習や体験的な学習ができるように工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 重要用語や常用漢字外の漢字には振りがながあり、多くの生徒にとって読みやすいように配慮されている。 ○ 中学生の挿絵で疑問や予想を示すことにより、生徒が親しみを感じながら学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 教科書本文の内容は大きな字で書かれ、挿絵や身近な事象に関する一つ一つの詳しい説明はやや小さい字で書かれている。イラストの色彩や印刷が鮮明で見やすいよう工夫されている。 ○ 見開きで紙面中央部に本文、端部に既習事項や活用、コラムを配置することで、関連する写真や図を見やすく配置するように工夫されている。 ○ 再生紙と植物油インキが使用され環境への配慮がされている。						

種 目	音 楽 (一般)	発行者の番号・略称	1 7	教科書の記号・番号	音楽 0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 3 0 1 7 - 8 4	書 名	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下音楽のおくりもの
			教 出				
1 内容に 関すること							○ 学習指導要領に示された目標が踏まえられており、幅広い音楽や音楽文化に触れ、創意工夫して様々な音楽活動に取り組めるよう工夫されている。 ○ 世界の音楽や幅広い年代の楽曲の精選、表紙裏の音楽家の言葉など、伝統文化の尊重や生涯にわたって学び続ける資質・能力の育成につながるよう工夫されている。 ○ 学年や個々の発達段階に応じて題材の目標や教材が取り上げられている。また、変声期への対応等各学年への配慮がなされている。 ○ 多様な音楽に触れられる内容である。また、音楽MAPによって音楽を形づくっている要素を軸にそれぞれの領域の学習の充実と発展が図られるよう工夫されている。 ○ 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽、幅広い年代の楽曲をバランスよく扱うことで、音楽の多様性や豊かさを実感できるよう工夫されている。出所、出典も明らかである。
2 組織と 配列に 関すること							○ 題材の目標や教材が3年間の学習の系統性に基づいて配置されており、既習事項を関連させて表現活動と鑑賞活動に取り組むことで、学びが深まるよう配慮されている。 ○ 各教材での題材とねらいがページの左上に明記されており、学習事項の確認や学習の中で留意して取り組むべき点が分かりやすいように配慮されている。 ○ 「学習の進め方」において〔共通事項〕を示したり、音楽MAPで学習の見通しを持たせたりすることで内容を整理しながら学習が進められるよう配慮されている。 ○ 各領域の教材が充実しており、各学年の授業時数や学校の実態に合わせて流動的に対応できるよう配慮されている。 ○ 学校や生徒の実態に応じて、主要部分の教材と選択可能なオプション部分の教材を組み合わせることができるよう配慮されている。
3 学習と 指導に 関すること							○ 各教材のページには楽曲で扱われている音楽記号や用語が抽出されており、それを生かすことで基礎的・基本的な技能の習得と活用ができるよう配慮されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを促すための発問が吹き出しで示されており、生徒がこれまでの学習経験を生かし、興味を持って取り組めるよう工夫されている。 ○ ICTの活用や楽器、音源の選択、活動例の提示などがあり、生徒の多様性に対応しながら生徒自身が自己の学びを調整して学習できるよう配慮されている。 ○ 外国語による歌唱や、歴史的背景を理解することで深まる鑑賞など、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 教材にあった写真やイラストの他に、「まなびリンク」のマークが示されており、学習に対応した動画や音源等の資料が適切に配置されている。
4 表現と 体裁等 に 関すること							○ 楽曲名や楽譜は大きくはっきりとして見やすく、理解しやすい標記となっている。また、ルビの標記が適切であり、発達段階に合わせて工夫されている。 ○ 温かみのある表紙のイラストに加え、パステル調の色遣いや挿絵、鮮明な写真など心地よく音楽活動に取り組めるよう配慮されている。 ○ 楽譜や文字は大きめで見やすく鮮明である。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの使用などで多様な生徒に配慮されている。 ○ 写真や資料、イラストの大きさ、レイアウト、色遣いなど細部にわたって生徒への配慮がなされている。 ○ 再生紙や植物性のインクを利用するなど環境に配慮されている。表紙・背表紙はマットで滑りにくい加工が施されており、持ちやすく蛍光灯も反射しにくい。

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7	教科書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 0 2 7 - 7 2 0 2 7 - 8 3 0 2 7 - 8 4	書 名	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下
			教 芸				
1 内 容 に 関 する 事 項	○ 学習指導要領に示された内容を踏まえ、曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解でき、感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度が育成できるよう工夫されている。 ○ 生徒が主体的に学び、相互に多様性を認め合う人間性を育成するために、ICTを効果的に活用しながら興味・関心を高める選曲がなされている。 ○ 親しみやすい教材が取り上げられており、生徒の興味・関心や意欲を高められるよう工夫されている。 ○ SDGs や国際理解等の今日的な課題と、我が国の伝統音楽や諸外国の音楽との関わり等から、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 内容が十分で資料も詳しく掲載されており、分かりやすい題材となっている。写真の出所・出典が確実に明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	○ 教材が組織的・系統的に配列され、知識・技能の習得ができるよう工夫されている。 ○ 表現教材と鑑賞教材を関連させながら学習できるよう工夫されており、目標が明確に示された教材が適切に配列されている。 ○ 基礎的・基本的事項を理解し定着させるために、各教材に「共通事項」が明記されており、音楽活動に生かされるよう工夫されている。 ○ 各学校の年間指導計画や生徒の実態を考慮しながら対応できるよう、教材が充実している。 ○ 様々な角度から音楽を捉え、生活や社会とのつながりを感じ取らせるなど、生徒や地域の実態に応じた音楽活動ができるよう工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	○ 教材ごとに「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」「楽曲の紹介文」が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成や、主体的な学びを深めていくための工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実践のために、「学びのコンパス」で楽曲に対する自分の考えや生徒同士の交流などができるよう工夫されている。 ○ 生徒の個性や能力に対応できるよう、様々な音楽のジャンルから、個々の興味・関心に応じた資料を選択して学べるように工夫されている。 ○ 自他のよさを認め合う大切さを味わえる教材を精選し、歌唱や鑑賞において多種多様な音楽文化への理解を深め、道徳教育や人権教育などとの関連に配慮されている。 ○ 二次元コードを活用した動画等で、教材に関する知識について学ぶことができるよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	○ 生徒が理解しやすいよう、表記や表現が簡潔で丁寧にまとめられるなど、学年に応じて配慮されている。 ○ 各界で活躍する著名人のメッセージ等を掲載することにより、生徒が親しみや魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し文字が読みやすく、楽譜の大きさや識別しやすい配色など、視覚的な配慮が適切になされている。 ○ イラストや写真などの大きさが適切で、レイアウトやバランス、デザインも配慮されたものである。 ○ 製本は丈夫で長持ちするページどうしを接着した様式で、再生紙や植物油インキを使用することで、環境への配慮がなされている。						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発行者の番号・略称	1 7	教科書の記号・番号	器楽 0 1 7 - 7 2	書 名	中学器楽 音楽のおくりもの
		教 出					
1 内 容 に 関 する こと	○ 学習指導要領の目標が踏まえられており、器楽の演奏技能の習得や重奏、合奏を通じて音楽の楽しさを体験したり、音楽に親しんだりしていく態度を養えるよう工夫されている。 ○ リコーダー、ギターの他は和楽器の奏法に関する事項が多く掲載されており、我が国固有の伝統や文化に対する理解を深められるよう工夫されている。 ○ 生徒個々の実態や習熟度に応じて表現の技能を段階的に身に付けることができるよう構成されており、新たな楽器や楽曲との出会いなど生徒の学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 器楽表現と鑑賞の関連が図られており、類似楽器の比較鑑賞などの構成で、表現と鑑賞において共通事項を軸とした学習の充実と発展が図れるよう工夫されている。 ○ 歌唱教材や鑑賞教材と関わりのある楽曲を多く配置し、内容と資料が適正に構成されている。教材の出所、出典も明らかである。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ 管楽器、弦楽器、打楽器のまとまりで提示されており、それぞれの楽器において系統的に配列されている。大きなまとまりごとに区切って学習できるよう工夫されている。 ○ 学習内容が楽器ごとにまとめられており、スモールステップでねらいを明確にして学習が進められるよう工夫されている。 ○ 「演奏の仕方を身に付けよう」「合わせて合奏しよう」の流れで構成されており、基礎的な知識や技能を身に付け、習得した知識・技能を更に活用できるよう配慮されている。 ○ 各楽器で簡単に演奏できる小曲が充実しており、各学年の授業時数や個の実態に合わせて流動的に対応できるよう配慮されている。 ○ 生徒の生活や心情に即した教材や、各地域における社会生活と音楽の関わり、我が国や郷土の伝統文化に触れる点まで、幅広く対応するように配慮されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 二次元コードを活用して基礎的な知識・技能が習得できるよう工夫されている。また、[共通事項]に基づく題材が明記されており、より良い表現を目指して取り組めるよう配慮されている。 ○ 小学校での既習事項と新しい学習内容を関連づけた学習ができるよう配置されている。また、他者と協働して表現する活動から主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。 ○ 生徒が奏法やリズムを確認しながら学習できるよう、運指表やコード表、二次元コード、音楽用語等の掲載に配慮がなされている。 ○ 日本の楽器や楽曲、諸外国の楽器や楽曲の学習や、周囲と協力して表現するアンサンブルなど、他教科や道徳との関連に配慮されている。 ○ 「まなびリンク」が示され、学習に応じた動画等の資料が用意されており、生徒が必要に応じて活用する等、学習に役立つ情報が教材に合わせて利用できるよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	○ 使用する言葉や漢字が中学生の発達段階を考慮したものであり、難しい漢字のルビの標記も適切である。 ○ 各楽器の演奏家からの言葉や楽器の構え方、姿勢などがそれぞれの楽器のページの最初に掲載されている。また、写真や資料等が効果的に配置されており生徒の興味・関心を高める工夫がある。 ○ 楽譜は見やすく鮮明である。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの使用などで多様な生徒に配慮されている。 ○ 楽譜の大きさ、各楽器の写真や図版のバランスがよく、多様な生徒に使用されるための配慮や工夫がある。特にリコーダーの図版は頭部管が下向きになっており運指と対応させやすい。 ○ 再生紙や植物性のインクを利用するなど環境に配慮されている。表紙・背表紙はマットで滑りにくい加工が施されており、持ちやすく蛍光灯も反射しにくい。						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7	教科書の記号・番号	器楽 0 2 7 - 7 2	書 名	中学生の器楽
			教 芸				
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 学習指導要領の内容を踏まえ、精選された教材で構成されており、音楽活動を通して、音楽を形づくっている要素を捉えたり生かしたりして器楽の活動を進められるよう配慮されている。 ○ 生徒自らより良い奏法を求め、主体的に学習できるよう、音楽的な見方・考え方を働かせて学習するためのポイントがコラム等で適切に配置されている。 ○ 生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、心情に合った楽曲の選曲や実態に応じて段階的に技能を習得できる構成等を工夫している。 ○ 学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されており、我が国及び諸外国の楽器の基本的奏法から発展的奏法、独奏や合奏等、様々な形態による学習が可能である。 ○ 様々なジャンルの楽曲や楽器等が適切に配置され、写真や教材の出所、出展も明示されており、充実した学習が可能な内容である。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 様々な楽器及び楽曲の特徴に合った、効果的な選曲や配置がなされており、生徒が知識や技能を習得し、創意工夫を生かした表現活動ができるよう工夫されている。 ○ 「演奏を聴こう」「楽器を知ろう」「楽器の名称」「姿勢と構え方」「楽器の奏法」等、楽器ごとにまとまりがあり、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。 ○ 生徒が興味・関心を持ち、各楽器について基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう工夫されており、表現と鑑賞の領域を横断した内容になっている。 ○ 各学校の年間指導計画に幅広く対応できるよう配慮されており、教材が豊富で、器楽演奏の基本的な奏法とアンサンブル楽曲とに分けて配列されている。 ○ 生徒の生活や各地域の実態に適合できるよう工夫されており、生徒の興味・関心及び好奇心に働きかける幅広いジャンルの楽曲の掲載や、多彩な楽器の組み合わせ等が配列されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」が設定されており、思考力・判断力・表現力を働かせる視点の確認や主体的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 生徒が課題意識を持って協働的に学習し、主体的・対話的で深い学びが実践できるようにするために、キャラクターやコラムによる観点が例示されている。 ○ 生徒の実態や発展的な学びに対応できるよう、基礎的・基本的な学習から発展的な学習へ段階を踏んだ配列の他、関連する鑑賞教材の記載等が工夫されている。 ○ 我が国及び諸外国の音楽を通して歴史や文化を学ぶことで、他教科や総合的な学習の時間等と関連が図れるようになっている。 ○ ページごとに印刷された二次元コードが記載されており、学習に役立つ教材を自由に見ることができ、関連した学習が進められるよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 難しい語句や漢字にはルビが付けられており、生徒が理解しやすいように配慮されている。 ○ 演奏家や著名人の写真や、専門家ならではの視点やメッセージにより、生徒が親しみをもち、音楽活動へ魅力が感じられるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や識別しやすい配色を用い、読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。 ○ 楽譜は全体的に見やすく、線の太さ及び音符の大きさや形、イラストや写真はシンプルなデザインが採用されており、適切なレイアウトやバランスになっている。 ○ A B変形判の紙面は左右にゆとりがあり、製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式である。また、再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど、環境にも十分配慮されている。						

種 目	美術	発行者の番号・略称	9	教科書の記号・番号	美術 009-72 009-82	書 名	美術1 美術2・3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	○ 教育基本法（第2条）及び学校教育法並びに学習指導要領との関連をしっかりと踏まえながら、学年ごとの発達段階に応じた内容で、領域のバランスにも配慮された内容となっている。 ○ 題材のねらいがわかりやすい紙面構成となっている。授業の中で、「何を学び」、「どのようなことが身につくのか。」ということがひと目でわかるようになっている。 ○ 発想・構想そして知識・技能につながるような言葉の投げ掛けが工夫されている。 ○ 鑑賞の領域において、様々な方法（対話的、協働的、個別最適な学び）や様々な視点や切り口から鑑賞ができるよう工夫されている。 ○ 美術の内容にキャリア教育、SDGs、インクルーシブ教育等との関連性に配慮した内容が盛り込まれ、美術と関連させて学ぶことができるようになっている。 ○ GIGAスクール構想やプログラミング教育を念頭に入れ、映像メディアやICT機器の効果的な活用場面が適宜提示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 美術1では、小学校での図工の学習から美術へのつながりに配慮した導入ページを工夫するなど、系統的に学ぶことができるよう配慮した配列となっている。 ○ 美術2・3では、教科書が一冊にまとめられ、生徒の実態に応じた題材の配置が可能となり、柔軟な年間指導計画が作成できるよう配慮されている。 ○ 美術2・3では、後半に向けて、美術科で学んでいることが、どのように社会と結びつくかを考え、自ら社会に貢献する態度を養うことができるような内容を掲載している。 ○ 各題材において、鑑賞と表現の一体化が図られた配列が基本となっている。そのため、題材のねらいや学習のポイントが明確になり、深く幅広い表現につなげることができる。 ○ それぞれの教科書の後半に「学びの資料」を掲載し、各領域で必要とする技術や技法を配置し、授業に生かせるようになっている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 映画監督：新海 誠氏や漫画家：荒木飛呂彦氏等の宮城県にゆかりのある方の作品掲載があり、生活の中に息づく美術文化について触れながら、生徒の興味・関心を引くものになっている。 ○ 絵や彫刻、デザインや工芸など、題材ごとにQRコードによる読み取りで、授業の導入から発想の広げ方、振り返りまで実践につなげることができるコンテンツがあり、生徒の主体的な学びにつながる工夫がある。 ○ 折込式のページを掲載したり、生徒が協働して学習できるような題材を設定したりして、言語活動が充実するような工夫がなされている。 ○ 多彩な資料の掲載があり、学習の発達段階に応じた問いかけや学習のポイントが示されており、教科横断的な学習や主体的な学びにつながるよう工夫されている。 ○ SDGsに関わる題材や作家作品、生徒作品などが多彩に掲載されており、「人権教育への配慮」や「環境教育への配慮」など、今後につながる目標が取り上げられ、題材ごとに図表等が適切に配置されている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、中学校以上で習う漢字にすべてルビを記載したり、文章の意味が捉えやすくなるように文字の表記を分かりやすくしたりするなど工夫されている。 ○ 紙面デザインの工夫として、表紙のデザインにエンボス加工を施し、視覚だけでなく触覚も刺激する工夫がなされている。 ○ 実際の作品が原寸大サイズで掲載されていることで、見やすさに加え、細部まで鑑賞でき、鑑賞する際の視点に広がりを持たせられる。 ○ 絵や図、写真など、見やすさを意識して適切に配置されており、解説資料や動画などに、充実した学びにつながる配慮がなされている。 ○ タブレット端末やデジタルカメラを中心に、ICT機器の活用場面を示す図版が多く掲載されている。製本は堅ろうで、開きやすさが考慮されており、再生紙を利用するなど環境への配慮がなされている。						

種 目	美 術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 0 3 8 - 7 2 0 3 8 - 7 3 0 3 8 - 8 2	書 名	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3
			光 村				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	○ 題材すべてにおいて、造形的な見方や考え方に関わる目標が3観点で示されており、美術科で育成すべき資質・能力が育まれるよう工夫されている。 ○ 生徒個に応じた題材を設定できるように、多様な種類の参考作品が吟味されて掲載されている。また、生徒が発想・構想力を育くめるように主体性を促すような構成の工夫がなされている。 ○ 美術1では、小学校の図画工作科から中学校での美術に関連付けて記述され、スムーズに移行できるよう配慮されている。美術2・3では、美術から社会や歴史につながるような掲載もあり、発達段階を考慮しつつ系統的な学習ができるよう構成されている。 ○ 「表現」と「鑑賞」の各題材で主題を想起させるためのポイントが明記されている。また、発想・構想の手立てとして、制作過程の紹介や作品の見方などが記されており、生徒が意欲的に学習を進められるよう工夫がなされている。 ○ 表現の題材では、描く活動とつくる活動を精選してバランスよく掲載し、鑑賞の題材では日本の美術文化を重視しながら、様々な国の作品を幅広く取り上げ、より深く調べる学習ができるよう資料の出所、出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 連 す る こ と	○ 教科の目標を踏まえ、題材ごとに「目標」が3観点で明記され、内容が組織的・系統的に配列されており、段階的に進めるよう配慮されている。 ○ 2学年と3学年の教科書が1冊にまとめられており、かつ、1学年から基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習が進められるよう、「表現」「鑑賞」と領域を明記し分野ごとに構成して配慮され掲載されている。 ○ 基礎的・基本的な内容の定着を踏まえ、発展的な学習へと進められるよう、制作手順と完成作品が適宜掲載され、制作を進める上での手助けとなる工夫がされている。 ○ 絵や彫刻、デザインや工芸など、内容ごとに構成されており、題材数や領域のバランスが考えて明記され、年間指導計画に広く適合するよう工夫されている。 ○ 各地域の伝統工芸や歴史的な建造物、絵画や彫刻作品など、日本各地や世界各地の多様な事例を取り上げ、ICTを活用して鑑賞できる工夫がある。地域性を考慮しながら生徒の実態に即した題材を選択し、学習できるよう配慮されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 連 す る こ と	○ 発想の広げ方につながる、表現技法の仕方を動画で鑑賞できるように工夫されている。また、作者の言葉の掲載により、美術的用語を含め、たくさんの言葉が吟味して使用されており、生徒が学びを深める工夫がなされている。 ○ 美術資料1は、3年間使用できる資料集の要素として、発想の広がりや見方を深める工夫など、題材内容が発達段階に応じて活用できるよう配列されている。材料や用具の取り扱い方、技法、形や色彩のヒントなどの掲載が充実しており、知識・技能の習得を促すとともに、主体的な学習態度が育まれるように配慮されている。 ○ 「みんなの工夫」では、アイデアスケッチや作者の言葉などが付随して掲載され、インタビュー動画を含め、作者の制作意図や工夫を感じ取らせながら、様々な考え方に触れられるように配慮されている。 ○ 他教科と美術のつながりが分かるように意識して掲載されており、教科横断的に「表現」や「鑑賞」の活動が行えるように配慮されている。また、SDGsに関連した題材や作品の掲載がなされている。 ○ 二次元コードの掲載により、学習の参考となるような資料や音声の読み取りができ、視野を広げながら学習を深めることができる。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 連 す る こ と	○ QRコードの掲載によって、技法動画や作品説明の音声ガイド、立体作品を360度の角度からリアリティのある鑑賞ができるなど、生徒の興味・関心を引き出すような工夫がある。 ○ 解説文や作品のレイアウトの工夫を施しながら、見る側の興味を引く工夫が見られる。浮世絵や日本画など、掲載の仕方では紙質にもこだわり、色彩や印刷の工夫を施し、生徒が興味を持って見られるような作品の見せ方をしている。 ○ 地域に関連した空間アートや写真の掲載があるなど、生活内における人々と美術のつながりが多く記載されており、生活の中での美術との関わりについて触れている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの活用、カラーユニバーサルデザインを施すことで、色覚特性によって学習に支障をきたすことがないように配慮している。 ○ 製本が堅ろうであり、見開き、観音開きなど作品を見せる工夫が施されている。また、植物性インキを使用し、環境保全や生徒の健康にも配慮されている。						

種 目	美 術	発行者の番号・略称	1 1 6	教科書の記号・番号	美術	書 名	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来
			日 文		1 1 6－7 2 1 1 6－8 3 1 1 6－8 4		
1 内 容 に 関 連 す る こ と	○ 3年間を通して、それぞれの発達段階に応じた造形的な見方や感じ方を示し、豊かな感性を育み、美術科の資質・能力を養うことができるよう配慮されている。 ○ 美術科の教科目標「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」に着目し、美術と関連の深い身の回りの生活や社会における様々な視点から学習できるような内容となっている。 ○ 教科書の中で、考えさせたり、気付かせたりする学習プロセスが重視されており、指導者にとっても初任層からベテラン層まで扱いやすい内容となっている。 ○ 学習指導要領に則った授業づくりができるよう、題材ごとに鑑賞、造形的な視点、発想・構想といった3つの要素を構造化することで、授業が組み立てやすくなっている。 ○ SDGs や ESD といった持続可能な社会の実現に向けた取り組みにも関連させた題材や事例等を掲載している。ESD に力を入れている当地域にとっては、総合的な学習等でも関連させることのできる内容と言える。						
2 組 織 と 配 列 に 関 連 す る こ と	○ 各冊ごとに発達の段階を考慮した内容となっており、各領域を3年間の中で、系統立てて学習できるよう題材が設定されている。 ○ 美術1では、身近なものを対象にした内容で構成され、小学校図画工作との接続がスムーズに移行できるような配列になっている。 ○ 美術2・3上では、多様な表現に触れ、気付きや学びを実感できるような構成となっている。 ○ 美術2・3下では、自分自身を見つめて、新たな価値の創造へつなげられるような構成となっている。特に災害や戦争などの衝撃的な出来事について取り上げ、美術の力で何ができるのかを問い掛けるなど、美術と社会のつながりについて考えを深められるようになっている。 ○ 美術における資質・能力の三つの柱との関連性や主体的・対話的で深い学びとの関連性を、重視し、教科書全体にバランスよく配置している。						
3 学 習 と 指 導 に 関 連 す る こ と	○ 生徒の美術に関する意欲が喚起されるよう、主題を生み出すための発想や構想の手立てを、様々な形で取り上げている。 ○ 学びを支える資料として、各冊、QRコードを配置し、学びはじめの動機づけに関連するような動画として、関連する内容の作品が視聴できるようになっていたり、技術に関する参考動画等が見られるようになっていたりする。 ○ 鑑賞等の手助けとなるように、原寸大の図版を掲載したり、原色により近い図版を載せたり、教科書を折る（屏風の表現に近づける）ことができるようになっているなど、本物に対するリアリティの追究がなされている。 ○ 題材ページや特設ページ、学びを支える資料において、他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例が掲載されており、教科等横断的な学習ができるようになっている。 ○ 美術1の美術館のページでは、地元の美術館「リアス・アーク美術館」が取り上げられていることから、本吉地区の学校としては、話題性があり、実際に現場での校外学習等にも効果的に連動させることができる。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 連 す る こ と	○ 題材名は、発達の段階に応じて考慮しつつ、生徒の興味・関心を引き出し、イメージを広げることができるように工夫されている。 ○ 豊富なコンテンツを取り入れるなど、GIGAスクール構想やICT・デジタルへの取り組みに配慮されている。 ○ 中学生の身体の負担を考慮して、コート紙を利用し、用紙の軽量化を図り、現行の教科書から30～40グラム程度の軽量化を図っている。 ○ A4ワイド判で、作品や写真が見やすく、インパクトを持たせた構成となっている。裏表紙にわたって作品を掲載して鑑賞資料としても活用できる工夫がされている。 ○ 材料や用具の取扱いについて、「学びを支える資料」にまとめられ、いつでも参照し、活用できるようになっている。						

種 目	保健体育	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	保体 002-72	書 名	新編 新しい保健体育
1 内容に 関すること	○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することができるよう、教科書全体の構成、各単元の流れ、資料等が工夫されている。 ○ 本県が目指している「ふるさとへの誇りと東日本大震災からの復興」という観点から、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度が養われるような配慮がなされている。 ○ 生徒の学習意欲の向上を図るため、動画、思考ツール、シミュレーションなど多様なQRコンテンツが用意されている。 ○ 学習内容が、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるよう、内容や資料が工夫されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が巻末に明示されている。章末には発展学習の資料や関連した読み物、巻末には健康や安全に関するスキルブックも用意するなど工夫されている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 各章扉に、小学校で学習したこと、中学校、高校で学習することが明示され、小・中・高を通じて系統性のある指導ができるよう配慮されている。中学校では学年別に内容が配列されている。 ○ 保健体育科の目標を踏まえて、章ごとに「学習すること」が示されており、生徒がねらいを把握し、見通しを持って、主体的に学習に取り組めるよう配置がなされている。 ○ 各章末の「学習のまとめ」にはキーワードの解説、章末問題、ワークシートのQRコンテンツが設けられており、知識の習得状況の確認、整理、定着ができるような工夫がなされている。 ○ 学年別に内容が配列され、学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能なように構成されている。各校の指導計画にも柔軟に適合できるよう配慮されている。 ○ 地域の活動に協力して取り組む挿絵や写真、資料が掲載されている。特に本市の生徒にとっては、「傷害の防止」の章にある発展学習「共に生きる」は、自分の生き方を考える契機となることが期待できる。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 細かいステップで発問を設け、常に思考力・判断力・表現力を働かせながら学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 各章とも「見つける」で学習課題を自分のものとし、「課題の解決」で、資料などを主体的に読み解き理解し、「活用する」では話し合い、説明する活動等が設けられている。 ○ 共生の視点を重視した資料、写真、挿絵が随所に掲載されている。また生徒の興味・関心に応じて、学びを深め広げることができる読み物や章末資料が豊富に掲載されており、個性や能力に対応できるよう工夫されている。 ○ 随所に「他教科マーク」が設けられており、他教科や総合的な学習等との関連に配慮がなされている。教科相互の関連を図り、系統的、発展的な指導が行えるよう工夫がなされている。 ○ 学習の手引きが簡潔に示され、挿絵や図表、写真等も内容に応じて適切に配置されている。また、デジタル教材も豊富で、ウェブページのアドレスが記載されている。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 本文は、発達段階に応じた適切な用語で簡潔明瞭に表現されている。また、中学校以降で学習する常用漢字には、全てふりがながふられている。 ○ 挿絵や章末資料は、今日的な課題や事例を用いており、また、同年代の活動の様子等、身近に感じるものを使用しているので、親しみが感じられるものとなっている。 ○ 配色及びデザインは色覚の多様性に配慮されており、字体についても全ての文字に読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○ 見開き構成で左側に本文、右側に資料、二次元コードは右下、と統一されたレイアウトで学びやすい紙面となっている。色数も限定され、誰もが見やすく、落ち着いたレイアウトである。 ○ 開きやすく堅ろうなあじろ綴じで製本され、3年間の使用に耐えられるように防水効果や強度を高める加工が施されている。印刷にも再生紙・植物性インキを使用し、健康・環境への配慮がなされている。						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 0 2	書 名	中学校保健体育
			大日本				
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 生涯にわたって心身の健康を保持し、豊かなスポーツライフの実現を図ることをねらいとした内容構成となっており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 宮城県教育委員会が目指している「子供の運動習慣の確立」につながる効果的な学習が行われるように、単元のまとまりを重視した構成となっており、章末資料も生活との関連が図れるよう工夫されている。 ○ 1時間の学習内容が見開き構成となっており、内容に応じたトピックスを必ず掲載することで、生徒の興味・関心を高めるような工夫がなされている。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などいろいろな学習活動に取り組むことで、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。 ○ 学習内容に合った適切な資料が配置されており、学習効果を上げられるようになっている。また、資料については、出所、出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 体育編・保健編ともに、指導内容を体系化しており、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を分かりやすく、実践的に学習できるよう工夫されている。 ○ 生徒が主体的に学習に取り組めるように、学習内容を通して解決したい学習課題が「学習のねらい」として明確に示されている。 ○ 各章末に「重要な言葉」を掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、「学びを活かそう」では発展的で実践的な学習が進められるように配列されている。 ○ 単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、学年ごとに学習指導要領に示された標準時数内での内容となっている。各校の年間指導計画に広く適合することができるよう配慮されている。 ○ 単元での学習内容が1単位時間ごとにまとめられており、時期を問わず指導を行うことができるように工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 見開き構成を生かし、身に付けたい学習内容が左ページにまとめられ、各ページの「活用して深めよう」により、学びを更に深める活動となるよう配慮されている。 ○ 全ての小単元で本文と資料が分けて示され、章ごとの「学びを活かそう」を活用した課題解決学習により、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっている。 ○ 本文と資料が分けて掲載され、生徒が自学自習を行いやすくなっている。参照すべき資料がまとまっているため、文章に集中しやすくなるような工夫がなされている。 ○ カリキュラム・マネジメントを実現できるよう、教科内や他教科、家庭・地域とのつながりがわかりやすく示され、系統的な学びが実現できるよう工夫されている。 ○ 挿絵や図表、写真等が内容に応じて適切に配置されている。「中学校保健体育WEB」が掲載され、動画や資料を使って学習できるようになっている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 生徒が読みやすいよう、ふりがなをつけるなどの配慮がなされている。また、教材の難易度や文章の分かりやすさが発達の段階に応じて工夫されている。 ○ アスリートからのメッセージやオリンピック・パラリンピックの歴史等を掲載し、生徒が関心を持てるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインを踏まえた色遣いにしたりするなど、読みやすさへの配慮がなされている。 ○ グラフや表、図や写真等の資料は、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫されている。また、実習で活用しやすいように折り込みによる資料が配置されている。 ○ 環境に配慮した紙と、環境負荷の少ない植物油インキを使用し印刷されている。また、製本は特殊加工もされ、長期の使用にも耐えられるようになっている。						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	5 0 大修館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保体 0 5 0 - 7 2	書 名	最新 中学校保健体育
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを目指した内容構成となっており、実践力を身に付けるための思考力等を養う内容に工夫されている。 ○ 生徒の肥満傾向や運動能力の低下が課題とされる本地区で考えてみると、生涯にわたる運動の実践、運動との向き合い方等などが分かりやすく示されており、実践に取り組みやすい内容になっている。 ○ 学習内容が精選され、毎項目「課題をつかむ」「身に付ける・考える」「学習のまとめ」の一連の流れで学習が深まるように設定されている。 ○ 「ほり下げる」や「発展」は、本文の言葉を更に詳しく解説するものであり、加えて発展課題の発見につながるような内容に工夫されている。 ○ 二次元コードが多用され、知識の確かめの機会や資料の活用がスムーズに行えるようになっている。挿入されている写真、イラスト、グラフなどが多くあり見やすく、新しいものが使用されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 学習指導要領に示された学年配当に従って構成されている。1 単位時間が見開き 1 ページとなっており、見やすく、学習の見通しがされやすい形態になっている。 ○ 「きょうの学習」では、本時の学ぶべき内容が明示され、発達段階に応じた内容と難易度が設定されている。 ○ 二次元コードで 1 単位時間の簡単なクイズで知識の確認に加え、「章のまとめ」では、実践的な内容の問題を示すなど、知識の定着に向けた工夫がなされている。 ○ 学習指導要領の標準時数内で指導ができる内容構成となっており、指導計画に反映しやすいものになっている。 ○ 震災を経験した本地区の現状から考えて、自然災害や応急手当の内容は分かりやすいもので、中学生が実践できる内容になっている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 他教科との関連、コラム、事例、発展などのマークが付けられており、知識の習得を図りながら、指導者の計画のもと、発展課題学習や学習の深化が図られやすいものになっている。 ○ コラムや資料の内容は、身近で考えやすく、実生活により近いものとなっているため、学習者の興味・関心が湧きやすく、考えやすい内容のものになっている。 ○ 「動画コンテンツ」、「Web ワークシート」、「保体クイズ」などの二次元コードが多く使用されており、教師側も学習者も教科書使用の幅が広がるように配慮されている。個人探求の活用にも役立つように設定されている。 ○ 「Web ワークシート」は、ロイロノートなどに移すことができる。構成的なグループでの話し合い活動における意見交換や共有機能の活用などを通して深い学びにつながるものになっている。 ○ 個の興味・関心に合わせた情報検索や学習の深化が図られやすいように、「Web 保体情報館(二次元コード)」が設けられている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 「キーワード」では、1 単位時間における重要語句が明確に示されている。また、生徒が読みやすいようにルビを振るなど配慮されている。 ○ 生涯スポーツの観点からスポーツの歴史、安全な取り組み方、学び方など運動への様々な関わり方が分かりやすく示されている。 ○ イラストや口絵は最新のものが使われており、生徒が興味・関心を高めやすいものとなっている。また、レイアウト、色のバランスがよく、見やすい配置になっている。 ○ オリンピック、パラリンピックをはじめとして、スポーツにおける人との交流や共生社会を目指した運動の様子が掲載されており、運動の多様性が明確に示されている。 ○ 植物性インキや環境に配慮した紙が使用されており、3 年間の使用に問題がないようにしっかりと素材である。						

種 目	保健体育	発行者の 番号・略称	2 2 4	教科書 の記号・ 番号	保体 2 2 4 - 7 2	書 名	新・中学保健体育
			学 研				
1 内容に 関すること	○ 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指し、心身の健康の保持増進や安全の確保、スポーツの在り方などの教科の目標が適正に盛り込まれた内容構成になっている。 ○ ウェルビーイングに向かう力の育成を目指し、教科書の内容と学習者の身近な生活の出来事が合わせて考えやすい構成になっている。 ○ 課題の発見、解決、深化などの探求的な学習の場を章末に設定し、学習への興味・関心や学習の習熟度別に学びを深められるような個別最適な学びにつなげている。 ○ 「情報サブリ」や二次元コードがあり、ワークシートの提供や外部リンクの活用ができるようになっている。学習の習熟度に合わせた発展課題学習にも対応している。 ○ 本市における震災の経験から、防災への取組み、命を守る行動について実践的な内容が深く取り上げられており、学習者の実践力の向上が図られる内容になっている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習者の関心を高める導入「ウォームアップ」の発問内容が精選され、本時の内容につながるものになっており、見通しが持てる。学習者による課題発見と解決を目指した構成になっている。 ○ 「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」さらに章末の「探求しよう」の流れが整理され、年間を通した学習の流れが分かりやすく整理されている。 ○ 「キーワード」や「関連」のマーク、教科書サイトの二次元コードが適正に配置され、学びを深めるために必要な工夫がなされている。 ○ 章のまとめでは、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」の三段階で思考を整理・可視化することができ、実生活への確実な適用につなげることができる。 ○ 内容は、学習指導要領との整合性があり、資料は最新ものが使われ、資料の出所、出典が確かに記入されている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 単位時間毎に基本的な内容の理解を深める場面、活用して深める場面が設定されている。また、二次元コードを活用し、学びを深める場も設定されている。 ○ 学びを深める過程として、授業者が学び方や学びの形態を選択することができるなど、個別最適な学びと協働的な学びの一体化が図れるような内容になっている。 ○ 「エクササイズ」や「学びを生かす」では、得た知識をもとに更に考えたり、調べたり、話し合う場を設定するなど学習の深化と協働的な学びの場の提案が明確に示されている。 ○ 実生活に即し、学習者が自ら正しく意思決定したり、行動選択したりすることができるような流れのある内容にまとまっている。 ○ 多様性や運動のあらゆる親しみ方、関わり方が分かりやすく示されており、学習者が学びに向かいやすい内容になっている。						
4 表現と体裁等 に 関すること	○ 学習者の関心が高まるように、口絵や「ウォームアップ」での発問の内容を精選し、スムーズな導入や学習者の自発的な学習につながるような工夫を凝らしている。 ○ 自然災害や事故の発生及び危険予測については、様々な災害事例や身近に起こりうる事故について多数の事例や適切な対応を分かりやすい写真やイラストで示している。 ○ ユニバーサルデザインを重視し、字体はUDフォントを使用している。グラフやイラストの大きさや配色、配置を工夫して見やすく工夫している。 ○ 重要語句は太字で見やすく、行間もしっかりと確保されているため文字が読みやすくなっている。文章量も適当である。 ○ 本は環境に配慮した紙で、植物油インキを使用している。3年間使用しても壊れにくい素材になっている。製本はあじろ綴じである。						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教科書 の 記 号 ・ 番 号	技術 0 0 2 - 7 2	書 名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 技術の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通してより良い生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができるように構成されている。 ○ 生活や社会の中から問題を見い出して解決策を構想するために、多様な問題解決例を取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。 ○ 小学校での学習を踏まえ、中学生の発達に合わせた内容を扱い、自己の生活を工夫して創造しようとする態度を養うよう配慮されている。 ○ 身の回りや社会の問題解決など、多くの問題解決例があり、興味・関心に応じて自らの問題解決に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 本文、図表、写真ともに正確かつ公正に記述されている。また、資料、統計、統計等の出典、出所が明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の三つの要素に沿った章構成とし、学習が系統的に進められる配列となっている。 ○ 編の導入には「この編で学ぶこと」、各節の冒頭には「目標」という学習の到達目標を示し、見通しを持って学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 問題解決をするための技能は、副題材の実践例や「TECH Lab」にまとめ、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できるように工夫されている。 ○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分から見て偏りがなく適切である。また、幅広い難易度の問題解決例をもとに習熟度や技能に応じて選べるように工夫されている。 ○ 豊富な問題解決例を提示し、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるよう配慮されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 生徒の思考の流れに合わせ、基礎的・基本的な知識・技能を学習し、主体的に思考・判断・表現しながら技術による問題解決に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 様々な思考ツールや学び方を取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫が見られる。 ○ 生徒の思考の流れに合わせ、その助けとなるような資料が示されており、主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。 ○ リンクマークにより他教科との関連が図られている。また、随所に「技術の匠」として開発者や技術者を紹介しており、勤労観や職業観の育成にもつながっている。 ○ 写真やイラストなどの資料が適切に配置されている。また、二次元コードが配置され、豊富なデジタル教材も収録され、学習への興味・関心を高められるよう工夫されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 発達の段階に応じた適切な用語等を用いるとともに、中学校以降で学習する常用漢字には全て振り仮名が付されている。 ○ 生徒キャラクターやナビゲーションキャラクター、漫画等を用いて、生徒が親近感を持つよう工夫されている。 ○ 文章は本文、図表中とも読みやすい大きさと行間で、重要語句は太字ゴシックで表現されている。また、色覚特性に配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 見開き構成となっており、大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するよう工夫されている。 ○ 表紙は防水加工で、強度を高める加工が施されており、長期の使用に耐えられる製本である。また、再生紙や植物性インキを使用し、環境への配慮がなされている。						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技術 006-73	書 名	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
			教 図		006-74		
1 内 容 に 関 す る こ と	○ 「見つける」「学ぶ」「ふり返る」という3つのステップを通して、技術の見方・考え方を養い、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる内容となっている。 ○ 身近な生活や社会の中から問題を見出す場面を設定し、その解決のための技術の利用方法が幅広く紹介され、見通しを持って学習に取り組める内容となっている。 ○ 社会の中での問題解決の大切さに気付かせ、進路選択や職業観・勤労観の育成に寄与できる内容となっている。 ○ 生徒が実習で用いる知識や技能等が別冊のスキルアシストにまとめられ、個々の興味・関心に応じて個別最適な学びの一助となり、安全面への配慮もなされている。 ○ 学習内容は精選され、関連する図版や写真の出所、出典も明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	○ 学習指導要領に沿った配列で、基礎・基本から応用・発展へと段階的に記述され、学習が系統的に進められるようになっている。 ○ 技術分野の目標を踏まえて、題材ごとに「めあて」と「ふり返る」が設定されており、各章、各節ごとに各自が確認できるよう工夫されている。 ○ 「学ぶ」と「ふり返る」で基礎的・基本的な内容の定着を図っている。また、「もっと知ろう」や別冊のスキルアシストの豊富な資料により発展的な学習を進めるための配慮がなされている。 ○ 系統的な内容の配列で、各内容の分量は、時数、学期、学年配分に配慮し、偏りなく扱える構成となっており、年間指導計画に広く適合できる内容となっている。 ○ 「技ビット」で社会人へのインタビューや先輩からのメッセージ、日本の伝統技術等が紹介されており、生活や地域の実態に関わる学習ができるよう配慮がなされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得後、これらの既習事項を活用して問題解決学習に主体的に取り組めるような配慮がなされている。 ○ 調べたり、考えたりする活動やグループでの発表等を通して、主体的で対話的な学びができるよう配慮されている。 ○ 生徒の理解度や興味・関心に応じて主体的に学習を進めることができるよう、多様な資料を掲載することにより、生徒が自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 小学校や他教科等との学習の関連マークが示されている。 ○ イラストや図表、二次元コードなどが適切に配置されている。また、別冊のスキルアシストにも、多くの二次元コードが適切に配置され、実習題材が詳細に記載されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	○ 中学校の配当漢字には振り仮名が付けられており、重要な語句は青色の太字になっていて、見やすくする工夫が見られる。 ○ 対話形式で発問や補足をするこで、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう配慮がなされている。 ○ 書体や色彩にはユニバーサルデザインが用いられている。印刷は明るく目に優しい色遣いで、読みやすいよう配慮されている。 ○ 必要な写真やイラスト、図表等が適切な箇所に掲載されている。見やすいレイアウトやバランスになっている。 ○ 表紙は防水加工が施され、作りも堅ろうである。再生紙、植物性インキを使用し、環境にも配慮が見られる。						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9	教科書 の 記 号 ・ 番 号	技術 009—72	書 名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
			開隆堂				
1 内 容 に 関 する 事 項	○ 技術科の目標達成のために「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で、各段階で技術の見方・考え方を働かせながら学べる内容になっている。 ○ 生活や社会の中から問題を見だし、実践を評価・解決し、新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習内容になっている。 ○ 生徒の発達の段階や生活経験を踏まえ、身近な具体的製品から仕組みなどが考えられるように構成されており、生徒の興味を高めるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技術の習得を通して、社会や環境、安全の技術について理解を深められるよう配慮がなされている。 ○ 本文、図表、写真等の資料に偏りはなく、全体の調和が取れている。また、伝統技術や最先端技術等の図版や写真は出所、出典が明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	○ 基礎・基本の習得から応用・発展的な学習につながっており、系統的に展開されている。問題解決的な学習で応用できるように配慮されている。 ○ 技術分野の目標を踏まえ、日常生活や社会との関わり、持続可能な社会の構築に向けた視点を示し、目標が明確に示されている。 ○ 科学的な根拠をもとに技術を理解できるよう、「学習課題」から基礎的・基本的な内容に向かい、「実験」や「調べ学習」から問題解決的な学習で定着が図られるよう配慮されている。 ○ 系統的・発展的に組織されており、分量も時数や学期、学年配分に配慮し、多様な指導計画に対応できるよう工夫されている。 ○ 生徒の生活経験や発達の段階を考慮して内容が配列されている。また、防災学習に関わる内容等、地域の実態に応じた学習活動ができるよう配慮されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	○ 問題解決学習を通して、生活をより良くしようとする意欲を引き出し、問題を見出し、解決を図る力を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 実験等で協力し、結果を検証できるような協働的な活動ができるよう配慮がなされ、生徒が主体的に学習課題に取り組むよう配慮がなされている。 ○ 適切な箇所に二次元コードを記載しており、生徒が個々で必要に応じて確認し、個別最適な学びの実現ができるよう工夫されている。 ○ 小学校や他教科との関連がある箇所にはマークが示されており、学年や教科等横断的なカリキュラムが立てやすいよう配慮されている。 ○ 全ての学習課題にデジタル教材が収録されており、学習内容に興味・関心を高め、理解できるよう工夫されている。挿絵や図表等も豊富に収載され、生徒の理解を深める工夫が見られる。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	○ 発達の段階に応じた適切な用語等を用いており、重要な語句は太字ゴシックで目立つよう工夫されている。単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。 ○ 生徒が理解しやすいよう生徒目線の写真を多様している。また、使用しているキャラクターは多様性への配慮が見られる。 ○ 色覚特性に配慮し、可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすく適切な色遣いとサイズになっている。 ○ 各ページ右上部に、学習内容に関連した工具や部品を紹介し、生徒の興味・関心が高まる工夫が見られる。レイアウトは見開きを有効に活用し、バランスの良い配置になっている。 ○ 環境・資源に配慮し軽量化された用紙、植物性インキが使用されている。また、製本は強固に接着されており、堅ろうで長期の使用に耐えるものとなっている。						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・略称	2 東 書	教科書 の記号・番号	家庭 002-72	書 名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 内容に 関すること	○ 学習指導要領に示された目標や内容を踏まえ、主体的に問題解決ができるよう工夫されている。 ○ 小学校の学習を振り返りながら系統的に学習できるよう工夫されている。また、実習などで活用できる情報収集が簡単にできるよう、二次元コードをうまく活用している。 ○ ガイダンスでは、直接教科書にチェックし、自問自答しながら学習を進めることで、意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 多くの実践例や発展的な内容が提示されており、生徒の興味・関心に応じて自分に適した学習が進められるよう工夫されている。 ○ 多くの資料がどの分野も過不足なく提示されており、出所、出典も明示されている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 「1編 未来につながる家庭分野」を巻頭に位置づけ小学校と系統しやすくし、幼児や高齢者の学習を後半に位置づけることで、高校への継続を促すことができるよう工夫されている。 ○ 各編に目標が明示されており何を学ぶのが明確である。また、各節の最後に「生活に生かそう」「まとめよう」が設けられており、学習を振り返り、まとめができるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付けられるよう、写真や手順を明示した資料が豊富である。また、基礎を活用し応用させることで学習を発展させていくという流れになるよう配慮されている。 ○ 内容の分量が適切であり、各学校で適合できる内容になっている。 ○ 多様な実習例が提示され、学校や生徒の実態に応じて、実践的・体験的な活動が行えるよう工夫されている。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 実践例が多く示されており、学んだ知識・技能を生かし、自分に適した実践を主体的に行うことができるよう工夫されている。 ○ 「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」という場面を設定し、生徒が主体的に調べたり考えたりできるよう配慮されている。 ○ 二次元コードを活用して学習内容や作業を動画で振り返ることができ、自分の進度に合わせた学習ができるよう配慮してある。 ○ 「他教科」というマークで他教科との関連性が示されており、学びが広がるよう工夫されている。 ○ 基礎的な内容についての写真が多く、基礎的・基本的な内容の定着が図れるよう工夫されている。また、デジタル教材が多く充実している。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 中学校以降で学習する常用漢字には全て振り仮名をつけるなど読みやすく配慮されている。 ○ アニメのキャラクターを用いた資料や、中学生などの決まったキャラクターが吹き出しでコメントすることで親近感がわくよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色とデザインについて検討したりするなど色覚特性のある生徒へも対応している。 ○ 実物大の写真を活用したり、手順に応じて言葉だけでなくイラストや写真を活用したりと分かりやすく図表を活用している。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。また、軽量な用紙の使用や再生紙・植物油インキを使用するなど配慮が見られる。						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・略称	6 教 図	教科書の 記号・番号	家庭 006-72	書 名	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 内容に 関すること	○ 学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、課題や資料を提示し、実践的・体験的な課題解決学習ができるよう工夫されている。 ○ 小学校の振り返りができたり、二次元コードで動画などの資料が提示されていたりし、幅広い知識が得られるよう工夫されている。 ○ 丁寧でわかりやすいガイダンスと問いかけるような各編への導入で、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ○ 基礎を学び、その学習を生かして実践的な課題に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 世界や日本各地の資料、また四季折々の資料など偏りなく提示されている。また、出所、出典も明示されている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 各内容が、導入→やってみよう→学びを生かそう→まとめという流れで構成されており、「見つけてみよう」や「考えてみよう」という分かりやすい言葉で導きながら資質・能力が身に付くよう工夫されている。 ○ 節の始めにめあてが明示されており、何を学ぶのかが明確である。また、章末にまとめができるふり返りがあり、内容としてまとまっている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付きやすいよう多くの資料が提示されている。また、学習したことを生かして、実践的・体験的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 内容と分量が適切で、偏りなく提示されており、各学校で適合できる内容になっている。 ○ 幼児の様子が多く掲載されていたり、様々な地域の様子が分かるような内容になっていたたりして、どのような地域にでも対応できるよう工夫されている。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 動画や写真、イラスト等の基礎的・基本的な知識・技能が習得しやすいよう工夫されている。また、学んだ知識を問題解決的な学習を通して生かすことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 実生活とつながる内容になっており、自分の体験を生かしたり、学びを自分の生活に生かしたりすることができ、生徒が主体的に取り組むことができよう工夫されている。 ○ 生徒が自分で振り返ったり、確認したりすることができるよう資料が提示されており、自分で進度を調整して学べるよう工夫されている。 ○ 「関連」というマークで他教科との関連性が示されており、学びが広がるよう工夫されている。 ○ 多すぎず、少なすぎず配置されており適切である。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 振り仮名をつけるなど、読みやすいよう工夫されている。 ○ 写真やイラスト、イラストのコメント等、生徒の興味を引き、楽しんで学習できるよう工夫されている。 ○ 大切な用語は青字の太字にするなど、配慮がされている。 ○ 写真や資料などによって大きさを変えたり、資料の提示も1つだけでなく複数にしたりするなど工夫されており、バランスもよい。 ○ 製本は体裁よく堅ろうであり、再生紙や植物性インキを使用するなど環境に配慮している。						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・略称	9	教科書 の記号・番号	家庭 009—72	書 名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
			開隆堂				
1 内容に 関すること	○ 学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、生活の中から課題を見つけられるよう工夫され、その課題を主体的に解決していく手立てを示している内容となっている。 ○ 小学校の学習と関連する項目には「小学校との関連マーク」をつけ、高校に関連が深い内容は「発展」として扱い、系統的・発展的に指導できるよう工夫されている。 ○ 自立をテーマに自分で課題を見つけ、解決方法を考え、実践していくよう工夫され、主体的な取組ができるよう資料が充実している。 ○ 基礎的・基本的内容を学び、その知識・技能を実生活で活用していけるよう実践例が工夫されている。 ○ 世界や日本各地の資料など多種多様であり、内容や資料に偏りはなく、出所、出典も明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習のまとまりごとに、実生活から課題が見つけれられるようになっており、生徒が主体的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 学習目標が示されており、何を学ぶのが明確である。また、A・B・Cと内容ごとに学習のまとめが行えるようになっており、その内容についても、3つの評価項目で分かれており自己評価しやすくなっている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、そこから個に応じて発展的な学習ができるよう実践例などの提示が工夫されている。 ○ 内容と分量が適切で、偏りなく提示されており、各学校で適合できる内容となっている。 ○ 地域性を生かした食材や調理例、自然災害の例など、日本全国偏りなく取り上げられており、地域の実態に応じて活用することができるよう配慮されている。東日本大震災の例も多く取り入れられている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 基礎的・基本的内容をしっかり捉えさせ、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」などの学習で主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるよう配慮されている。 ○ 「話し合ってみよう」「発表しよう」などの活動を通して主体的・対話的な学びができるように工夫されている。 ○ LGBTQやヤングケアラー、海外で活躍する選手など多種多様な資料の中、生徒が個々に興味・関心を持ち、学べるよう配慮されている。 ○ 他教科や技術分野と関連するページには「他教科・他分野との関連マーク」が付けられ、具体的事項を示すなど工夫している。 ○ 実物大の写真や、資料などが適切に配置されている。二次元コードによる動画も多く、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。						
4 表現と体裁等 に 関すること	○ 中学校で学習する漢字については、見開きページごとの初出箇所に振り仮名を付けている。 ○ 主人公である中学生が問いかけたり、気持ちを伝えたりすることで、生徒が共感し親しみを持ち学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。重要な語句は太字にして分かりやすくしている。 ○ 実習や製作は横流れに展開されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるレイアウトになっている。 ○ 製本は堅ろうで表紙には水に強い加工がされている。再生紙を使用し、インクも植物性のものを使用している。						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	2	教科書 の記号・ 番号	英 語	書 名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
			東 書		0 0 2－7 2 0 0 2－8 2 0 0 2－9 2		
1 内容に 関すること	○ 目的・場面・状況を意識した言語活動を効果的に繰り返し行い、知識・技能を活用しながら身に付け、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう工夫されている。 ○ 「Unit」の冒頭にその「Unit」のゴールが示されており、振り返りや自己評価まで見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 全学年に共通して、身近な話題から社会的な話題まで、学年に応じた題材や活動を取り上げており、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ SDGsの視点や防災に関する内容等、当地区における特色ある教育活動に関連した内容が取り上げられており、日頃の学校生活と結び付けることができる内容である。 ○ 3年間で段階を踏みながら、英語学習を通して「持続可能な世界」の実現と「多様性にあふれる社会」の実現について深く考える場面が設定されている。資料には出所、出典が明記されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 語彙や表現の使用場面や状況、使い方等がスモールステップで学習できる配列となっており、単元のゴールが達成できる構成になっている。 ○ 教科書の巻頭に題材、活動目標、文法事項が明確に示されており、年間を通して学習の流れがイメージできるものとなっている。 ○ 学習した内容を使って目的・場面・状況を意識して発信できるよう、単元の終わりには総合的な活動が設定されている。 ○ 1ページあたり1単位時間程度の扱いになっている。年間指導計画の時数に沿った内容となっており、生徒の実態に合わせた指導の工夫ができるように配慮になっている。 ○ 1学年では自分に関すること、2学年では発表、説明、意見を述べる、3学年では最後のゴールにディベートが設定されており、段階を踏んだ活動となっている。						
3 学習と指導に 関すること	○ 「Unit」「Real Life English」「Stage Activity」と学習した内容を繰り返すことで知識・技能が習得できるように工夫されている。 ○ ペアやグループ学習など協働で学ぶ場面が多く設定されており、対話的な活動を通して自分の考えを深めることができるよう工夫されている。 ○ 巻頭で年間の学習の流れが見通せる工夫がされている。また、デジタルコンテンツも充実しており、自己調整を図りながら学習できるように配慮されている。 ○ 1学年では落語、2学年では職場体験、3学年では東日本大震災の題材があり、国語や総合的な学習の時間と関連付けた内容となっている。 ○ 1学年では小学校との接続期において、学習のポイントが分かりやすく取り上げられている。二次元コードから3学年分のデジタル教材にアクセスできるよう工夫されている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 1学年では、小学校の教科書と同じ字体を使用しており、小学校からの接続に配慮されている。 ○ 1学年では学校生活の話題が中心になっており、2・3学年では社会的な話題や国際理解等、様々な題材が取り上げられている。生徒の興味・関心が高まる内容になっている。 ○ 字体はユニバーサルデザインを使用し、配色やデザインも見やすく工夫されている。 ○ 本文に関連した写真やイラストが大きく掲載されており、分かりやすくなっている。 ○ A4版の大きさで、手書きで書き込む十分なスペースが確保されている。製本は堅ろうで体裁が整っている。軽量化された薄くて裏写りにくい用紙を使用している。						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	9	教科書の 記号・番号	英語 0 0 9－7 2 0 0 9－8 2 0 0 9－9 2	書 名	Sunshine English Course 1 Sunshine English Course 2 Sunshine English Course 3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	○ 全学年で単元のゴールに言語活動が設定されており、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する工夫がなされている。 ○ 巻末に CAN-DO リストが掲載されており、生徒が目的意識を持って学習に取り組めるよう到達目標が明示されている。 ○ 1年生の Get Ready では小学校で学習したことを確認できるようになっており、中学校英語に滑らかに接続できるよう工夫されている。 ○ 全学年で「Our Project」が計画的に配置されており、学習内容を基に思考力・判断力・表現力等を総合的に育成できる構成になっている。 ○ 1年生は身の回りのこと、2年生は生活に密接する話題、3年生は社会的な話題と発達段階に応じた題材となっている。資料等の出所、出典が明らかになっている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 単元を通して、4技能5領域がバランスよく配列されている。導入から自己表現までの流れを意識して学習できるよう工夫されている。 ○ 各学年の教科書に全学年の目標が明示されており、学年の目標だけではなく、3年間の最終ゴールを意識して学習を進められるようになっている。 ○ 単元のはじまりの「Scenes」で単元全体の基本表現を確認し、各「Part」「Review & Retell」「Action」と基礎・基本的な内容から発展的な内容へと難易度が上がる構成になっている。 ○ 本文ページ及び言語材料の分量は、年間140時間の指導時数に適切であり、余裕を持って学習できるように設定されている。 ○ 全学年を通じて、SDGs がバランスよく取り入れられている。3年生の「Our Project」ではSDGs についてディスカッションする内容であり、社会的問題について考えさせる題材になっている。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 各単元の前半は基本表現を習得する活動、後半は内容理解から課題解決的な活動が効果的に配列されている。 ○ 「Step」や「Power Up」では発表や、やり取りをする活動が多く取り上げられている。主体的・対話的に学ぶ工夫がされている。 ○ 二次元コードから音声、アニメーション、発表モデル動画、学習アプリ等にアクセスすることができ、生徒が自分に合った学習を選択することができる。 ○ 職場体験や海洋ごみの問題を扱った題材があり、総合的な学習の時間と関連付けた学習内容となっている。 ○ 全学年の巻頭に教科書の構成が配置されている。特に各 Program の構成が見えることで生徒が見通しを持って学習できるよう工夫されている。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 全学年において、基本的な表現や語彙、連語が精選されており、解説も適切に付されており、なだらかに学習できるように工夫されている。 ○ 各単元の「Turning in」では大きな写真を掲載し、題材への興味・関心を高められるよう工夫されている。 ○ 活字は大きめで行間が十分に取られている。また、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、やさしい色遣いで見やすくなっている。 ○ 生徒の理解を促すイラストや写真が適切に配置されている。盛り込み過ぎず、見やすい配置になっている。 ○ 製本は長期間の使用に耐えられる堅ろうな作りになっている。傷や汚れがつきにくく破れにも強いものとなっている。						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	1 5	教科書の 記号・番号	英語	書 名	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
			三省堂		0 1 5－7 2 0 1 5－8 2 0 1 5－9 2		
1 内 容 に 関 する こと	○ 全単元を通して、4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されており、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう工夫されている。 ○ 様々な国の文化や社会的な話題などを取り上げることで、国際理解への関心も高められるよう工夫されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、環境や平和など社会的な問題の題材を取り上げることで、知的好奇心や学習意欲を高められる工夫が図られている。 ○ 他教科で学んだ題材内容を外国語科学習に結び付けることで、理解を深めたり、広い視野で思考・判断したり、豊かに表現したりできるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、思考を深めるための題材を扱い、異文化に対する理解を深められるよう工夫されている。巻末に、出所、出典が明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ Starter1～6を設定することにより、小学校の学習内容を中学校の学習につなげる工夫がされている。また、学年毎の発達に応じた内容の配列となっている。 ○ 各学年の巻末資料としてCAN-DOリストと各学年の「学びの振り返り」が配置されており、目標を意識して進められるよう配慮されている。 ○ 各単元末に設定している、目標となる「Goal Activity」に向け、基礎的・基本的な事項の定着から段階的に技能統合的な活動ができるよう構成されている。 ○ 本文ページ及び言語材料の分量は、年間時数（140時間）で指導・学習・評価が行えるように構成されている。 ○ 生徒が身近な話題（スポーツ、非常食、ユニバーサルデザイン）に関して「読むこと」から、自分の考え・意見をまとめ、表現するなど、「書くこと」の力を伸ばす工夫がされている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 各単元の言語活動を通して、学習した内容を整理・活用し、目的や場面、状況等に応じて思考力・判断力・表現力等を働かせるように工夫されている。 ○ 「Goal Activity」や「Take Action」には、考えたことや感じたこと、理由等を述べる場が設定されており、生徒が主体的に言語活動に取り組めるよう構成されている。 ○ QRコンテンツから音声、発表モデル、文法解説、発音モデル動画等にアクセスでき、生徒が自己調整を図りながら主体的に学ぶための工夫がなされている。 ○ 防災やバリアフリー等の身の回りの問題や社会的な課題、平和や環境等、扱う題材が多岐にわたり、他教科等との横断的な指導がしやすいよう構成されている。 ○ 全学年のP4～P5には、教科書の「しくみと学び」が配置され、単元構想が可視化されていることで、段階的に学習を積み重ねて学習に主体的に取り組むやすいように配慮されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	○ 表記や表現は全学年で統一が図られており、特に1学年では、小学校で学んだ表現を授業の導入場面で扱うよう配慮されている。 ○ 登場人物による学校生活内外の学習や体験内容が、疑似体験として親しみを感じさせる。また、多くのイラストや写真が、生徒の興味・関心を喚起させる。 ○ 全学年において、ユニバーサルデザインに配慮した視認性の高い字体を使用するなど、読みやすさの工夫がされている。 ○ イラストや写真は大きくて見やすく配置されている。題材の内容を把握する際に役立つようレイアウトを工夫している。 ○ 環境に優しい紙と植物油インキを使用しており、環境保護や資源節約に配慮している。						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	1 7	教科書 の記号・番号	英語 0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2	書 名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
			教 出				
1 内容に 関すること							○ 「コミュニケーションを図る資質・能力」の育成を図るため、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく内容が、十分に配置されている。 ○ 英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決にあたる活動を盛り込み、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる場面を設定している。 ○ 主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導くため、生徒の興味・関心に合った題材を各単元及び活動に設定されている。 ○ 生徒にとって身近な話題から多様な社会・文化への理解、進路や将来のことへと考えを広げる題材まで、持続可能な社会の創り手としての態度を養うことができるよう構成されている。 ○ 生徒の興味・関心を喚起し、思考を深めるための多くの資料があり、出典、出所は巻末に明記されている。
2 組織と 配列に 関すること							○ 関連のある言語材料を同じ Lesson や連続した Lesson で扱うなどの工夫があり、発達段階に応じ、バランスよく配列されている。 ○ 単元の目標を CAN-DO 記述文の形で Lesson の冒頭に示した上で「できるようになっている姿」を明確にし、資質・能力を総合的に学習できるよう工夫されている。 ○ 5 領域に関わる様々な Tips や Useful Expression、Project 等が設定されており、5 領域の力をバランスよく伸ばし、基礎から実践的な活動まで行うことができるよう構成されている。 ○ 思考力・判断力・表現力の育成を図る言語活動の時間を考慮した上で全体の分量を設定しているので、年間指導時数内で余裕をもって指導できるものとなっている。 ○ Activities Plus 等では、既習言語材料を活用して表現する Q&A が 10 題ずつ配置され、ペア・ワークなどを通して、「話すこと（やり取り）」を取り入れる機会を設定されている。
3 学習と 指導に 関すること							○ 「Lesson」「Task」「Grammar」「Activities Plus」「Tips」の活動を通して、段階的に知識・技能を定着させ、「Project」で総合的に学習できるように工夫されている。 ○ 「Think & Try!」「Read & Try!」等を組み合わせ、「話すこと」「書くこと」の言語活動を通し、生徒自身の興味・関心や意見・考え、経験等を英語で発信できるように工夫されている。 ○ 「How to Study」「効果的な英語学習法」ページを設けたり、自己表現活動に役立つ語彙「分野別用語集」を掲載したりするなど、生徒が自主的な学習を行うための配慮がなされている。 ○ 諸外国の文化、SDGs、環境問題、キャリア教育、防災教育等、他教科・領域等と関連付けて学習できる題材を取り上げている。 ○ 二次元コードからアクセスできるウェブサイトを通じて、教室での協働学習・個別学習に加え家庭学習でも活用できるから良質なデジタルコンテンツが配置されている。
4 表現と 体裁等 に 関すること							○ 小中のスムーズな学びの接続を目指し、本文を漫画のレイアウトし、「読むこと」への負担感を減らすよう工夫されている。 ○ 挿絵、図版、写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いもの、創造力を高めるイメージ豊かなものを活用している。 ○ 1 学年 Lesson3 までは、手書き文字に近いフォントを活用し、また、色覚特性による影響が生じないように、学習者にとって見やすく分かりやすいユニバーサルデザインを取り入れている。 ○ 紙面上の様々なアイコン、イラスト、図表などを判読・理解するにあたり、全ての生徒のにとって見やすく分かりやすい配色の工夫がされている。 ○ 環境に優しい再生紙と植物油インキを使用している。また、製本はあじろ綴じで、開本しやすく、堅ろうである。

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	3 8	教科書の 記号・番号	英語	書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
			光 村		0 3 8 - 7 2 0 3 8 - 8 2 0 3 8 - 9 2		
1 内 容 に 関 する こ と	○ 1学年の導入教材「Let's Be Friends!」では、小学校での学びを振り返るとともに、中学校での学びへ円滑に進むことができるように考えられている。 ○ 各学年で、できるようになることを意識付けさせるために、学年ごとの目標が明記されている。そうすることで、生徒が見通しを持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 取り扱う表現の幅が広く、身近な題材から社会的な問題へと、生徒の発達段階に応じた話題を取り上げることで、学習意欲を高め、視野を広げられる工夫がされている。 ○ 多様で豊富な題材を通して、思いや考えを伝え合うことでの達成感が感じられる言語活動が設定され、協働的な学びを通して、知識や教養を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 様々な国の文化や社会的な話題を取り上げ、多様な文化等に触れられるように工夫されている。写真や資料の出所、出典先が巻末に明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 5領域では、特に重点的に学習する領域を「Part」ごとに設定し、「Goal」では、単元の最終目標に応じた技能統合的な言語活動が設定されており、学習効果が向上するように工夫されている。 ○ 各学年の巻末に CAN-DO リストが配置され、学習過程のイメージが系統的に可視化できるとで、目標を意識して学習が進められるように配慮されている。 ○ 「Daily Life」や「World Tour」などの小教材があり各単元で学習した内容を活用し、かつ、探究的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 学習者や指導者に配慮した適切な分量である、8つの「Unit」で構成されている。3学期制、2学期制のどちらにも対応できる教材数や領域のバランスが考慮されている。 ○ 3年間の中学校生活を想定し、学校や地域の魅力を伝え合う言語活動が設定されているなど、生徒が意欲を持って学習に取り組めるように工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ Unit 1～Unit 3、Unit 4～Unit 6、Unit 7～Unit 8の単元末ごとに、「You Can Do It!」が設定され、目的や場面、状況などに応じた思考力・判断力・表現力を働かせて考える工夫がされている。 ○ 帯教材の「Let's Talk!」や「Story Retelling」に継続的に取り組むことによって、即興でやり取りをする力や、自分の思い等を英語で表現する力を身に付けられる構成になっている。 ○ 巻末付録に「英語の学び方ガイド」や「思考の地図」が設けてあり、生徒が学びの自己調整をしたり、思考を深めることができるような工夫がされている。 ○ 伝統と文化、環境、AI技術、防災教育等とSDGsと関連付け、他教科等で身に付けた知識や技能を活用して、生徒が主体的に課題を解決しようとする力を育む工夫がされている。 ○ 紙面の二次元コードから、音声を確認できたり、文法の解説動画等を視聴したりすることができることによって、個での学習も進められるように配慮されている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 発達段階や教材の内容に応じて、文字の種類や大きさ、文字組を調整し、さまざまな種類の英語の書体に慣れていけるよう配慮されている。 ○ 中学生の登場人物が様々な経験をしながら成長をしていくストーリーを設定するなど、生徒が興味を持ったり、共感をしたりしながら学べるように表現が工夫されている。 ○ 日本語の文字は、視認しやすいユニバーサルデザインの書体がいわれている。また、小中の接続の観点から、実際に生徒が書く文字との差異が生じないような字体を用いている。 ○ 学習者が、コミュニケーションの目的や場面、状況等を具体的にイメージしながら学習に取り組めるように、写真やイラストはインパクトのある紙面構成になるように工夫されている。 ○ 表紙は、耐久性のあるラミネート加工をしており、環境に負荷の少ない用紙を用い、植物油インキで印刷されている。						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	6 1	教科書 の記号・番号	英 語	書 名	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
			啓林館		0 6 1－7 2 0 6 1－8 2 0 6 1－9 2		
1 内 容 に 関 する こ と	○ 単元や「Let's シリーズ」では、実生活に即した場面や状況が設定され、即興的なやり取りを行うことで、思考力・判断力・表現力等を伸ばす工夫がなされている。 ○ 単元の始まりに「Unit Goal」を示すことで、生徒が見通しを持ち、自分の学びを調整しながら学習することができるように構成されている。 ○ 小学校での既習事項を踏まえた文法配列になっており、さらに各学年の目標に基づいて言語材料の配列を工夫している。「聞く」活動では、3つのステップで構成され、理解が深まるように工夫されている。 ○ 各学年に「Project」が設定してあり、これまでに身に付けた知識・技能、思考力・判断力・表現力等を統合的に育くむ、技能統合型の言語活動が充実している。 ○ 様々な国々の題材に触れることで、その背景にある文化に対する理解を深めることができるように工夫されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 3年間で、4技能をバランスよく身に付けるために、聞く・読む量を学習段階に応じて増やされ、さらにアウトプットの活動も設定されている。 ○ 各学年に各単元の CAN-DO リストが記載されており、「何ができるようになるのか」が具体的に示されているため、生徒が自己調整をしながら学習に取り組むことができる。 ○ 生活に直結した場面からの導入をし、生徒がコミュニケーションを図りたくなるような課題設定の中で、繰り返し表現することで、即興で話すやり取りをする力を身に付けることができる。 ○ 単元の各パートは、見開きで2時間扱いとなっており、余裕を持たせた配当時数となっているため、生徒の実態に合わせた学習を進められるように配慮されている。 ○ 学習者が、関心のある話題等に関して、読んだり聞いたりしたことについて主体的に考え、表現するなどの「書くこと」の力を伸ばす工夫が見られる。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 「Think and Write」では、インプットとアウトプットの目標が提示してあることで知識・技能を明確にし、「Check」で目標の達成度を自己評価できるよう工夫されている。 ○ 単元を通して、インプットとアウトプットの活動が設定してあり、身に付けた知識・技能を活用させながら、深い学びにつながる言語活動を設定している。 ○ 単元末ごとに、「Focus on Form」が設定してあり、二次元コードの活用も合わせて、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。 ○ 3学年を通してSDGsの17の目標に関する題材を取り入れるとともに、伝統と文化、自然環境、ジェンダー、防災教育等も取り上げ、他教科との関連を図っている。 ○ 小学校での既習事項を振り返ることができる教材や、Unit Goal を設定している。さらに、二次元コードからアクセスできるデジタル教材もあり、個別最適化に合わせた学習ができるようになっている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 小学校からの学習の系統性を組み入れ、学習段階に応じて「聞くこと」「読むこと」について分量を増やしていき、さらに、高校の学習にも対応できるように構成されている。 ○ 生徒の興味・関心を引く題材や、今日的課題についての題材などを扱い、意欲を持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 場面に応じたイラストや写真が使用され、配置も工夫されている。カラーユニバーサルデザインへの配慮がしてあり、内容が伝わりやすい配色・デザインになっている。 ○ 1学年では、見やすく読み間違えにくいUDフォントを使用している。2学年から、ローマン体に慣れていくように字体を変えていく配慮がある。 ○ 軽量で書きやすく、消しやすい用紙を使用し、再生紙・植物インキ等を用いて環境に配慮している。						

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	2	教科書の 記号・番号	道徳	書 名	新編 新しい道徳1 新編 新しい道徳2 新編 新しい道徳3
			東 書		0 0 2 - 7 2 0 0 2 - 8 2 0 0 2 - 9 2		
1 内 容 に 関 する こ と	○ 多種多様な教材を取り上げることで、物事を広い視野から多面的・多角的に考えることができるよう工夫がされている。 ○ 各学年に「いじめのない世界へ」「いのちを考える」をテーマとする3本の教材をユニットとして設け、系統的に学習できるようにしている。全学年に「防災道徳」を設け、道徳的判断力を養えるように配慮している。 ○ 学年間連携教材として、3年間にわたって同じ登場人物が友情を育む教材があり、学年ごとに深まりのある内容となるよう工夫がされている。 ○ 読み物の他にも動画や写真、イラストなど多様な教材を掲載し、生徒の興味・関心を高められるよう工夫がされている。 ○ 定番教材を増やすとともに、身近な題材を扱った教材や防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材をバランスよく掲載するよう配慮されている。出所や出典も明示されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 22の内容項目が偏りなく教材として取り上げられている。いじめ問題と生命尊重に関する教材は、各学年同じ時期に配列されており、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ どの教材も主な発問が明確であり、生徒がより深く考えられるように配慮されている。教材冒頭に「学習のテーマ」を配置しており、観点を共有して学習を進めることができる。 ○ いじめ問題と生命尊重の教材をユニット化し、一つのテーマを集中して扱うことで道徳性を養えるよう配慮している。 ○ 各学年35教材と4つの付録で構成されており、各学校の年間指導計画や重点内容項目に適合しやすいよう配慮されている。 ○ 学校行事や生徒の生活実態に合わせ、指導内容と指導時期を考慮して教材が配列されている。ユニットごと授業する時期を交換することで、最適な学習の時期に配慮できる。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 全教材に自己を見つめるための発問「見つめよう」が配置されており、また、巻末に切り取り式の「学びをふり返ろう」を例示し、自己の生き方について考えを深められるよう配慮している。 ○ 全教材に「つぶやき」を設け、考えたことをメモできるように配慮されている。また、巻末の「心情円」を活用することで話し合いに向かう際の根拠を示しやすくなるように工夫されている。 ○ 読み物教材に加え、写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や漫画を活用した教材など、生徒の学習意欲を喚起することができるよう提示方法が工夫されている。また、教材を読むことが困難な生徒のために、QRコードから朗読音声を視聴することができる。 ○ 各教材冒頭に他教科関連マークがある。またQRコードから関連する教科等の紙面を見ることができる。コラムではソーシャルスキルが取り上げられ、特別活動との接続を図ることができる。 ○ デジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びを進める一助となっている。関連するウェブサイトへ遷移できるようQRコンテンツの使用について紹介するページが設けられている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 原則、固有名詞や混ぜ書きになる熟語を除き、小学校までに学習した漢字を使用していることで、読みでつまづかないような工夫がされている。 ○ テレビ番組の映像や活躍する人物、漫画教材などを意図的に取り上げることで、生徒の興味・関心を喚起する工夫がされている。 ○ 一般的なユニバーサルデザインフォントよりも太い書体を使用し、色覚特性にも配慮した色遣いであり、可読性が高い。 ○ 挿絵や写真、図版は見やすい大きさと、適切な位置に配置されている。掲載されている挿絵や写真はダイバーシティに配慮されている。 ○ 製本は強力な接着剤を採用したあじろ綴じで、教科書を広く開くことができ、壊れない強度がある。環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど環境やアレルギーに配慮されている。						

種 目	道 徳	発行者の番号・略称	1 7	教科書の記号・番号	道徳	書 名	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
			教 出		0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2		
1 内容に 関すること	○ 道徳の授業の1年間の振り返りが、「よりよく生きるとはどういうことか」をテーマに明記されており、学習指導要領の目標を達成するための工夫がされている。 ○ 「ひろば」や「やってみよう」で、資料や写真、身の回りでの出来事を題材に、「考えて議論」することができるよう工夫がされている。 ○ 生徒が興味を惹かれるようなテーマの資料が多い。また内容もキャリアやSDGsなど広くとらえたものも多く、多角的な視点で考えることができる資料もある。 ○ 資料末の「学びの道しるべ」は毎時間のまとめとして、「ひろば」や「やってみよう」は発展的な授業内容として段階的に思考を深め、広げられるような構成になっている。 ○ 内容項目に関してはバランスよく配置されている。資料の最後には出典が明記されており、デジタルコンテンツに関しても、著作権についての注意喚起が載っているなどの配慮がある。						
2 組織と配列に 関すること	○ 道徳の授業の「1時間のまとめ」、「学期のまとめ」、「1年間のまとめ」できるようになっており、段階的に振り返ることによって学習の効果が上がる工夫がされている。 ○ 資料が内容項目と7つのテーマとに、それぞれ分類されて一覧としてまとまって掲載されており、ねらいを明確に捉えやすい。 ○ 「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」の3つのテーマについて重点的に取り扱えるよう、資料をユニットとして活用できるよう工夫されている。 ○ 内容項目はバランスよく配置されている。授業のテーマが30、補充資料が5と各学校の年間指導計画に広く適合できるような数になっている。 ○ 全国各地の題材が使われているが、身近な生活のものとして捉えることができるものも多くあり、生徒にとっては考えやすい。						
3 学習と指導に 関すること	○ 1つの資料でもいろいろな視点から考えさせられる資料が多くある。また、絵図などで段階を追って考えられたり、まとめたりできるよう工夫がされている。 ○ 資料の題の下に導入のための問があり、生徒の興味・関心を引き出すきっかけになっている。また、「ひろば」や「やってみよう」を使って深い学びに結びつけるよう工夫がされている。 ○ 挿絵などの色は色覚の個人差を問わない色遣いになっている。また、1年生の資料では、漫画のようにコマ割りしたものを使用して資料の読み取りをしやすくするなど、考える時間を多くとるための工夫がなされている。 ○ 教科書の巻末にある内容項目別一覧表中に「教科等との関連」があり、各教科との関連が分かりやすく明記されている。授業でも活用しやすい配慮である。 ○ 「まなびリンク」としてQRコードが教科書表紙裏や資料の題名の下などに掲載されており、すぐにアクセスできるようになっている。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 各学年の発達段階に合わせた資料を使っており、生徒の学習への興味関心の喚起や学習意欲の向上が期待できる。 ○ 文章だけではイメージするのが難しい内容でも、図表を使って分かりやすく、かつ考えやすく工夫されている。 ○ 資料の文章は見慣れた明朝体になっている。また、図表の中の文字はユニバーサルフォントを使っており、可読性への配慮がある。 ○ インパクトのある大きな写真や図はないが、文章の内容と関連したものが配置され、自然に資料に思考を誘う仕様となっている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうのB5版となっており、生徒の机の上に置いても筆記用具やプリントが落ちる心配が少ない大きさになっている。						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき
		光 村			0 3 8 - 7 2 0 3 8 - 8 2 0 3 8 - 9 2		中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき
1 内 容 に 関 する こ と							○ 自分のこととして考えたり、見方を変えたりしながら学習し、人間としてのよりよい生き方についての考えを深め、多面的・多角的な考えを養うことができるよう工夫されている。 ○ 全学年を通して、情報、国際理解、環境、福祉、人権、ふるさと、防災等の内容が取り上げられ、いじめ問題を含む現代の社会的課題について考えることができるような配慮がある。 ○ 専門家が書いた物語資料、実話をもとにした読み物資料、漫画や絵本のような読み物など、内容や形式が多様であり、生徒が興味を持って学習に向かうことができるよう工夫されている。 ○ 学年が上がるにつれ、同じ内容項目であっても考え方の深まりが期待できるような資料の配置となっている。また、持続可能な開発目標（SDGs）に関する幅広い内容を取り上げている。 ○ 「まなびをプラス」で、角度を変えた学習の充実を図ることができる。多様なジャンルが配置され、教材や挿絵に登場する人物や執筆者の性別等にも偏りが無い。出所、出典も明示されている。
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と							○ 「道徳で学ぶ22のキーワード」として、学習指導要領に示された内容項目がわかりやすく示されており、関連しながらテーマに向かって学習を進めるユニットとして教材が配列されている。 ○ 道徳を学ぶための3つのポイントが示されているとともに、教材の冒頭にも内容項目が示されており、その教材で何を学ぶのが明確である。 ○ いじめ問題や人権に関わる内容がまとまっているなど、内容項目をユニットとして関連させている。同じ内容項目を複数回取り扱うことで考えを深めることができる。 ○ ユニットのテーマを入れ替えることで年間指導計画を組むことができ、学校の行事等にも対応しやすくなっている。 ○ 学校行事の時期との関連も工夫されている。宮城県名取市の方の読み物や、岩手県釜石市の復興スタジアムの資料が掲載されるなど、より資料に入り込んで学習をすることができる。
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と							○ 「道徳で大切にしたいこと」として、自己を見つめ、生き方を考える学び方が示されている。「見方を変えて」によって、多面的・多角的な見方・考え方ができるよう工夫されている。 ○ 生徒の日常に身近な場面を取り上げている。「チャレンジ」では、問題解決に向けて役割演技や思考ツールなどの手立てが例示され、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。 ○ 「まなび」の道具箱にはイメージマップやPMIシートがあり、生徒が考えやすい手立てを選択することができる。教材の資料の内容が多岐にわたっており、多様な興味・関心に対応できる。 ○ 教材の最後の「つなげよう」では、他教科や日常生活とつなげたり、別なテーマとつなげたりすることで、より深く考えることができるように工夫されている。 ○ 図表や写真には注釈も示され、二次元コードから関連資料にアクセスすることができるので、生徒の想像力や思考を妨げずに授業を展開できる。
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と							○ 中学校以上配当の常用漢字にはルビがふられている。文字を大きく示すことを意図しており、可読性が高い。 ○ 魅力的な写真やイラスト、漫画教材や絵本の教材などが配置され、生徒が興味を持って学習に向かうことができるよう工夫されている。関連する本の紹介等も掲載されている。 ○ 行間が適切で、タイトルもシンプルで見やすい。ユニバーサルデザインの観点に立ったデザインである。色遣いはカラフルだが、全体的に柔らかな印象で見やすい。 ○ 写真やイラストが文章の邪魔をしないよう配置されている。見開き1ページにわたった大きな写真などもあり、魅力的である。 ○ 環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。堅ろうで薄い紙を使用している。表紙の加工が丈夫で開きやすい。

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	道 徳 1 1 6 - 7 3 1 1 6 - 7 4 1 1 6 - 8 3 1 1 6 - 8 4 1 1 6 - 9 3 1 1 6 - 9 4	書 名	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート
			日 文			
1 内 容 に 関 する こ と						○ 巻頭のオリエンテーションページや「ミニ教材」を通して、道徳を学習する意義や学び方について理解できるようにしている。視野を広げる、学びを深めるページで、多面的・多角的な考えを広げることができる。 ○ いじめ、情報モラル、安全な生活など、現代的課題に関わって自分の生き方を考えられるような内容となっている。 ○ 発達段階を踏まえて、学年ごとのテーマを設けている。生徒が身近に感じられる教材を選定するとともに、年間で教材を配置する時期を工夫し、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 専門家が書いた物語資料、実話をもとにした読み物資料、漫画や絵本のような読み物など、様々な形式を取り上げ、テーマに対応したコラムでより深く考えることができる。 ○ 多様なジャンルの資料が配置されている。各教材の末尾に出所、出典が明示されている。
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と						○ 教科書冒頭には学習内容やねらいを示すオリエンテーションのページが設けられており、家庭生活、学校生活、社会生活に関わる幅広い分野の内容がバランスよく配列されている。 ○ 複数の教材を「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」としてユニット化することで、学びを重ね、よりよい生き方について考えを深めることができる。 ○ 学習指導要領に示されているすべての内容項目を網羅した上で、重点に設定した内容項目を複数回取り上げることで、考えを深めることができるようにしている。「いじめの防止」「生命尊重」「社会参画」「伝統と文化」「国際理解」などを重点的な取り扱いとしている。 ○ 内容項目別教材一覧には、教科等との関連が示されており、各教科の年間指導計画にも位置付けがしやすい。 ○ 地域の特徴を生かした地域教材の活用が図られている。岩手県の震災復興についての資料など、生徒にとって身近に感じられるものがある。
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と						○ 教材の末尾「自分に+1」で、教材を通して考えたことを自分の生活に置き換え、自己の生き方について考えを深めることができる。別冊ノートで自分の学びの積み重ねるとともに、学期ごとの振り返り欄で成長を実感できるようになっている。 ○ 「学びを深めよう」で、問題解決的な学習や体験的な学習を行うことで、問題を主体的にとらえるとともに対話的な学びを促し、深い学びにつなげられるよう工夫されている。 ○ 性の多様性に関する教材も扱っており、ジェンダーやSOGIE SCなど、多様な個性にも配慮されている。 ○ 「視野を広げて」のページには、他教科との関連が明示されている。SDGsに関連する内容をテーマとして設定し、教材一覧にも示すことで教材同士の関連性にも配慮されている。 ○ 二次元コードからアクセスできるデジタル教材は、生徒の興味・関心を高めるとともに、考え・議論するツールとして活用できる。別冊ノートにも同じ二次元コードが掲載されている。
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と						○ 中学校で学習する漢字にはすべてルビがふられている。難しい言葉については、本文にアスタリスクが示され、教科書下部に意味が書かれている。 ○ 写真やイラストが文章を邪魔しないように配置されている。漫画の場面を大きく掲載したり、見開き1ページにわたって写真を掲載したりすることでインパクトのある紙面もある。 ○ 色、フォントについてユニバーサルデザインに配慮されている。全体的に統一感のあるページレイアウトで、行間も適切である。 ○ 教材は原則的に右ページから始まるが、「視野を広げて」のページは横書きで、左から読み始めるものもある。図表には注釈が書かれている。 ○ B5版で取り扱いやすい。製本はあじろ綴じで堅牢。教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキで印刷している。ページ数が少なく、軽量化が図られている。

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名	新 版	中学生の道徳				
			学 研				2 2 4－7 2	2 2 4－8 2	2 2 4－9 2	新 版	中学生の道徳	明日への扉 1
1 内 容 に 関 する こ と	○ 発達段階に合わせた身近な題材が採用され、物事を多角的に捉えた資料がバランスよく配置されているなど工夫されている。 ○ 各資料の題の下にある「言葉」に生徒の好奇心を喚起できる工夫がある。指導効果を高める言語活動の1つとして授業で活用できる。 ○ 発達段階を考え、1 学年には話題性の高い資料が採用され、2、3 学年にはじっくりと落ち着いて考えるような資料が採用されている。 ○ 「クロズアップ」資料では、学習した内容を振り返ったり、考えの発展や深まりに至らせるような資料が用いられており、生徒の思考を多面的・多角的に広げようとする工夫がある。 ○ いじめや偏見、障がい者について幅広く取り上げており、様々な立場から考えたり気づかされたりできる資料の構成となっている。											
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 各資料の「深めよう」は、学習した内容を振り返り、自分事へと導くことができるように配列されている。 ○ 各資料の題名付近に「どの内容項目に該当するか」、「どんなテーマ(いじめ、情報モラルなど)に関係するか」を記号で表記しており、授業のねらいを意図しやすいよう工夫されている。 ○ 「ユニット学習」としてSDGsや多様性、キャリアに関する内容が組織的に集められており、様々な内容項目の学習から考えられるように構成されている。 ○ 前半は短めの文章や図表を使った資料が多く、後半はじっくり考えて議論するような資料が多く配列されており、生徒の1年間の成長を見通した構成を工夫している。 ○ 防災に関する内容は「東日本大震災」だけでなく、様々な気象災害も取り上げており、生徒にとってより身近に捉えることができるよう多様な資料が採用されている。											
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 各学年の教科書の巻頭に「道徳科で学ぶこと考えること」が記載されており、どのような形で授業が展開され、どのように自分が考え、関わればよいのかが分かりやすく記されている。 ○ 取り上げられている資料が時宜を得た話題性の高い内容となっており、生徒の興味・関心を引き出しやすい。また、資料末「深めよう」は議論がスムーズにできるよう配列が工夫されている。 ○ 資料の下に人物や言葉の説明がされ、登場人物には挿絵を使った説明もある。文章だけでは分かりづらい関係性が視認でき、挿絵や写真をより有効に活用した授業展開が期待できる。 ○ スポーツや科学技術、自然環境、防災等に関する多岐にわたる内容は理科や技術、保健体育といった他教科に関連するものであり、総合的な学習の時間にもつながるよう配慮されている。 ○ 表紙裏や目次下、教材名(題名)の下にあるQRコードで教材の関連資料にアクセスができるようになっている。											
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 資料が各学年に合わせた内容となっている。また、地名や人名など読みづらい語句や固有名詞にはルビが振ってあり、円滑に音読できるよう配慮されている。 ○ 資料の漫画での表記、漫画の活用やデジタルコンテンツをすぐに使用できる教材もあり、生徒が親しみや興味を持って取り組めるようになっている。 ○ 文章は見慣れている明朝体を使用している。また、文中の小見出しの活字はユニバーサルフォントを使用しており、読みやすい配慮がある。 ○ インパクトや迫力のある写真や図は、意図的に使用を控えた紙面となっており、落ち着いて考えることが期待できる。 ○ B5の横ワイド版となっており、生徒の机の上に置いても心配のない大きさになっている。環境に配慮した紙やインク等を使用していると表記されている。											

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名	中学生の道徳1 中学生の道徳2 中学生の道徳3
			あか図		2 3 2－7 3 2 3 2－8 3 2 3 2－9 3		
1 内 容 に 関 する こ と	○ 教材ごとの「自分をみつめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」「自分との対話」という一連の発問に、主体的・対話的で深い学びにつながる学習への意図を読み取れる。 ○ どの学年でも、「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」等の現代的課題がユニット化されており、重点的に学習できるように複数の教材を設けている。 ○ 発達段階に合わせた教材が配置されており、継続して学びを広げ、深められる構成になっている。 ○ 巻末にはSDGsや郷土、国際交流などに関する「Thinking」というコラムページがあり、教材を通して学びを広げられるように工夫してある。 ○ 定番教材、感動教材、多様な現代的課題を扱う教材などバランス良く配置されており、出所、出典ともに明記されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	○ 各学年すべてに4つの視点、22の内容項目の教材が取り上げられており、生徒の成長や行事などの時期に合わせて、1年間の構成や配列が工夫されてある。 ○ どの教材にも「考えの道すじ」が掲載されており、一連の発問を通じて、生徒がねらいに向かって学習できるように配慮されている。 ○ 「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」などの重要なテーマはユニット化して連続して配列され、学年を通じて学びを深められる構成となっている。 ○ 各学年とも35の教材がバランス良く掲載され、内容項目も過不足なく配置されており、各学校の年間指導計画や重点内容項目に適合しやすいよう配慮されている。 ○ 現代的課題に関する教材、また日本各地の地域教材を通して、生徒たちの実態や地域の良さに応じて学習ができるように工夫されている。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	○ 10のテーマが設定しており、3年間を通じて複数の教材から多面的・多角的に学ぶことができるような構成と配列に配慮されている。 ○ 役割演技や話し合い活動を取り入れた「MY PLUS」ページを設け、話すことや聞くことを通じて学びを深められるような工夫を施した、意見交流が図りやすい教材が掲載されている。 ○ 教科書全体を通じて、登場する男女のバランスや性別を規定しないイラストに配慮するなど、生徒の多様な個性や能力に対応できるように工夫がされている。 ○ 各教科や他の教育活動と関連を図って学習することができるよう教材が選定しており、各学年の巻末には内容一覧を掲載し、生徒の多様な学びに対応できるようになっている。 ○ 二次元コードから、教材に関する動画や写真、参考となる外部ページを見ることができ、授業の導入時や終末時に活用することで、生徒の視野や想像を広げる一助となっている。						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	○ 中学校配当漢字及び未習の漢字には、ルビが振られてある。難解な語句や分かりづらい語彙については下段に説明を加えるなど、読み手の負担を軽減する配慮がされている。 ○ 漫画で読み解く教材や著名作家の教材、現在活躍する人物が登場する読み物等があり、生徒の心を引きつける工夫がされている。 ○ 特別支援教育やユニバーサルデザインへ配慮として、UDフォント書体を使用している。色の識別に加え、マークの形状やデザインの違いなど、必要な情報が読み取れるような配慮がある。 ○ イラストや写真、図表が効果的に配置されており、生徒が興味・関心を持てるように工夫されている。 ○ 用紙は再生紙を用いてあり、印刷には植物油インキを使用している。また、学生かばんの重さにも配慮して軽量で持ち運びやすいB5判で製本されている。						

種 目	道 徳	発行者の番号・略称	2 3 3	教科書の記号・番号	道徳	書 名	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する
			日 科		2 3 3－7 2 2 3 3－8 2 2 3 3－9 2		
1 内容に 関すること	○ 教材ごとに「考えよう」「深めよう」という問が設定され、授業を同じリズムで展開し、生徒に考えさせやすいように、発問を段階的に深めていく工夫がされている。 ○ 答えが一つではない道徳的な課題を生徒が自分自身の課題と捉えられるように発問が組み立てられている。情報モラルやいじめ問題など、バランスよく教材が配置されている。 ○ 1 学年は「学ぶ」、2 学年は「見つめる」、3 学年は「創造する」と、学年を追って段階的にテーマが決められており、発展的に教科書を構築しようとする工夫がある。 ○ 生徒にとって身近な生活作文、歴史上の人物、昔話や哲学に至るまで、様々な種類の教材が採用されており、視野を広げ、多角的な見方を育むための工夫がされている。 ○ 内容項目がバランスよく配置されている。新聞記事や漫画教材も採用され、多面的に物事を捉えられる工夫がされている。出所、出典も明示されている。						
2 組織と配列に 関すること	○ 学習指導要領に示されている内容項目について、1 から 2 2 へと順番に教科書が構成されており、組織的、系統的な配列に配慮している。 ○ 収められた教材の順番が「自分自身と向き合う」「人とのかかわり」「集団と社会とのかかわり」「自然や崇高なものとのかかわり」と発展的に構成され、ねらいが明確で内容にまとまりがある。 ○ 「いじめ・人権」「生命・健康・福祉」「社会を生きる」など、中学生に考えさせたい複数のテーマ教材が採用されており、重点的に取り扱いができるように工夫されている。 ○ 各学年とも、年間 3 5 時間（ガイダンス+3 4 教材）の道徳授業時数を保証する教材数で、各学校の年間指導計画に拠ったカリキュラム編成がしやすい構成である。 ○ 全学年の巻末付録に「私たちの郷土」が掲載されており、郷土の自然や文化、人物を取り上げた学習ができる。						
3 学習と指導に 関すること	○ 道徳的価値に迫るためのテーマや話題を、様々な分野や業績を残した人物が直面した葛藤などに求めており、社会的・文化的な多様性、多面性を意図した教材が選定されている。 ○ 「考えよう」「深めよう」によって自分の考えを深めていくことができ、アクティブラーニングに資する対話を促せる発問の形態が工夫されている。 ○ 巻末の「ウェルビーイングカード」の活用によって多様な意見を伝えやすくなっており、またクラスメートとカードを見せ合わせることで、対話しやすい環境づくりが可能となっている。 ○ 各校の教育課程に合わせ、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮した教材の並び替えが可能となっている。 ○ 生徒の興味・関心を高める工夫がされており、イメージをもって課題に向かうための素材について、漫画や動画の教材など多様な表現方法が用いられている。教科書の二次元コードから、各種関連資料を映像やPDF等で見ることができる。						
4 表現と体裁等に 関すること	○ 漢字にはルビが振られており、難語句や認知されていない固有名詞などは下段に解説が補足され、理解しやすいようになっている。 ○ 生徒の興味・関心や、イメージをもって課題に向かうための素材について、学年に合わせて漫画や動画の教材など多様な表現方法を用いている。 ○ 本文など、全ページにわたりUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、視認性に対する配慮がされている。 ○ 色遣いやマーク類などの用い方に配慮があり、カラーユニバーサル観点をもつ。教科書を開いていて、目が疲れづらい仕様となっている。 ○ 環境に配慮した用紙と植物性インキを用い、アレルギーに配慮している。強固な糊付けを施した無線綴じで、堅ろうであり開きやすい。						

令和7年度使用

教科用図書採択調査研究資料

小・中学校特別支援学級用

気仙沼地区教科用図書採択協議会

種目	生活	書名 (初版年)	おとがなるしかけえほん おにわのおと (2017)	発行者	大日本絵画
評 価	1 内容に関すること ○ 身近な生き物の動きや自然のものの様子などが描かれていたり、庭や公園で聞いたことのある生き物の鳴き声や自然の音を聞くことができたりと、児童が興味をもちやすい内容となっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 朝から夜までの庭の生き物たちの様子が時間の流れに沿って描かれていて、児童に分かりやすい。				
	3 学習と指導に関すること ○ 絵や音声から、生き物の名前や自然のものの名前を引き出しやすい。 ○ ページごとに穴あき窓や凹凸のある線や形があり、触覚的にも楽しめ、指先の感覚の向上につながる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 鮮やかな色彩、かわいらしい絵で児童にとって親しみやすい。 ○ 紙質が厚く、凹凸をなぞったり、穴あきの部分を触ったりして繰り返し使っても破損しにくい。				
	(総 評) ○ 児童が親しみやすい絵柄、ページごとに違う形の穴あきや凹凸、マークを押すと音が鳴る仕組みなどにより、身近な生き物や音に興味をもちやすい内容となっている。				
種目	生活	書名 (初版年)	おとがなるさわるしかけえほん にぎやかなのりもの (2018)	発行者	大日本絵画
評 価	1 内容に関すること ○ 乗り物の写真とともに、各乗り物の用途や構造について触れた簡単な説明やボタンを押すと乗り物の音が流れる仕組みがあり、児童が興味をもちやすい内容となっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 見開きページの右側に大きく乗り物の写真があり、左側に実際に使われている生活場面などの写真が3枚ずつ載せられている。 ○ 音を出すボタンはすべて右ページにあり、分かりやすく押しやすい。				
	3 学習と指導に関すること ○ 乗り物の全体像だけでなく生活の中でどのように使われているかを表した写真、用途や仕組みについての簡単な説明文、乗り物ごとに異なる音などにより、児童が知っていることを引き出したり、学ばせたいことを伝えたりしやすい。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 文字が太字で大きく、背景の色とのコントラストがはっきりしていて読みやすい。 ○ 音を出すボタンはページごとに感触や色が異なり、児童が触って楽しみやすい。 ○ ページごとに主となる色が異なり、乗り物の違いとともに色の変化も楽しめる。				
	(総 評) ○ 乗り物の全体像写真・生活場面での写真、ボタンを押すと音が鳴る仕組み、用途や仕組みについての分かりやすい説明文などにより、乗り物に興味をもちやすい内容となっている。				

種目	生活	書名 (初版年)	音と光のでる絵本 いっぱいスイッチ (2023)	発行者	成美堂出版
評 価	1 内容に関すること ○ ページに出てくるキャラクターやスイッチを見ながら、同じようにスイッチを動かすことにより、押す・回す・ずらす・指先で転がすなどの様々な手指の動きを引き出しやすい。 ○ ボタンを押すと様々な音が出てくるので、何の音か想像する楽しみがある。				
	2 組織と配列に関すること ○ 1ページや見開きページのイラストと文字の分量や配置が簡潔で見やすい。 ○ ページごとに色が異なり、操作するスイッチや動かし方が大きく示されているので、児童にとって分かりやすい。				
	3 学習と指導に関すること ○ イラストを見て操作面から同じものを見つけたり、書かれた文字を読みながら手指を動かしてスイッチを操作したりして、楽しみながら目と手の協応の力を育むことができる。 ○ ボタンを押すごとにいろいろな音が出るので、聞いたり想像したりする力を育める。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 絵本部分と操作部分とに分かれており、紙質も丈夫で扱いやすい。 ○ イラストが大きく単純化されていて、文字数も少なく読みやすい。 ○ スwitch類が大きく、操作しやすいので、児童が扱いやすい。				
	(総 評) ○ 絵本と操作面とのつながりが分かりやすく、色・光・言葉・音・スイッチ操作などを通して、視覚・聴覚・触覚・手指の操作性などを育むことができる内容となっている。				
種目	生活	書名 (初版年)	やさしくわかるびょうきのえほん どうしてかぜをひくの？ インフルエンザになるの？ (2016)	発行者	金の星社
評 価	1 内容に関すること ○ かぜをひいたときとインフルエンザにかかったときの違いが分かりやすく詳しく書かれている。 ○ 日頃から規則正しい生活をすることで健康な生活を続けようとする意欲を高められる。				
	2 組織と配列に関すること ○ ウイルスや免疫をキャラクター化したイラストで、理解しやすい構成になっている。 ○ かぜやインフルエンザにかかるとどんな症状になり、どんな対策が必要か、何が原因で起こるか等、予防の大切さや健康維持の意識を高める学習活動に生かすことができる。				
	3 学習と指導に関すること ○ 病気や健康についての専門用語が分かりやすく使われ、マスクの着用や手洗いの仕方などの予防方法についてもイラストで視覚的に捉えやすくなっている。 ○ 巻末に保護者向けの対応策がチェックリストとして示されており、活用しやすくなっている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 咳や鼻水などの症状、ウイルスや免疫などの専門用語が強調されたイラストで大きく見やすく示されている。 ○ 病気の際や健康なときの子供の表情が豊かで、分かりやすく描かれている。				
	(総 評) ○ 児童と教師や保護者が一緒に学び、原因や症状などについて理解を深めることで、かぜとインフルエンザの違いに気付き、普段の健康な生活を維持しようとする主体的な行動につなげることができる。				

種目	生活	書名 (初版年)	やさしくわかるぼうさい・ぼうはんのえほんじしん・つなみどうするの？(2017)	発行者	金の星社
評価	1 内容に関すること ○ 地震が起こったときの様子やその後の火災や津波などの二次災害の危険性が分かりやすく詳しく書かれており、日頃の備えの必要性について学びやすい内容になっている。 ○ 家庭内や屋外、買い物先などで地震が起こった場合の身の安全の守り方やその後の対応について理解しやすい内容になっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 災害が起こった際の状況によってどんな行動や対応が必要か、また日頃の備えとして何が必要かがイラストで示されており、理解しやすい構成になっている。 ○ 避難袋の内容が示され、万が一の防災に備える意識を高めることができる。				
	3 学習と指導に関すること ○ 災害に応じた自身の命の守り方についてイラストで視覚的に捉えやすくなっており、避難訓練等の事前・事後指導にも活用することができる。 ○ 巻末に保護者向けの対応策がチェックリストとして示されており、活用しやすくなっている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 地震や津波、火災や火山噴火に遭遇した際の状況に応じた対応策がイラストで見やすく示されており、具体の行動が想起しやすく表現されている。				
	(総 評) ○ 児童と教師や保護者がともに学び、日頃の災害に対する備えの大切さや実際に起きたときの対処方法について理解を深めやすく、自らの命を守り、状況に応じて適切に対応できる力を身に付けようとする主体的な行動につなげることができる。				
種目	算数	書名 (初版年)	指さし・指なぞり 123かず (2011)	発行者	ひかりのくに
評価	1 内容に関すること ○ 児童に親しみやすい動物をテーマにし、指さししながら数を数えることで、数量に気付き数に対する関心を高めることができる。 ○ 数詞や数字と実際の数量を対応させることを繰り返し学習することができる。 ○ 指でなぞることで、指の感覚を刺激しながら数字の形を捉えていくことができる。				
	2 組織と配列に関すること ○ ものの数を数える素地を養う段階として、児童が直感で把握できる1～3までの範囲の動物の数を捉えさせることから始まり、次に5までの範囲、最後に5以上の数と段階的に捉えられるような配列になっている。				
	3 学習と指導に関すること ○ 3までの数的要素に気付き、指さしや指なぞり、数唱などを繰り返しながら、数概念の基礎的な事柄について体験的に捉えることができる。 ○ 数の保存の法則や数の合成と分解、分類や集合等についての基礎的な見方や考え方に触れたり、経験したりすることができる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 丸みを帯びた親しみのある文字が使われており、数字は指なぞり用に大きく表記されている。また、数字によって色分けされているので区別して捉えやすい。 ○ 装丁がしっかりしていて厚紙を使用しているので指なぞりがしやすい。				
	(総 評) ○ 保護者が児童に読み聞かせをしながら、一緒に数を数えたり、指なぞりをさせたりすることができ、1～10までの数の基礎を身に付けるための学習に体験的に、楽しく取り組むことができる内容になっている。				

種目	算数	書名 (初版年)	スキップ絵本 かずのえほん (2002)	発行者	ひさかたチャイルド
評 価	1 内容に関すること ○ 数詞、数字、数量を対応させながら100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を高めることができる。 ○ 大小、高低、長短など、具体物の量を比較したり、仲間集めをしたりして考える力を養うことができる。				
	2 組織と配列に関すること ○ 前半はものの数を数えることを通して、1～20までの数概念について1対1対応しながら捉え、その後は20、30、50、100と10のまとまりごとに理解できるようになっている。 ○ 後半は、ものの大小、長短、高低の比較や「何番目?」「一番多いのは?」などの問いについて考えながら、段階的に数の概念を育てられるようになっている。				
	3 学習と指導に関すること ○ 見開きのページで数字と数詞と数量を対応させながら理解できる。 ○ ものの数量や大きさ、長さ、高さなどについて関心をもち、一方を基準にして比べるなどの考え方や技能を身に付けることができる。 ○ ものによる数え方の違いについて気付くことができる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 身近なものをイラストで表し、親しみやすい表現になっている。 ○ 数字と数詞と数量が見開きに表示されているので、捉えやすい。				
	(総 評) ○ 100までの数の概念や表し方や数量等の比較について、算数の基礎となる力を養うことができる。				
種目	算数	書名 (初版年)	さんすうサウルス (2011)	発行者	福音館書店
評 価	1 内容に関すること ○ 恐竜の生活の中の出来事を通して、四則計算や図形、分数等について触れることができる。 ○ 算数と日常生活との結び付きについて捉えることができる。				
	2 組織と配列に関すること ○ 簡単な加法から始まり、最終的に四則演算が行えるよう発展的な配列になっている。 ○ 2ずつ、5ずつのまとまりで数えることなど、計算だけでなく数処理の基礎を養うことができる。				
	3 学習と指導に関すること ○ 話を読み進めながら、課題に対してどのような場合にどのような四則計算が対応するかを思考することができる。 ○ 算数と身近な事象を結び付けているので、算数を身近に感じ、日常生活の中で活用する意義について理解できる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 鮮やかな色彩を使用したイラストで、親しみやすい。 ○ 漢字にはすべて振り仮名が付いており、読みの不得意な児童でも読むことができる。				
	(総 評) ○ 恐竜の生活と算数とを結び付けた物語となっており、楽しみながら数量関係や図形などに触れ、算数を学ぶ楽しさに気付くことができる。				

種目	算数	書名 (初版年)	音のでるとけいえほん いまなんじ？ (2014)	発行者	金の星社
評 価	1 内容に関すること ○ クイズ形式の問題に答えることにより、日常生活を想起させながら、時刻について学ぶことができる内容になっている。 ○ 生活場面や一日の流れのイラストを見ながら、時間感覚を身に付けられる。				
	2 組織と配列に関すること ○ 実際に手で動かすことができる時計部分、時刻やクイズを読み上げる機能があるボタン部分、使い方やクイズが説明されている冊子部分で組織されている。				
	3 学習と指導に関すること ○ 児童が自分でボタンを押すと音声で問題が出されて答えたり、判定したりすることができ、主体的に学ぼうとする意欲を喚起できるようになっている。 ○ 児童が自分で操作して確かめたり、教師の質問に答えたりなど、様々な場面で活用できる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 電池部分がネジで止められて誤飲を防いだり、角が丸くなっているけがを防いだりする等の安全配慮がされている。 ○ はっきり聞き取れる音量で時刻を読み上げる仕様になっている。 ○ 時計の長針部分は1分単位でカチカチと音を出して動く作りで短針とも連動しており、1分単位の時刻が分かりやすくなっている。				
	(総 評) ○ 手で操作する長針やそれに伴って動く短針から 60 進法の時計の仕組みを理解しやすくなっており、ボタンを押せば音が出るなど視覚や聴覚、触覚等を生かして体験的に学ぶことができる。 ○ 日常生活のリズムの中で時間を意識させながら学習を進めることができる。				
種目	国語	書名 (初版年)	ひとりだちするための国語 (2012/2023)	発行者	日本教育研究出版
評 価	1 内容に関すること ○ 生徒の学校生活や家庭生活、社会生活の場の具体的場面が想定でき、実生活に役に立つ内容となっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 第1部では国語の基礎について学び、第2部では国語力をつける構成で、徐々にステップアップしていく構成の配列になっている。 ○ 四字熟語・ことわざの他に社会や英語での学習も取り入れており、ユニバーサルデザインを意識した配列となっている。				
	3 学習と指導に関すること ○ 生徒の実生活の具体的場면을想定して学ぶことができ、自分の考えを記述できるものである。 ○ 学習の項目が実態に応じて選択でき、生活単元や作業学習、総合でも活用できる内容である。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 文字の大きさや字体、漢字に振り仮名が振られていることで、読みやすい。 ○ やわらかい配色のイラストを適度に取り入れ、生徒が授業に集中できる体裁になっている。 ○ 使用する資料地図や表もユニバーサルデザインを意識し、生徒が主体的に学びやすい。				
	(総 評) ○ 実生活を意識しながら「聞く」「話す」「読む」「書く」を横断的に学び、コミュニケーション能力の基礎を重視しながら、項目ごとに生徒が興味・関心がもてる内容になっている。				

種目	社会	書名 (初版年)	小学生からの都道府県おでかけ 図鑑 親子で「学び」と「遊び」 の旅に出よう！(2023)	発行者	新興出版社
評 価	1 内容に関すること ○ 各都道府県の地理・歴史・伝統工芸・観光スポット・食などの特徴とご当地クイズなどがあり、生徒の興味・関心を高めることができる内容である。				
	2 組織と配列に関すること ○ 日本の絶景や世界遺産など日本のまちの魅力を知るきっかけを与える配列である。 ○ 各都道府県の紹介を北海道～沖縄まで順番に配列し、それぞれの地理・歴史・伝統文化・観光スポット・食などについて、見開き2ページでコンパクトに紹介している。				
	3 学習と指導に関すること ○ 付録の都道府県地図を活用し、生徒がイラストを見ながら特徴について学ぶことができる。 ○ 資料と写真を活用しながら、ポイントを絞って生徒が学べる構成になっている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 写真や地図、イラストなどが適切に取り入れられ、本文に振り仮名もあって読みやすい。 ○ 都道府県について、詳しく学びたい場合のQRコードもあり、個別最適な学びの助けとなる。				
	(総 評) ○ 各都道府県について、様々な資料や写真、地図などを活用し、生徒が興味・関心をもち、学べる図鑑となっている。				
種目	社会	書名 (初版年)	ひとりだちするためのトラブル 対策改訂版(2016)	発行者	日本教育研究 出版
評 価	1 内容に関すること ○ トラブルの実例が多数掲載されており、絵も豊富で、興味・関心をもって学ぶことができる。 ○ 社会生活における身近なトラブルの事例について、対処する方法が掲載されている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 対人関係・人間関係、健康な生活、金銭管理と消費者被害、携帯・スマホ・パソコン・ネット、トラブルの心構え等、多岐にわたる内容が取り上げられている。				
	3 学習と指導に関すること ○ 様々なトラブルについて自分の考えや友人の意見を書き込めるようになっており、主体的・対話的に学ぶことを促すことができる。 ○ 絵や文字によるロールプレイを取り入れ、トラブルについて具体的な対処法を考えられる内容になっている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 絵が多く入っており、具体的な場面をイメージしやすくなっている。 ○ 重要な内容となる文章や言葉は、フォントを変え、目を引くような工夫がされている。				
	(総 評) ○ 安全・安心に暮らしていけるように、実際の生活の中で起こりうるトラブルへの対策が具体的に示されている。				

種目	社会/職業・家庭	書名 (初版年)	大人になってこまらないマンガで身につくネットのルールとマナー (2018)	発行者	金の星社
評 価	1 内容に関すること ○ インターネットの活用方法やマナー及びルールについて、大きく4つの章にまとめ、さらに細かな項目に分けており、学習内容を活用すべき場面が分かりやすくなっている。 ○ 小・中学生の親しみやすいキャラクターが出てくる漫画が主になっているので、興味・関心を引きやすい内容になっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ プラス面、マイナス面も含めて現代のインターネット環境の実態に即した内容が配列されている。 ○ ストーリー性のある漫画の間に、アドバイスなどが挟まれており、漫画で学んだ内容を振り返ったり、さらに深めたりすることができるような配列になっている。				
	3 学習と指導に関すること ○ インターネットの危険性やマナーやルールを守ることの必要性を、キャラクターを通して考えながら学ぶことができる。 ○ まとめとして、家族とインターネット使用について話し合い、ルール作成を促すページがあり、家庭と連携して生徒の実態に即した適切な利用方法を考えるための配慮をしている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 具体的な場面をイメージできるようにイラストを用いて説明している。 ○ 漢字には全て振り仮名が振られている。 ○ A5版で手に取りやすいサイズである。				
	(総 評) ○ インターネットの活用方法やマナー及びルールについて、漫画やイラストで学べる内容になっている。 ○ 小・中学生が実際に陥りがちなインターネットのトラブルやルール違反などを扱っている。				
種目	社会/職業・家庭	書名 (初版年)	ひとりだちするための進路学習ーあしたへのステップー (2017)	発行者	日本教育研究出版
評 価	1 内容に関すること ○ 具体的な例を挙げ、社会のルールやマナー、トラブルについて理解できる内容になっている。 ○ トラブルが起きたら相談できる場所をメモする欄が多数設けられており、その地域にある福祉事務所等の名称や連絡先を書き込むことができる。				
	2 組織と配列に関すること ○ 「自分のこと」から始まり「働くこと」や「進路」などを経て「社会人になる」まで、段階を踏んで社会参加に必要なことを指導できる構成になっている。 ○ 自分自身に関することや必要なことを書き込めるようになっている。				
	3 学習と指導に関すること ○ ワークシート形式で自分自身のことを書き込めるため、主体的に考えやすくなっている。 ○ 問題提起や発問は、自分のこととして考えられるようになっており、実際の生活場面に活用できるようになっている。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 漢字には全て振り仮名が振られている。 ○ 社会のルールやマナーについて、分かりやすく、語りかけるような文章で説明している。				
	(総 評) ○ 軽度知的障害をもっている生徒が、社会でひとり立ちするために必要な準備や身に付けておくべき内容が、理解しやすいよう、平易な文章で説明されている。				

種目	理科	書名 (初版年)	所さんの目がテン！かがくの 里×学研の図鑑 LIVE 里山の 生き物図鑑（2022）	発行者	学研
評 価	1 内容に関すること ○ 里山再生のストーリーと、生き物の姿や様子がイラストや写真、動画で紹介されており、生徒の興味・関心を高めることができる。 ○ 本のコンセプトが「学びの入り口」と明確化されていて扱いやすい。 ○ 中学校理科の学習指導要領に沿った学習を進めるのに適している。				
	2 組織と配列に関すること ○ 里山再生のストーリーに沿って内容が配列されており、生徒に生き物だけでなく、身近な自然全体へ目を向けさせることができる。 ○ 里山のフィールドごとに生き物が紹介されており、学びをもとに身近な自然への興味・関心を高めることができる。				
	3 学習と指導に関すること ○ 本の中からQRコードを使って動画を見ることができるので、生徒はタブレットを使って学びを広げる体験ができる。 ○ 生き物のレア度が表示されており、生徒によっては興味を示すきっかけとなる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 写真には、生き物が見られる周囲の状況も映っているので、実際に探すのに役立つ。 ○ イラストが分かりやすく親しみやすい内容となっている。				
	(総 評) ○ 人気テレビ番組とのコラボレーションにより、生徒はより興味・関心を示すことができる。 ○ 本に出てくる先生たちのコメントが内容と合っており、生徒の疑問に答えることができる。				
種目	理科	書名 (初版年)	動く図鑑 MOVE 地球のふしぎ (2020)	発行者	講談社
評 価	1 内容に関すること ○ イラストがダイナミックに描かれており、生徒の興味・関心を高める内容となっている。 ○ 中学校理科の学習指導要領と関連ある内容を取り上げており、その内容が、イラスト、写真、動画で分かりやすくなっている。				
	2 組織と配列に関すること ○ 宇宙から地球へと配列されており、生徒が大きな宇宙という視点から身近な地表面へとイメージを作ることができる。 ○ 付録DVDにより、生徒が興味をもった内容を本の中から探し学びを深めることが可能である。				
	3 学習と指導に関すること ○ 項目ごとに学習課題が大きなタイトルで示されており、生徒が興味・関心をもって学習を進めることができる。 ○ 項目によっては、各種の仮説も提示されており、生徒が仮説を立て、より発展的な学習を進めるのに適している。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 厚い表紙で、様々な場面で繰り返し使うことができる。 ○ イラスト、動画など視覚に訴える工夫がされており、生徒の学習意欲を高めることができる。				
	(総 評) ○ 宇宙から地球表面、地球内部、そして未来の地球と地球に関する内容が豊富に取り上げられており、生徒は地球のすべてを学べる内容となっている。 ○ タブレットなどを用い、屋外で使えるコンテンツもあり、生徒の学びを広げることができる。				

種目	理科	書名 (初版年)	小学館の図鑑 NEO[新版] 科学の実験 DVD 付 (2009/2020)	発行者	小学館
評 価	1 内容に関すること ○ 身近な材料を使って実験できるものなので、生徒の興味・関心に応じて発展的に学びを深められる内容となっている。 ○ 中学校理科の学習指導要領の内容にあてはまる実験・観察が多数取り上げられており、生徒の意欲を高めながら、ねらいに迫ることができる。				
	2 組織と配列に関すること ○ 生徒の興味を引くものと難易度の高いものが、適宜配列されている。これにより、「なぜ」「どうして」と科学的に考える体験ができる。 ○ 付録のDVDがあり、生徒が興味を示す実験を容易に見つけることが可能である。				
	3 学習と指導に関すること ○ 生徒の五感に訴える実験が多数取り上げられており、感覚に得意不得意がある生徒への指導が容易になる。 ○ 実験材料は、どれも近所で入手できるものが多く、発展的に取り組むことができる。				
	4 表現と体裁等に関すること ○ 紙質が厚くしっかりしており、濡れや衝撃にも強く、実験室や屋外での使用にも適している。 ○ 1つの実験が、見開き2ページにまとまっており、生徒が全体像をつかむのに適している。				
	(総 評) ○ 生徒の興味を引きそうな実験が多数掲載されており、ほとんどの生徒がこの本の実験によって科学的な学習に意欲を示す内容となっている。 ○ さまざまなタイプの実験が多数掲載されており、生徒の実態に応じて選べる実験の選択肢が多いので、学習を進めやすくなっている。				

